

EPSON

Endeavor NJ4000E



ユーザーズマニュアル

Windows 10

ご使用の前に

- コンピューターをご使用の際は、必ず「マニュアル」をよくお読みの上、正しくお使いください。
- マニュアルに記載の Windows の情報は、2016 年 5 月時点のものです。今後、Windows Update により画面や操作方法が変更になる場合があります。

情報マップ (知りたい情報はどこにある?)

本機に関する情報は、次の場所で見ることができます。

購入時

使いはじめ

使いこなしたいとき

困ったとき

故障したとき

やりたいこと

- 本機の添付品を知りたい
- Windowsをセットアップしたい
- 本機を設置したい

- オプション品(マウス、アプリなど)を使いたい

- 添付アプリを知りたい **p.20**
- データをバックアップしたい **p.23**
- Windowsの操作方法を知りたい **p.26**
- USB機器を接続したい **p.62**
- Bluetooth機器を使いたい(オプション) **p.93**
- セキュリティー設定をしたい **p.100**
- カメラを使いたい **p.112**
- UEFIの設定を変更したい **p.125**
- 光ディスクメディアを使いたい(オプション) **p.51**
- 古いコンピューターからデータを移行したい **p.22**
- メモリーカードを使いたい **p.59**
- 画面表示やサウンドの設定をしたい **p.65、78**
- インターネット/メールをしたい **p.99**
- 省電力で使いたい **p.103**
- メモリーを増設したい **p.115**
- 本機の仕様を知りたい **p.167**
- 無線LANに接続したい(オプション) **p.86**



- 再インストールをしたい **p.158**

- トラブルを解決したい **p.145**

- サポート・サービス情報を知りたい
- 修理を依頼したい



紙マニュアル

紙で添付されている情報です。



PC お役立ちナビ

コンピューターの画面で見る電子の情報です。

情報の場所



スタートアップガイド



オプション品のマニュアル



ユーザーズマニュアル(本書)



トラブル解決



ユーザーサポートページ

<http://www.epsondirect.co.jp/support/>



サポート・サービスのご案内

目次

ご使用の前に

製品保護上の注意.....	8
無線 LAN 使用時のセキュリティに関する注意.....	11
マニュアルの読み方.....	12
各部の名称.....	17
添付されているアプリ.....	20
データの移行とバックアップ.....	22

1

コンピューターの基本操作

Windows 10 の基本操作.....	26
AC アダプター / バッテリーパックを使う.....	30
タッチパッドを使う.....	39
キーボードを使う.....	44
HDD/SSD の概要.....	49
光ディスクメディアを使う（オプション）.....	51
メモリーカードを使う.....	59
USB 機器を使う.....	62
画面表示機能.....	65
外付けディスプレイを使う.....	68
サウンド機能.....	78
ネットワーク機能（有線 LAN）.....	83
無線 LAN 機能（オプション）.....	86
Bluetooth 機能（オプション）.....	93
インターネット / メールをする.....	99
インターネットを使用する際のセキュリティ対策.....	100
省電力機能.....	103
カメラを使う.....	112
その他の機能.....	113

2

装置の増設・交換

増設・交換できる装置.....	116
メモリーの装着.....	117
外付け可能な周辺機器.....	124

3

UEFI の設定

UEFI の設定を始める前に.....	126
UEFI Setup ユーティリティの操作.....	127
UEFI Setup ユーティリティの設定項目	138

4

困ったときは

トラブルが発生したら.....	146
起動・画面表示できないときは	148
トラブル時に効果的な対処方法	152
再インストール（PC を初期状態に戻す）.....	158

付録

お手入れ	164
コンピューターを廃棄するときは.....	165
機能仕様一覧	167



ご使用の前に

本機を使い始める前に知っておいていただきたい事項や、取り扱い上の注意などを説明します。

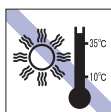
製品保護上の注意.....	8
無線 LAN 使用時の セキュリティに関する注意	11
マニュアルの読み方	12
各部の名称	17
添付されているアプリ	20
データの移行とバックアップ	22

製品保護上の注意

使用・保管時の注意

コンピューター（本機）は精密な機械です。次の注意事項を確認して正しく取り扱ってください。取り扱いを誤ると、故障や誤動作の原因となります。

特に指定のない限り、注意事項は、本体および AC アダプターやバッテリーパックなどの同梱品に適用されます。



温度が高すぎる所や、低すぎる所には置かないでください。

故障、誤動作の原因となります。適切な温度の目安は 10℃～35℃です。



ホコリの多い所には置かないでください。故障、誤動作の原因となります。



温度が低い場所から温度が高い場所へ本機を急に移動させると、結露が発生する場合があります。

結露したまま本機を使用すると、故障、誤動作の原因となります。

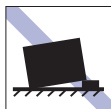
結露が発生した場合は、本機が室温と同じくらいの温度になるのを待ってから、使用してください。



直射日光の当たる所や、発熱器具（暖房器具や調理器具など）の近くなど、高温・多湿となる所には置かないでください。

故障、誤動作の原因となります。

また、直射日光などの紫外線は、変色の原因になります。



不安定な所には設置しないでください。

落下したり、振動したり、倒れたりすると、本機が壊れ、故障することがあります。



他の機械の振動が伝わる所など、振動しやすい場所には置かないでください。故障、誤動作の原因となります。



テレビやラジオ、磁石など、磁界を発生するものの近くに置かないでください。

誤動作やデータ破損の原因となることがあります。逆に、本機の影響でテレビやラジオに雑音が入ることもあります。

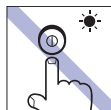


電源コードが抜けやすい所（コードに足が引っかかりやすい所や、コードの長さがぎりぎりの所など）に本機を置かないでください。

バッテリーパックの状態により、電源コードが抜けると、それまでの作業データがメモリー上から消えることがあります。



無停電電源装置（UPS）を使用する場合は、正弦波出力の UPS を使用してください。正弦波出力以外の UPS を使用すると、本機が起動できなくなったり、動作が不安定になったりする場合があります。



アクセスランプ点灯・点滅中は、本機の電源を切ったり、再起動したりしないでください。



本機を落としたり、ぶつけたりして、衝撃を与えないでください。持ち運ぶときは、電源を切り、バッグに入れるなどして衝撃から守るようにしてください。



本機を長期間使わないときは、バッテリーパックを本機に装着したままにしないでください。液漏れを起こすことがあります。



本機の汚れを取るときは、ベンジン、シンナーなどの溶剤を使わないでください。

変色や変形の可能性があります。

柔らかい布に中性洗剤を適度に染み込ませて、軽く拭き取ってください。



本機を梱包しない状態で、遠隔地への輸送や保管をしないでください。

衝撃や振動、ホコリなどから本機を守るため、専用の梱包箱に入れてください。



本機の上に重い物を載せたり、強く押さえ付けたりしないでください。
LCD やバックライトが破損したり、表示異常となることがあります。



LCD 画面の表面を先の尖ったもので引っかいたり、無理な力を加えたりしないでください。

LCD 画面の表面はアクリル製ですので、キズが付いたり、割れたりすることがあります。



キーボードの上などに、物（ボールペンなど）をはさんだまま、LCD ユニット（液晶ディスプレイ部）を閉じないでください。



本機の LCD ユニット（液晶ディスプレイ部）を開けた状態で、LCD ユニットを持って移動しないでください。

また、開閉可能な最大角度を超えて LCD ユニットを開かないでください。ヒンジ部分が破損します。



AC アダプターはコードを持って抜き差ししないでください。
コードの断線や接触不良の原因となります。



AC アダプターの上に乗ったり、踏みつけたり、重い物を載せるなどして、ケースを破損しないでください。

記録メディア

記録メディアは、次の注意事項を確認して正しく取り扱ってください。取り扱いを誤ると、記録メディアに収録されているデータが破損するおそれがあります。

記録メディアの種類

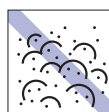
CD 光ディスクメディア

MC メモリーカード

記録メディアの種類を指定していない注意事項は、すべての記録メディアに適用されます。



直射日光が当たる所、発熱器具の近くなど、高温・多湿となる場所には置かないでください。



ゴミやホコリの多い所では、使用したり保管したりしないでください。



上に物を載せないでください。



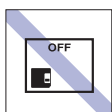
キズを付けしないでください。



クリップで挟む、折り曲げるなど、無理な力をかけないでください。



アクセスランプ点灯・点滅中は、記録メディアを取り出したり、本機の電源を切ったり、再起動したりしないでください。



使用後は、本機にセットしたままにしたり、ケースに入れずに放置したりしないでください。



温度差の激しい場所に置かないでください。結露する可能性があります。

CD



信号面（文字などが印刷されていない面）に触れないでください。

CD



信号面（文字などが印刷されていない面）に文字などを書き込まないでください。

CD



シールを貼らないでください。

CD



レコードのように回転させて拭かないでください。

内側から外側に向かって拭いてください。

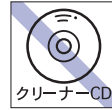
CD



レコードやレンズ用のクリーナーなどは使わないでください。

クリーニングするときは、CD 専用クリーナーを使ってください。

CD



光ディスクドライブのデータ読み取りレンズをクリーニングする CD は使わないでください。

CD



金属端子には触れないでください。

MC



テレビやラジオ、磁石など、磁界を発生するものに近づけないでください。

MC



金属端子にホコリや水を付けしないでください。

シンナーやアルコールなどの溶剤を近づけないでください。

MC

マウス

マウスは精密な機械です。次の注意事項を確認して正しく取り扱ってください。取り扱いを誤ると、故障や誤動作の原因となります。



ゴミやホコリの多いところで使用したり、保管したりしないでください。レンズにゴミやホコリが付いたまま使用すると、誤動作の原因になります。



レンズ部分に触れないでください。



落としたり、ぶつけたりして強い衝撃を与えないでください。



持ち運びの際はマウス本体を持ってください。ケーブルを持って運ばないでください。

無線 LAN 使用時の セキュリティに関する注意

お客様の権利（プライバシー保護）に関する重要な事項です。無線 LAN を使用する前に、必ずお読みください。

無線 LAN では、LAN ケーブルを使用する代わりに、電波を利用してパソコンなどと無線 LAN アクセスポイント間で情報のやり取りを行うため、電波の届く範囲であれば自由に LAN 接続が可能であるという利点があります。

その反面、電波はある範囲内であれば障害物（壁など）を越えてすべての場所に届くため、セキュリティに関する設定を行っていない場合、以下のような問題が発生する可能性があります。

● 通信内容を盗み見られる

悪意ある第三者が、電波を故意に傍受し、

- ・ ID やパスワードまたはクレジットカード番号などの個人情報

- ・ メールの内容

などの通信内容を盗み見られる可能性があります。

● 不正に侵入される

悪意ある第三者が、無断で個人や会社内のネットワークへアクセスし、

- ・ 個人情報や機密情報を取り出す（情報漏洩）

- ・ 特定の人物になりすまして通信し、不正な情報を流す（なりすまし）

- ・ 傍受した通信内容を書き換えて発信する（改ざん）

- ・ コンピューターウイルスなどを流しデータやシステムを破壊する（破壊）

などの行為をされてしまう可能性があります。

本来、無線 LAN や無線 LAN アクセスポイントは、これらの問題に対応するためのセキュリティの仕組みを持っていますので、無線 LAN 製品のセキュリティに関する設定を行って製品を使用することで、その問題が発生する可能性は少なくなります。

無線 LAN 機器は、購入直後の状態においては、セキュリティに関する設定が施されていない場合があります。

したがって、お客様がセキュリティ問題発生の可能性を少なくするためには、無線 LAN や無線 LAN アクセスポイントをご使用になる前に、必ず無線 LAN 機器のセキュリティに関するすべての設定をマニュアルに従って行ってください。

なお、無線 LAN の仕様上、特殊な方法によりセキュリティ設定が破られることもあり得ますので、ご理解の上、ご使用ください。

※ セキュリティ対策を施さず、または、無線 LAN の仕様上やむを得ない事情によりセキュリティの問題が発生してしまった場合、当社は、これによって生じた損害に対する責任を負いかねます。

セキュリティの設定などについて、お客様ご自身で対処できない場合には、『サポート・サービスのご案内』をご覧ください。テクニカルセンターまでお問い合わせください。

当社では、お客様がセキュリティの設定を行わないで使用した場合の問題を十分理解した上で、お客様自身の判断と責任においてセキュリティに関する設定を行い、製品を使用することをおすすめします。

マニュアルの読み方

本製品の仕様とカスタマイズ

本製品は、ご購入時にお客様が選択されたオプションによって、仕様がカスタマイズされています。CPU の種類・メモリー容量・光ディスクドライブなど、選択された仕様に合わせて、お客様オリジナルのコンピューターとして組み立て、納品されています。

仕様によって必要なマニュアル

本製品の操作に必要なマニュアルは、お客様が選択された仕様によって、「ユーザーズマニュアル」（本書）とは別に提供されている場合があります。

お使いになる仕様によって必要となるマニュアルは、下記のとおり別冊や電子マニュアルなどの形式で提供されていますので、ご確認ください。

- 本製品に同梱されている別冊マニュアル
- CD-ROM などに収録されている電子マニュアル
- 「PC お役立ちナビ」－［マニュアルびゅうわ］から閲覧する電子マニュアル

マニュアル中の表記

安全に関する記号

本書では次のような記号を使用しています。

 警告	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
 注意	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

一般情報に関する記号

本書では、次のような一般情報に関する記号を使用しています。

	制限事項です。 機能または操作上の制限事項を記載しています。
	参考事項です。 覚えておくと便利なことを記載しています。
 	操作手順です。 ある目的の作業を行うために、番号に従って操作します。
	手順が次ページに続くことを示します。
	 で囲んだマークはキーボード上のキーを表します。  は Enter キーを表します。また、  は  のことです。このように必要な部分のみを記載しているため、キートップに印字された文字とは異なる場合があります。
 + 	+の前のキーを押したまま+の後のキーを押します。 この例では、  を押したまま  を押します。

参照先に関する記号

本書では、次のような参照先に関する記号を使用しています。

	本書内の参照ページを示します。
	別冊子を示します。
	冊子の名称を示します。 例) 『サポート・サービスのご案内』
	サポートツール「PC お役立ちナビ」を示します。

名称の表記

本書では、本機で使用する製品の名称を次のように表記しています。

HDD	ハードディスクドライブ
光ディスクメディア	CD メディア、DVD メディアなど
光ディスクドライブ	光ディスクメディアを使用するためのドライブの総称
メモリーカード	SD メモリーカード、マルチメディアカードの総称

オペレーティングシステム（OS）に関する表記

本書では、オペレーティングシステム（OS）の名称を次のように略して表記します。

Windows 10	Windows [®] 10 Home 64 bit 版 Windows [®] 10 Pro 64 bit 版
------------	---

HDD/SSD 容量の記載

本書では、HDD/SSD 容量を 1GB（ギガバイト）=1000MB として記載しています。

メモリー容量の記載

本書では、メモリー容量を 1GB（ギガバイト）=1024MB として記載しています。

Windows の画面表示に関する記載

本書では、Windows の画面に表示される各箇所の名称を次のように記載しています。

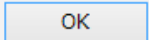


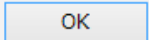
タイル / ボタン

タイルやボタンは [] で囲んで記載しています。

例)  : [フォト]



例)  : [OK]



コントロール パネル

本書では、コントロール パネルの表示が、「カテゴリ」であることを前提に記載しています。



表示の
切り替え

<表示方法: カテゴリ>

画面操作の記載

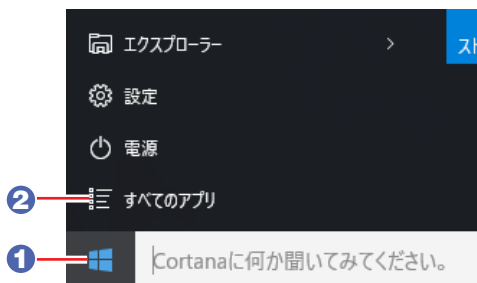
本書では、Windows の画面上で行う操作手順を次のように記載しています。

- 記載例

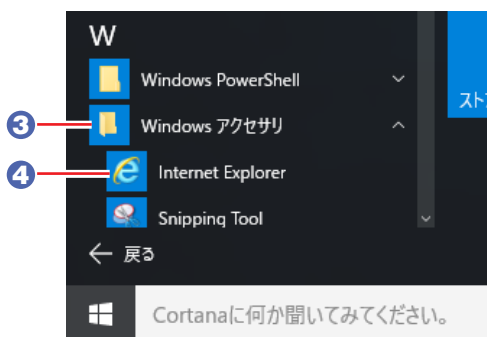
「スタート」 – 「すべてのアプリ」 – 「Windows アクセサリ」 – 「Internet Explorer」

- 実際の操作

- ① 「スタート」 をクリックします。
- ② 表示されたメニューから「すべてのアプリ」をクリックします。



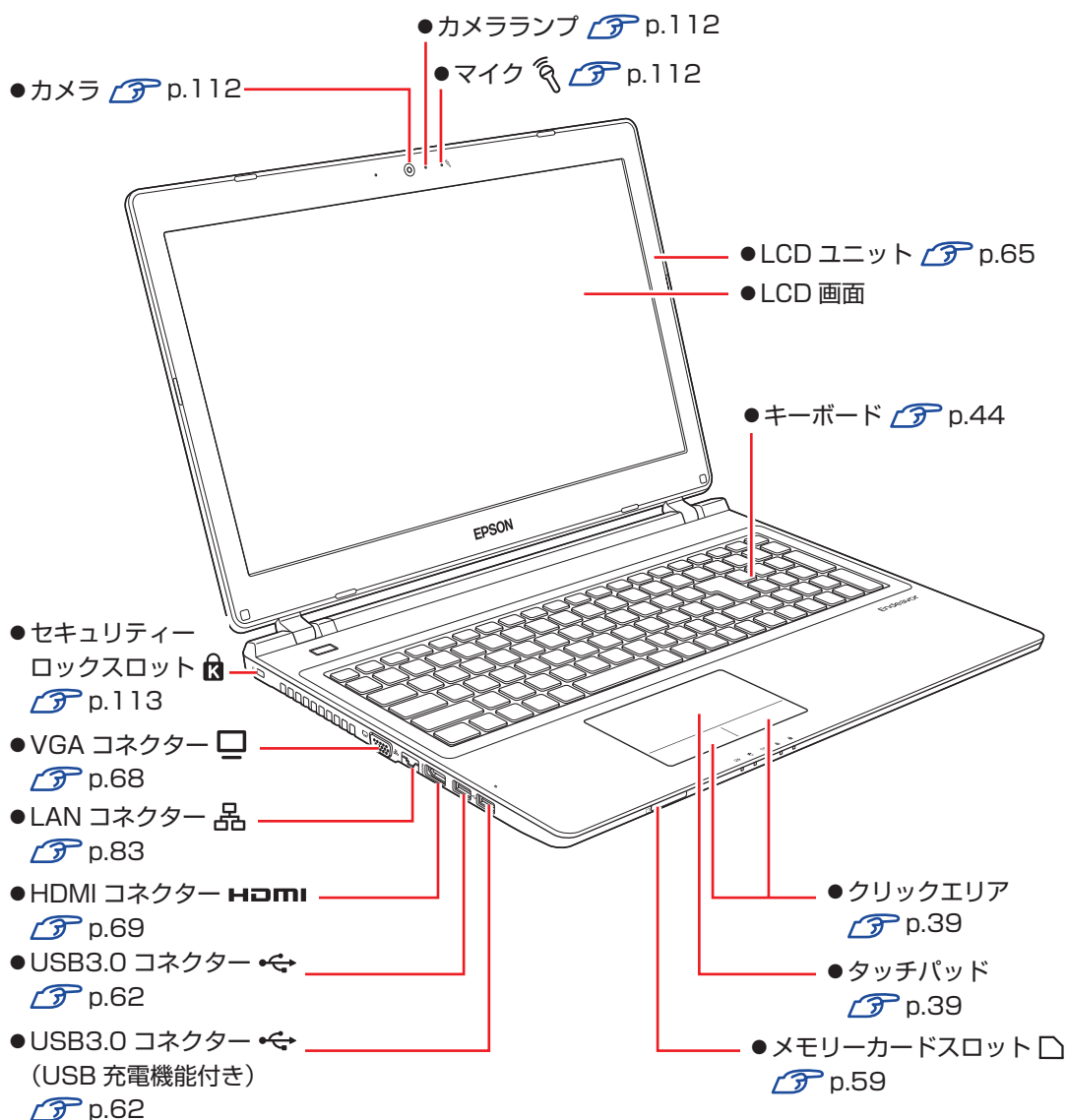
- ③ 表示された一覧から「Windows アクセサリ」をクリックします。
- ④ 表示された一覧から「Internet Explorer」をクリックします。



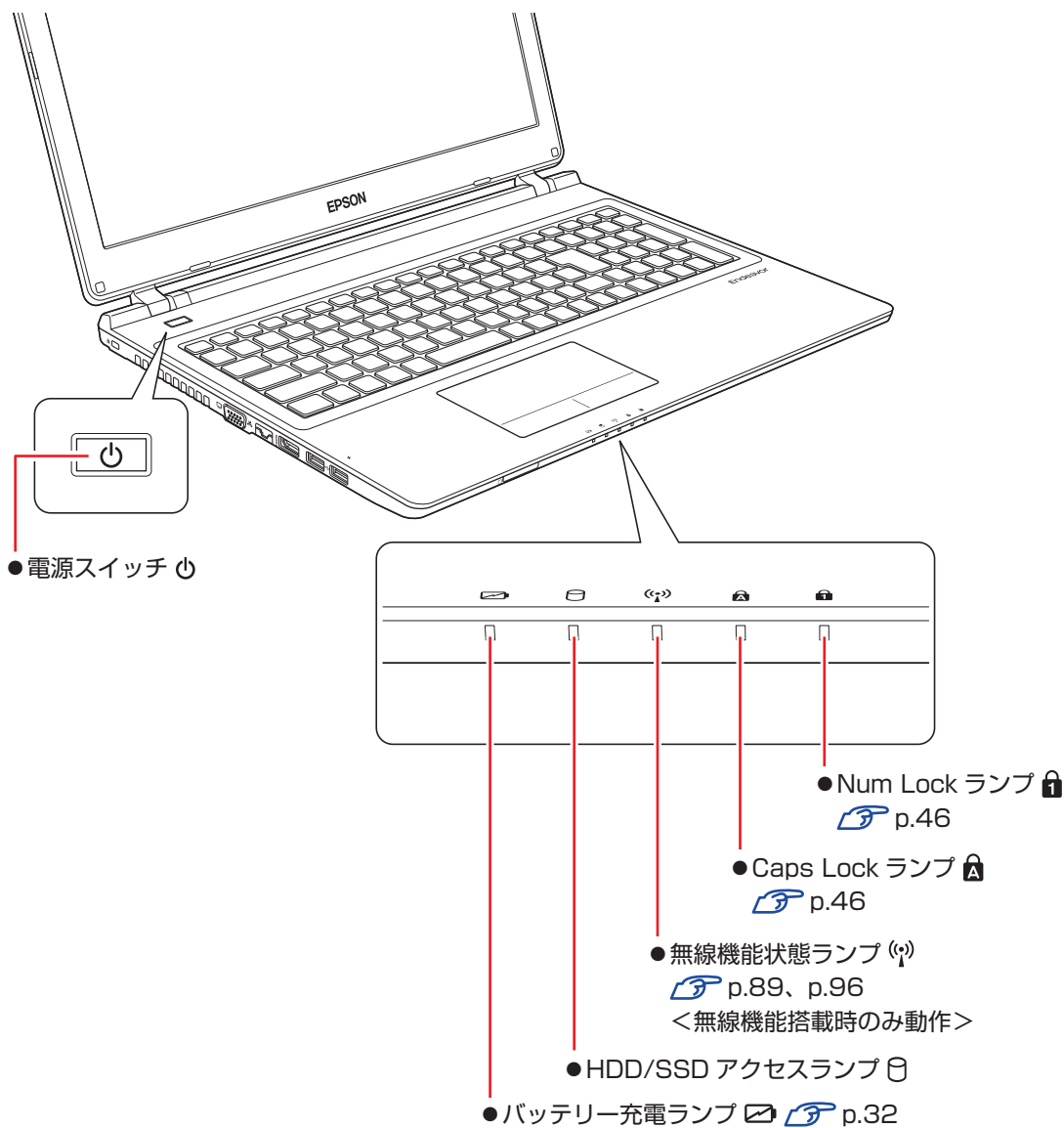
各部の名称

本機の各部の名称を記載します。

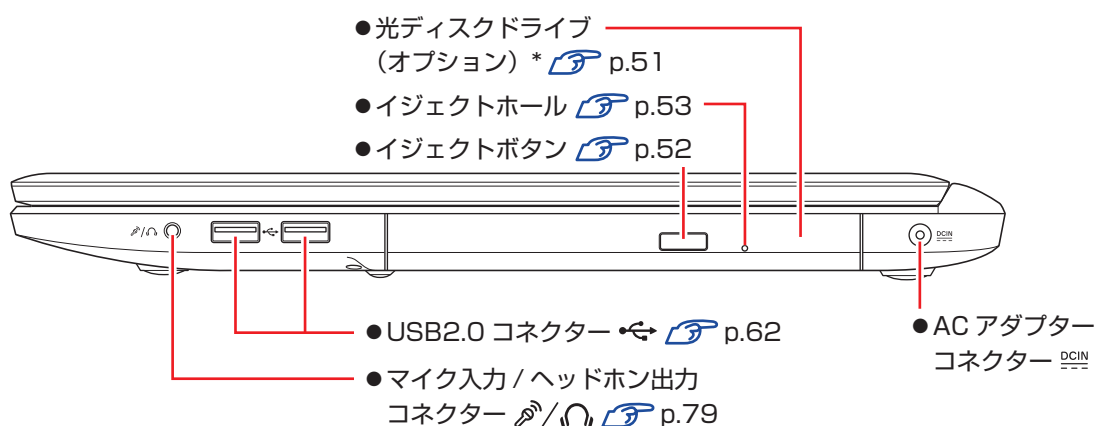
前面・左側面



電源スイッチ / ステータス表示ランプ

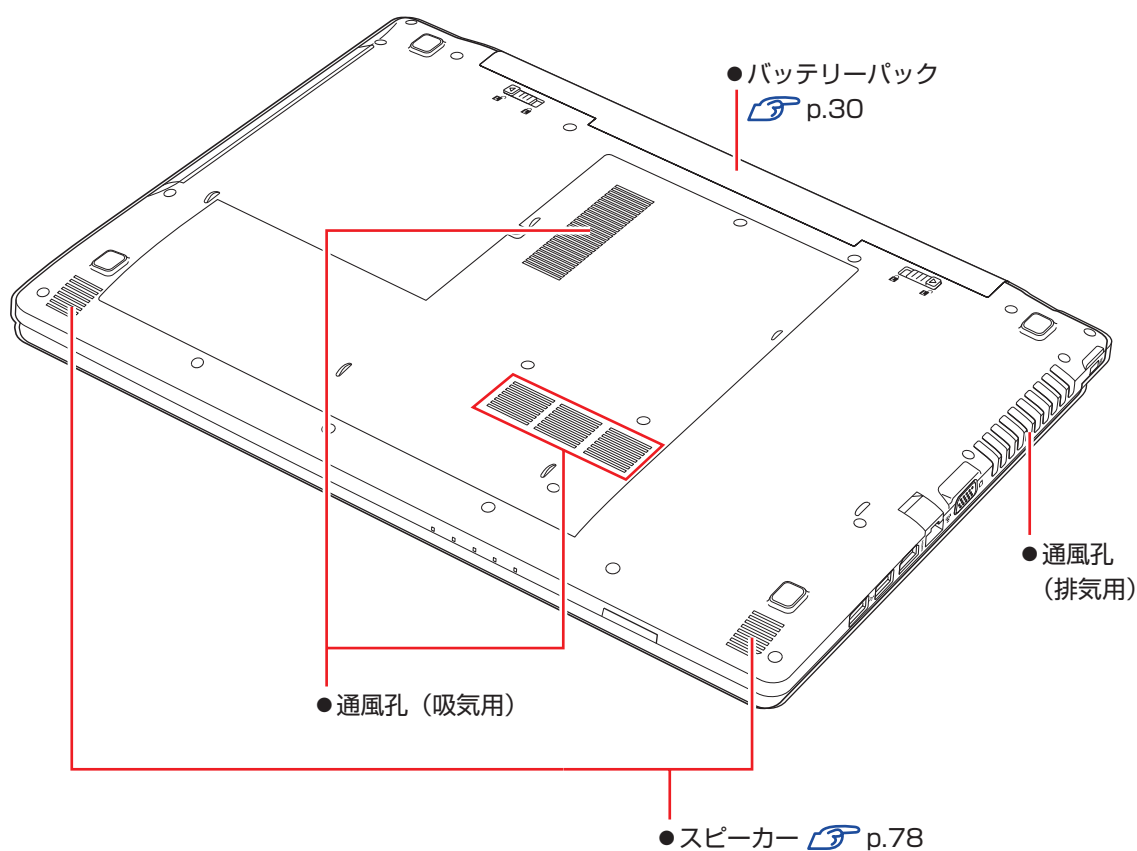


右側面



* 光ディスクドライブなしを選択された場合、イジェクトボタンは反応しません。

底面



添付されているアプリ

本機に添付されているアプリについて説明します。

本機にインストールされているアプリ

次のアプリは、購入時、本機にインストールされています。

本機にインストールされているアプリ	
●Windows 10	本機のオペレーティングシステム（OS）です。
●本体ドライバー	
• チップセットドライバー	マザーボード上のデバイスを使用するためのドライバーです。
• AHCI ドライバー	Windows 上で HDD/SSD を使用するためのドライバーです。
• Intel Management Engine ドライバー	マザーボード上のデバイスを使用するためのドライバーです。
• ビデオドライバー	CPU のビデオ機能を使用するためのドライバーです。
• サウンドドライバー	マザーボード上のサウンド機能を使用するためのドライバーです。
• タッチパッドドライバー	タッチパッドを使用するためのドライバーです。
• 無線 LAN ドライバー（無線 LAN 機能搭載時）	無線 LAN を使用するためのドライバーです。
• ネットワークドライバー	ネットワーク機能（有線 LAN）を使用するためのドライバーです。
• Bluetooth ドライバー（Bluetooth 機能搭載時）	Bluetooth を使用するためのドライバーです。
• メモリーカードドライバー	メモリーカードスロットを使用するためのドライバーです。
• Intel Serial IO ドライバー	マザーボード上のデバイスと通信をするためのドライバーです。
• ホットキー + 電源管理ユーティリティ  p.106	Fn と組み合わせて使用する機能キーを使用するためのユーティリティです。本機の電源管理を行うための電源管理ユーティリティも含まれています。 電源管理ユーティリティでは、バッテリーの充電レベルやピークシフトの設定ができます。
●PC お役立ちナビ  p.146	コンピューターの情報を簡単に検索できるサポートツールです。 システム診断ツールも含まれています。
●WinDVD または PowerDVD（光ディスクドライブ搭載時）  p.54、56	DVD VIDEO を再生するためのアプリです。

本機にインストールされているアプリ

- Nero 15 Essentials  p.57
(書き込み機能のある光ディスクドライブ搭載時)
光ディスクメディアに書き込みを行うためのアプリです。
- 楽天 Gateway
楽天サービスへの入り口となるアプリです。
- NAVITIME
地図上で音声案内や乗換案内を確認できるナビアプリです。

必要に応じてインストールするアプリ

次のアプリは、購入時、本機にインストールされていません。必要に応じてインストールしてください。

必要に応じてインストールするアプリ

- ウイルスバスター クラウド 90 日版  p.100
ウイルス駆除機能、不正アクセス防止機能などを備えたセキュリティーアプリです。
- i-フィルター 6 30 日版  p.102
インターネット上の有害な Web ページへのアクセスを制限する Web フィルタリングアプリです。
- Endeavor 電源プラン設定ツール  p.111
本機に節電設定を行うためのアプリです。

データの移行とバックアップ

本機を初めて使用するときに、次の作業を行います。

古いコンピューターからデータを移す

古いコンピューターからデータを移行します。

● Web ブラウザーの設定（お気に入りや Cookie など）

・ Internet Explorer

古いコンピューターに USB 記憶装置を接続し、Internet Explorer を起動して、次の場所で「お気に入り」や「Cookie」などを USB 記憶装置に保存します。

お気に入りを表示 － 「お気に入りに追加」 － 「インポートとエクスポート」 － 「ファイルにエクスポートする」

USB 記憶装置を本機に接続し、Internet Explorer を起動して、次の場所からデータをインポートします。

お気に入りを表示 － 「お気に入りに追加」 － 「インポートとエクスポート」 － 「ファイルからインポートする」

・ Microsoft Edge

本機の Internet Explorer のお気に入りを、Microsoft Edge にインポートできます。

次の場所でインポートします。

お気に入りを表示 － 「お気に入りのインポート」 － 「Internet Explorer」にチェック － 「インポート」

● メールデータ

メールアプリによって、データの移行方法は異なります。

※ アプリによっては、メールデータを移行できないものもあります。

・ メール

Windows 10 標準メールアプリで利用できるのは Web メールのため、古いコンピューターに保存されているメールデータを移行することはできません。

・ Outlook

Outlook にデータを移行する方法は、Office のヘルプをご覧ください。

● 文書 / 写真 / 音楽データなど

USB 記憶装置などに保存して移します。

バックアップをする

万一の故障などに備え、重要なデータはバックアップしておくことをおすすめします。

回復ドライブを作成する

事前に USB 記憶装置などに回復ドライブを作成しておく、なんらかの原因で Windows が起動しなくなった場合、回復ドライブを使用して Windows の再インストールを行うことができます。

不具合発生時に対応できるように、回復ドライブを作成しておくことをおすすめします。

作成方法は、次の場所をご覧ください。

<http://faq.epsondirect.co.jp/faq/edc/app/servlet/qadoc?29541>

文書 / 写真 / 音楽データのバックアップ

文書、写真、音楽などのデータは、USB 記憶装置や、OneDrive などのオンラインストレージに保存することをおすすめします。

OneDrive (オンラインストレージ) を利用する

OneDrive は、Microsoft アカウントで利用できる無料オンラインストレージです。オンライン上にデータを保存しておけば、万一の故障の際も安心です。

システムの保護を有効にする

本機の動作が不安定になった場合、「システムの復元」を行って Windows を以前の状態（復元ポイントを作成した時点の状態）に戻すことで、問題が解決できることがあります。

※ 128GB 以下のドライブではこの機能は使用できません。

「システムの復元」機能を使用するには、事前に「システムの保護を有効にする」設定が必要です。次の手順で設定を行ってください。

- 1** 「スタート」を右クリック→「システム」画面左「システムの保護」をクリックします。
- 2** 「システムのプロパティ」画面が表示されたら、ドライブの一覧から「Windows (C:) システム」を選択し、[構成] をクリックします。
- 3** 「システム保護対象」画面が表示されたら、「システムの保護を有効にする」を選択し、[OK] をクリックします。
- 4** 「システムのプロパティ」画面で [OK] をクリックします。

これでシステムの保護を有効にする設定は完了です。

1

コンピューターの基本操作

キーボードやタッチパッド、光ディスクドライブの使用方法など、コンピューターの基本的な操作方法について記載しています。

Windows 10 の基本操作	26
AC アダプター / バッテリーパックを使う	30
タッチパッドを使う	39
キーボードを使う	44
HDD/SSD の概要	49
光ディスクメディアを使う（オプション）	51
メモリーカードを使う	59
USB 機器を使う	62
画面表示機能	65
外付けディスプレイを使う	68
サウンド機能	78
ネットワーク機能（有線 LAN）	83
無線 LAN 機能（オプション）	86
Bluetooth 機能（オプション）	93
インターネット / メールをする	99
インターネットを使用する際のセキュリティ対策 ...	100
省電力機能	103
カメラを使う	112
その他の機能	113

Windows 10 の基本操作

ここでは、Windows 10 の基本的な操作方法を説明します。

- 起動と終了  p.26
- スタートメニュー  p.28
- 機能メニュー  p.29

起動と終了

Windows 10 の起動方法 / 終了方法を説明します。

起動方法

本機の電源を入れ、Windows を起動する方法は、次のとおりです。

！ 制限

- 周辺機器の電源をいつ入れるかは、周辺機器のマニュアルで確認してください。電源を入れるタイミングがコンピューターより先か後かは、周辺機器により決まっています。
- 電源を入れなおすときは、20 秒程度の間隔を空けてから電源を入れてください。電気回路に与える電氣的な負荷を減らして、HDD/SSD などの動作を安定させます。

- 1** 電源スイッチ（）を押して、本機の電源を入れます。
- 2** パスワードを設定していると、ロック画面が表示されます。
ロック画面が表示された場合は、次の操作を行います。

- 1** ロック画面をクリックします。



<イメージ>

- 2** パスワード入力画面が表示されたら、パスワードを入力して  を押します。

Windows が起動し、デスクトップが表示されます。

終了方法

Windows の終了方法を説明します。終了方法には次の 2 つがあります。

●シャットダウン

通常の終了方法です。システムは完全には終了しません。次回 Windows の起動が速くなります。

●PC の電源を切る

システムを完全に終了する方法です。次回 Windows の起動には時間がかかります。

機器を増設・交換する場合は、「シャットダウン」ではなく、「PC の電源を切る」で終了してください。「シャットダウン」で終了した状態で機器を変更すると、機器が認識されなくなる場合があります。

また、ドライバやアプリをインストールした場合や、Windows Update を行った場合、「シャットダウン」では更新内容が適用されません。「再起動」または「PC の電源を切る」を行って、一度システムを完全に終了してください。

 p.152 「再起動」

制限

- HDD/SSD アクセスランプ点滅中に本機の電源を切ると、収録されているデータが破損するおそれがあります。
- 本機は、電源を切っていても、バッテリーパックが装着されていたり、電源プラグがコンセントに接続されていると、微少な電流が流れています。本機の電源を完全に切るには、電源コンセントから電源プラグを抜き、バッテリーパックを取り外してください。

参考

終了時の注意

複数のユーザーがサインインしている状態で終了しようとする、「まだ他のユーザーがこの PC を使っています。…」と表示されます。この場合は、ほかのユーザーがサインアウトしてから終了してください。

シャットダウン

シャットダウン方法は、次のとおりです。

- 1** [スタート] – 「電源」をクリックし、表示された項目から「シャットダウン」をクリックします。

Windows が終了します。

- 2** 接続している周辺機器の電源を切ります。

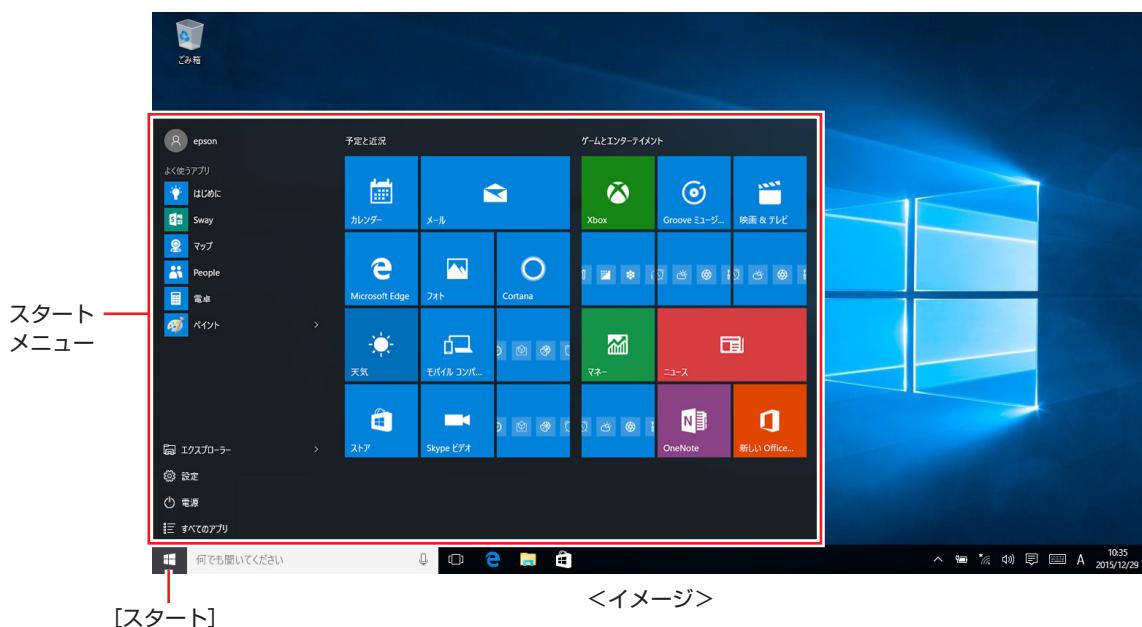
PC の電源を切る

システムを完全に終了する方法は、次のとおりです。

- 1** 「スタート」－「電源」をクリックし、**[Shift]** を押しながら「再起動」をクリックします。
- 2** 表示されたメニューで「PC の電源を切る」を選択します。
Windows が終了します。
- 3** 接続している周辺機器の電源を切ります。

スタートメニュー

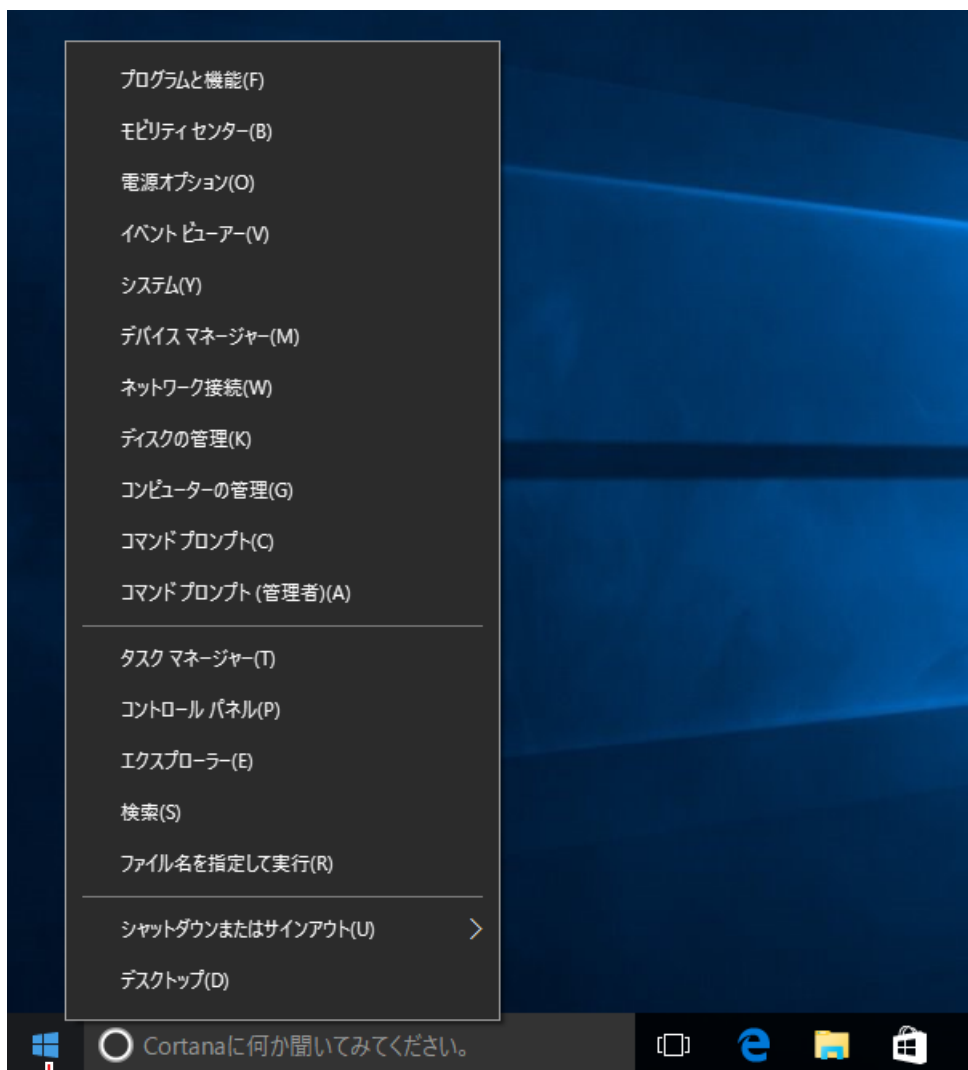
デスクトップ左下の「スタート」をクリックすると、スタートメニューが表示されます。
アプリを起動したり、本機の設定を行う場合は、スタートメニューを開いてください。



機能メニュー

[スタート]を右クリックすると、次のメニューが表示されます。各項目へのアクセス時に便利です。

※キーボードの  +  でも表示できます。



右クリック

AC アダプター / バッテリーパックを使う

本機は、AC アダプターまたはバッテリーパックを取り付けて使用します。

バッテリーパック（以降、バッテリー）は、着脱可能な充電式のリチウムイオン（Li-ion）電池です。

AC アダプターとバッテリーの型番

本機の AC アダプターとバッテリーの型番は、次のとおりです。

●AC アダプター：ADP-45VD AB

●バッテリー：BT4107-B

ご購入の際は、当社ホームページの「オプション」から本機の AC アダプターまたはバッテリーを選択してください。

<http://shop.epson.jp/>

バッテリーの交換方法は、 p.35 「バッテリーの交換」をご覧ください。

使用時の注意



- 本機には、必ず同梱された電源コード / AC アダプター / バッテリーを使用してください。また、本機の電源コード / AC アダプター / バッテリーは、他の製品に使用しないでください。感電・火傷・火災の原因となります。
- バッテリーを、マニュアルで指示されている以外の方法で充電しないでください。発熱や発火、液漏れによる被害の原因となります。
- 本体や付属のバッテリーなどを火中に入れたり、火気に近づけたり、加熱したり、高温状態で放置したりしないでください。破裂などで火傷の原因となります。
- バッテリーの金属端子をショートさせたり、水・コーヒー・ジュースなどの液体でぬらさないでください。発火・感電・火傷の原因となります。
- 付属の AC アダプターやバッテリーを、分解・改造しないでください。感電や火傷、化学物質による被害の原因となります。分解・改造した AC アダプターやバッテリー（当社での修理対応は除く）での本機の使用は、安全性や製品に関する保証ができません。
- 小さなお子様の手の届く所にバッテリーを保管しないでください。なめたりすると火傷や、化学物質による被害の原因となります。
- バッテリーには、落下させる、ぶつける、先の尖ったもので力を加える、強い圧力を加えるなどの衝撃を与えないでください。破裂や液漏れにより、火傷や化学物質による被害の原因となります。
- バッテリー駆動時間が極端に短くなった場合は、当社指定の新しいバッテリーと交換してください。駆動時間が短くなったバッテリーは、内部に使用されている電池の消耗度合いにばらつきが発生している可能性があります。電池の消耗度合いにばらつきがあるバッテリーをそのまま使用し続けると、発熱・発火・破裂の原因となります。



- AC アダプターを毛布や布団で覆わないでください。
火傷・火災のおそれがあります。
- AC アダプターやバッテリーに強い衝撃や振動を与えたり、乱暴に扱ったりしないでください。また、破損した AC アダプターやバッテリーを使用しないでください。
感電・火傷の原因となったり、発熱・発火・破裂のおそれがあります。
万一、本機の落下などで強い振動や衝撃が加わり、AC アダプターやバッテリーが破損したり、変形したりした場合は、本機の電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いて、本機からバッテリーを取り外してください。
- ひざの上で長時間使用しないでください。本機底面が熱を持つため、低温火傷の原因となります。
- AC アダプターの温度の高い部分に、長時間触れないでください。
低温火傷の原因となります。

AC アダプターやバッテリーは、次の注意事項を確認して正しくお使いください。

● AC アダプターを使用するとき

- AC アダプターを長時間接続して使用すると、AC アダプター本体が少し熱を持ちますが、故障ではありません。
- AC アダプターは頻繁に抜き差ししないでください。

● バッテリーを取り付けて使用するとき

- 省電力状態のまま長時間使用しない場合は、完全放電しないように気をつけてください。省電力状態でも電力が消費されています。

 p.103 「省電力機能」

- バッテリーだけで使用しているときに、動画再生時にコマ落ちしたり、ソフトウェアの動作が遅くなったりする可能性があります。このような場合には、省電力状態に移行しないように設定してください。

 p.105 「時間経過で移行させない」

● バッテリーを長期間使用しないとき

- 長期間使用していない場合は、バッテリーが完全放電している可能性があります。バッテリーだけで本機を使用するときは必ず充電してから使用してください。
- バッテリーを長期間充電しないと、過放電になる可能性があります。予防のために定期的に充電をしてください。

 p.37 「バッテリー保管上の注意」



低温環境でのバッテリー性能

低温の環境では、バッテリーの性能が低下します。これは一時的なものであり、常温の環境に戻すと性能が回復します。

バッテリーの使用可能時間

バッテリーだけで本機を使用できる時間は次のとおりです。ただし使用環境や本機の状態により時間は変化します。

バッテリーの使用可能時間 * (満充電の場合)	
連続	約 5.5 時間

* JEITA (電子情報技術産業協会) の測定方法 Ver.2.0 に基づいています。

本機をバッテリーだけで使用している場合は、使用可能時間が制限されます。
省電力の設定を行うと使用可能時間を延ばすことができます。

 p.103 「省電力機能」

バッテリーの充電

バッテリーの充電は、AC アダプター接続時に、本機の電源が入 / 切どちらの状態でも自動的に行われます。

バッテリー残量が 95% 未満で充電を開始し、100% で充電完了します。



参考

バッテリー劣化対策とピークシフト

本機には、バッテリー劣化を抑える充電レベルの設定や、電力使用のピーク時間帯は AC アダプター接続時もバッテリーを使用する設定などができる「電源管理ユーティリティ」がインストールされています。



p.106 「電源管理ユーティリティ」

バッテリー充電ランプの表示

AC アダプター接続時のバッテリー充電ランプ () の表示は、次のとおりです。

充電状態	ランプの表示
充電中	点灯 (オレンジ色)
満充電	消灯
正常に充電されていない	点滅 (オレンジ色) *

* バッテリーのみで使用している場合の点滅は、バッテリー残量低下の通知です。



参考

AC アダプターを接続しても充電されないときは

「電源管理ユーティリティ」で充電設定やピークシフトを実行している場合、バッテリー残量や時間帯によって、バッテリー充電が行われません。設定内容の確認をおすすめします。



p.106 「電源管理ユーティリティ」

正常に充電されていない場合の対処

バッテリーの充電中にバッテリー充電ランプが点滅する場合は、次の対処を行ってください。

- バッテリーを外して再度装着し、動作環境で充電する

動作環境（10～35℃）以外では、AC アダプターを接続して 10 時間以上経過すると、バッテリーが正常に充電できなくなります。

- 修理受付窓口につながる

動作環境（10～35℃）で使用し、バッテリーを装着しなおしても改善しない場合は、バッテリー異常が考えられます。

 『サポート・サービスのご案内』をご覧ください、修理受付窓口までご連絡ください。

充電時間

低バッテリー状態からバッテリーの充電完了までの時間は、約 2.4* 時間です。

*電源が入っている状態では、コンピューターの使用状況により差があります。



参考

- 温度条件について

バッテリーは、化学反応を利用した電池です。このため、動作環境（10～35℃）以外では、充電速度が極端に遅くなる場合があります。その状態で 10 時間以上経っても充電が完了しないと、バッテリーへの充電が中止され、バッテリー充電ランプが点滅します。

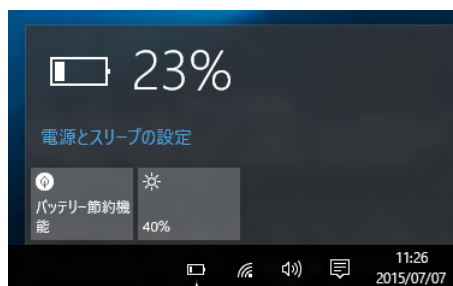
- 充電レベルやピークシフトの設定

「電源管理ユーティリティ」では、バッテリー充電の開始・停止のレベルや、AC アダプター接続時もバッテリーを使用する設定などを行うことができます。

 p.106 「電源管理ユーティリティ」

バッテリー残量の確認

画面右下通知領域の「バッテリー」アイコンをクリックすると、バッテリー残量を確認することができます。



クリック

<バッテリーアイコン>

バッテリー残量が少なくなったら

バッテリーの残量が低下した際の通知や対処方法などについて説明します。

バッテリー低下の通知

バッテリー残量が少なくなり、「バッテリー低下」の状態になると、本機は次のように通知（警告）します。

バッテリーの残量が非常に少なくなっています (7%)

今すぐコンピューターを電源につないでください。

閉じる(C)

バッテリー残量がさらに低下すると、バッテリー充電ランプ点滅後、本機は休止状態になります。

対処方法

バッテリー残量低下が通知されたら、すぐに次のどちらかの処置を行ってください。完全放電してシャットダウン（電源切断）してしまうと、保存していないデータはすべて失われます。

- AC アダプターを接続する

電源を入れたまま AC アダプターを接続します。

- 電源を切る

作業中のデータを保存して、実行中のアプリを終了させたあと、本機の電源を切ります。バッテリーを交換する場合も、必ず電源を切ってから行ってください。



制限

AC アダプターを接続しない場合は、直ちに作業中のデータを保存してください。コンピューターがシャットダウンしてしまうと、保存していないデータはすべて失われます。



参考

AC アダプターを接続しても充電されないときは

「電源管理ユーティリティ」で充電設定やピークシフトを実行している場合、バッテリー残量や時間帯によって、バッテリー充電が行われません。設定内容の確認をおすすめします。



p.106 「電源管理ユーティリティ」

バッテリーの容量がすぐに低下するときは

バッテリーは消耗品です。満充電にしても、バッテリー容量がすぐに低下する場合は、バッテリーの寿命が考えられます。また、バッテリーの駆動時間が極端に短くなった場合は、内部に使用されている電池の消耗度合いにばらつきが発生している可能性があります。電池の消耗度合いにばらつきがあるバッテリーをそのまま使用し続けると、発熱、発火、破裂の原因となります。本機専用の新しいバッテリーに交換してください。



参考

USB 充電機能について

本機の左側面、前側の USB3.0 コネクター（）は、休止状態や電源 OFF 時でも、接続した携帯電話などの USB 機器に電力を供給する USB 充電機能に対応しています。USB 充電機能を有効に設定した場合、電源 OFF の状態でも、対応するコネクターに USB 機器を接続していると機器に電力が供給されるため、バッテリー残量は低下します。



p.64 「USB 充電機能を使う」

バッテリーの交換

複数のバッテリーを交互に使用する場合や、バッテリーが寿命に達した場合は、バッテリーを交換します。

交換用のバッテリーについては、当社のホームページをご覧ください。

<http://shop.epson.jp/>

バッテリーの交換方法

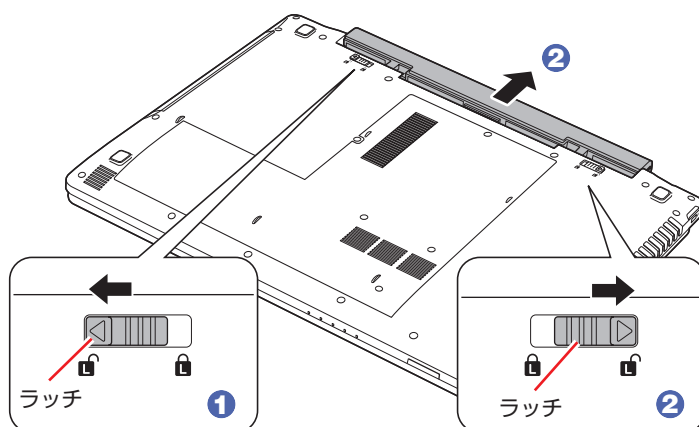
バッテリーの交換方法は次のとおりです。

- 1** 本機の電源を切ります。AC アダプターが接続されている場合は外します。
- 2** 底面を上にして置きます。



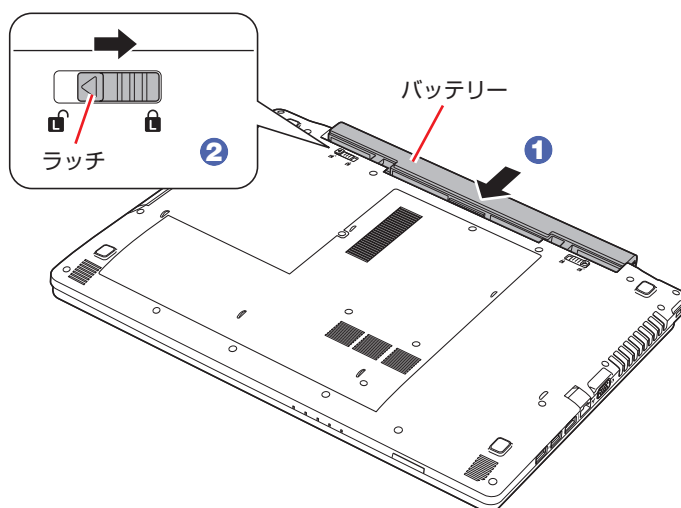
3 バッテリーを取り外します。

- ① 左側のラッチを、ロック解除位置（)に移動します。
- ② 右側のラッチを、右に移動した状態のまま、バッテリーを矢印の方向にスライドさせ、取り外します。



4 当社指定の新しいバッテリーを取り付けます。

- ① バッテリーを本機に合わせ、しっかり押し込みます。
- ② 左側のラッチを、右に移動します。



バッテリーを長くお使いいただくために

バッテリーは消耗品です。バッテリーの劣化は、使い方や使用環境によって大きく変わります。バッテリーの劣化を抑え、使用可能時間を延ばすため、次の事項に注意してください。

- 高温の環境では、バッテリーの劣化が早まります。本機やバッテリーを、炎天下の自動車の中や暖房機の近くなどで使用したり、放置したりしないでください。
- 低温の環境下では、バッテリーの性能が悪化します。これは一時的なものであり、常温の環境下に戻すと性能が回復します。
- コンピューターを使用する、使用しないにかかわらず、常時 AC アダプターを接続した状態は、バッテリーの劣化を早めます。1 ヶ月に 1 回程度、AC アダプターを外してコンピューターを起動してください。そのまま、バッテリー低下のアラームが通知されるまで使用してバッテリーを放電させた後、AC アダプターを接続してご使用ください。
- リチウムイオンバッテリーパックの場合、約 300 ～ 500 回の放電で、使用可能時間が初期値の約 50 ～ 70% になります。毎日充放電を繰り返すと、1 年程度で寿命となる場合があります。
- 使用可能時間はご使用環境によって変化し、1 年程度で初期値の 50% 以下となる場合もあります。
- 上記数値は充放電回数を保証するものではありません。

※ バッテリーの劣化が早まり、バッテリー駆動での使用時間が短くなった場合は、新品のバッテリーパックをご購入ください。



バッテリー劣化を抑える設定

本機には、バッテリー劣化を抑えるために充電レベルを設定できる「電源管理ユーティリティ」がインストールされています。

 p.106 「電源管理ユーティリティ」

バッテリー保管上の注意



小さなお子様の手の届く場所にバッテリーを保管しないでください。
なめたりすると、火傷や化学物質による被害の原因となります。

バッテリーを保管するときは、次の事項を守ってください。

- 2 週間以上の長期に渡ってコンピューターを使用しないときは、コンピューター本体からバッテリーパックを外して保管してください。
- ダンボールなどの、電気を通さない箱に入れてください。また、端子をショートさせないために、金属製ネックレスやクリップなどの導電性のものを同梱しないでください。
- バッテリーパックは、振動や衝撃がかからないように、安定した場所に保管してください。
- 満充電状態のままバッテリーパックを放置しておくと劣化を早めます。この劣化は、保存温度が高いほど早く進みます。バッテリーパックを長期間保管するときは、充電容量を 50% 前後にして、乾燥した冷暗所に保管することをおすすめします。

- バッテリーは、使用しなくても自己放電により、蓄えられた電気が徐々に無くなります。過放電となったバッテリーパックは、火災の危険を防止するため、コンピューター本体の充電保護回路が作動して充電することができなくなります。過放電を防止するために、3 ヶ月に 1 回くらいの割合で、50% 程度の充電をしてください。
- ※ 2 週間以上の長期に渡ってバッテリーパックを保管するなどし、バッテリーが完全に放電すると、バッテリーパック内の保護回路が作動し、ある日突然充電できなくなることがあります。その際は、新品のバッテリーパックをご購入ください。

使用済みバッテリーの取り扱い



使用済みのリチウムイオン（Li-ion）バッテリーは、再利用可能な貴重な資源です。有効資源のリサイクルにご協力ください。

バッテリーリサイクル時の注意

使用済みのバッテリーは、ショートしないように、端子部にテープを貼るかポリ袋などに入れて絶縁し、リサイクル協力店にある充電式電池回収ボックスに入れてください。絶縁しないと、破裂、発熱の原因となります。バッテリーは、燃やしたり埋めたり一般ゴミに混ぜて捨てたりしないでください。環境破壊の原因となります。

タッチパッドを使う

本機には、タッチパッドが搭載されています。タッチパッドは、マウスと同じようにポインターなどを操作したりクリックしたりするための装置です。

タッチパッド使用時の注意

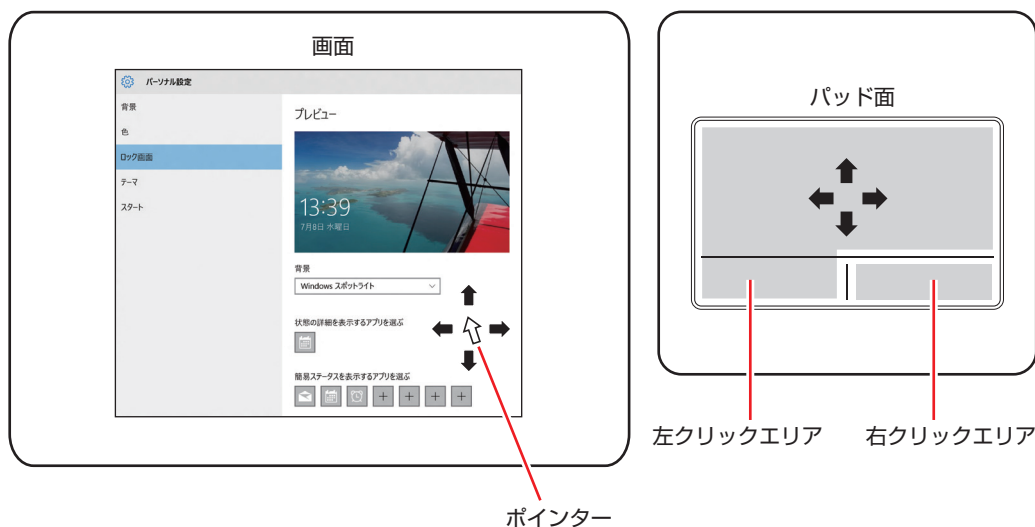
タッチパッドは、次の注意事項を確認して正しくお使いください。

- ・パッド面には指で触れてください。ペンなどで触れると、ポインターの操作ができないだけでなく、パッド面が破損するおそれがあります。
- ・パッド面は、1本の指で操作してください（複数の指で使用可能な機能は除く）。一度に2本以上の指で操作すると、ポインターが正常に動作しません。
- ・手がぬれていたり、汗ばんでいると、ポインターの操作が正しくできないことがあります。
- ・キーボードを操作しているときにパッド面に手が触れると、ポインターが移動してしまうことがあります。
- ・起動時の温度や湿度により、正常に動作しない場合があります。この場合は電源を一度切って入れなおすことにより正常に動作することがあります。
- ・電源を入れたままLCDユニットを閉じていたり、使用中に本機の温度が上がってくると、正常に動作しない場合があります。この場合は、電源を一度切って入れなおすことにより正常に動作することがあります。

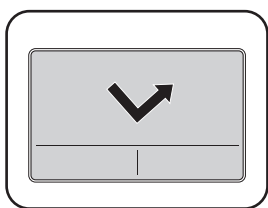
タッチパッドの操作

パッド面にはマウスの左クリックボタン / 右クリックボタンと同じ働きをするエリアがあります。それぞれのエリアを押すとカチッと音がします。

指をパッド面の上で前後左右に動かすと、動かした方向に画面上のポインターが移動します。

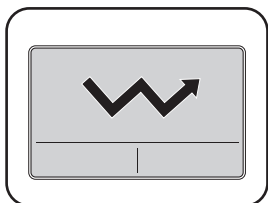


● クリック



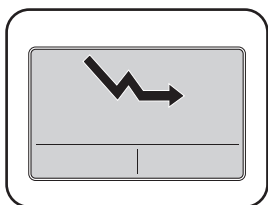
ポインターを画面上の対象に合わせて、パッド面を軽く 1 回たたきます。左クリックエリアを「カチッ」と押すのと同じ操作です。

● ダブルクリック



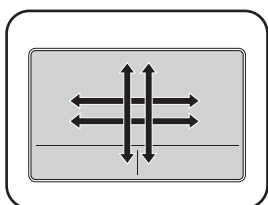
ポインターを画面上の対象に合わせて、パッド面を軽く 2 回たたきます。左クリックエリアを「カチカチッ」と 2 回押すのと同じ操作です。

● ドラッグアンドドロップ



ポインターを画面上の対象に合わせて、ダブルクリックの 2 回目のクリック時に、指をパッド面に触れたまま移動させます。左クリックエリアを押したままの状態でのポインターを移動し、離すのと同じ操作です。

● スクロール



上下のスクロールは、パッド面を 2 本指で触れて前後に動かします。左右のスクロールは、パッド面を 2 本指で触れて左右に動かします。

画面のズーム / 回転

本機のタッチパッドでは、画面上の対象を拡大したり、回転したりすることができます。使い方の詳細や機能の停止方法などは、タッチパッドユーティリティの次の項目をご確認ください。

- ズーム
- 回転

 p.41 「タッチパッドユーティリティを使う」

タッチパッド機能をオフにする

本機では、タッチパッドの機能をオフにすることができます。

タッチパッドに手が当たってキーボード入力がしにくい場合などには、タッチパッド機能をオフにすると便利です。

タッチパッド機能のオン / オフの切り替えは、次のキー操作で行います。

Fn + **F9** ( / ×)

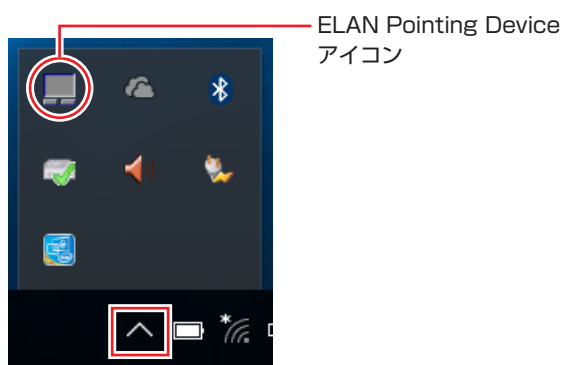
 p.47 「Fn キーと組み合わせて使うキー」

タッチパッドユーティリティを使う

タッチパッドユーティリティでは、タッチパッドの各種設定を行うことができます。

タッチパッドユーティリティ画面の表示方法は次のとおりです。

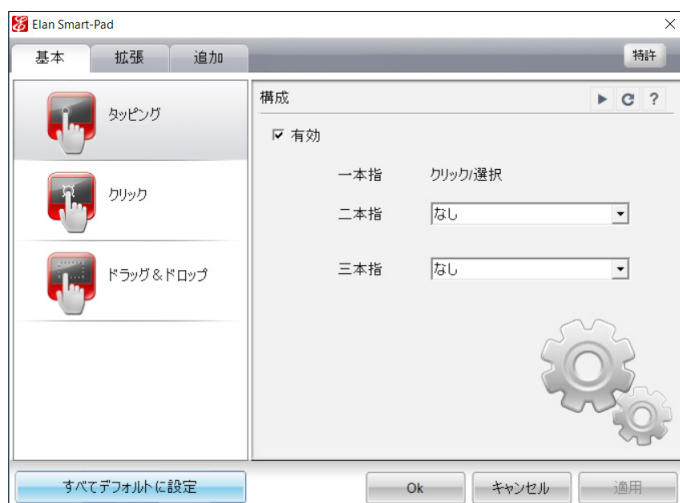
- 1 画面右下通知領域の  - 「ELAN Pointing Device」アイコンをダブルクリックします。



- 2 「Elan Smart-Pad」画面が表示されたら、各種設定を行います。

タブを選択して、各種設定を行います。

機能を停止したい場合は、設定項目のチェックを外すか、機能を無効にする項目を選択してください。



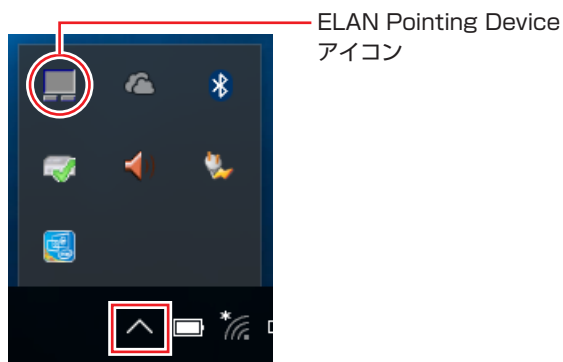
USBマウス（オプション）の接続

本機右側面または左側面の USB コネクター（）に、オプションの USB マウスを接続して使うことができます。

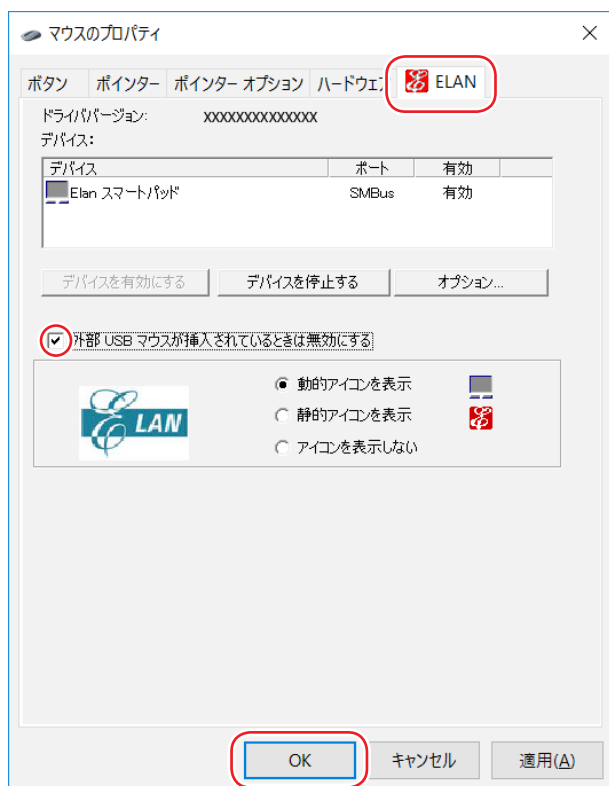
USB マウス接続時にタッチパッド機能をオフにする

USB マウス接続時に、自動的にタッチパッド機能がオフになるように設定することができます。設定方法は次のとおりです。

- 1 画面右下通知領域の  — 「ELAN Pointing Device」アイコンを右クリックして、「Touch-Pad のプロパティ」を選択します。



- 2** 「マウスのプロパティ」画面が表示されたら、「ELAN」タブで「外部 USB マウスが挿入されているときは無効にする」にチェックを付けて、[OK] をクリックします。
これで設定は完了です。



「外部 USB マウスが挿入されているときは無効にする」にチェックを付けると、USB キーボードなどの USB デバイスを接続時にも、タッチパッド機能がオフになることがあります。

キーボードを使う

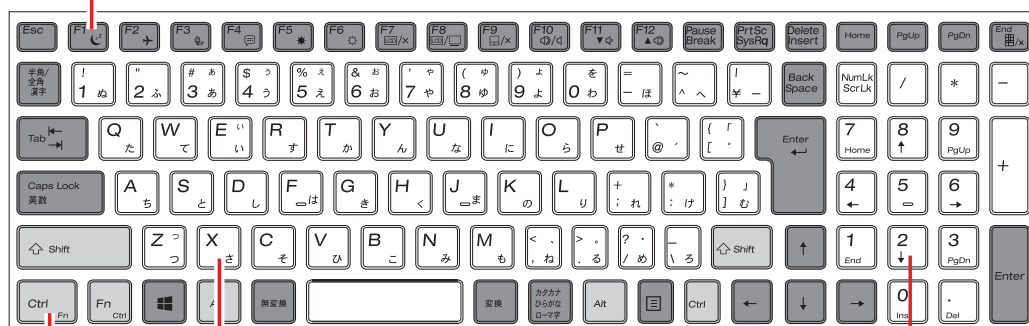
本機には、日本語対応 107 キーボード（テンキー付き）が搭載されています。

キーの種類と役割

各キーには、それぞれ異なった機能が割り当てられています。

●機能キー

文字を消す、入力位置を変えるなど、特別な役割が割り当てられたキーです。
機能キーの役割は、ソフトウェアによって異なります。



●文字キー

英数字、記号の入力や日本語入力システムを利用して漢字やひらがななどの日本語を入力します。

●制御キー

文字キーや機能キーの働きを変化させます。
単独では機能しません。

●数値キー

数字、演算子などを入力します。
[NumLk] の状態により機能が変わります。入力をオフにすることもできます。  p.47

文字を入力するには

文字キーを押すとキートップ（キーの上面）に印字された文字が入力されます。
入力モードによって、入力される文字は異なります。

直接入力モード		キートップのアルファベットをそのまま入力します。
日本語入力モード	ローマ字入力	キートップのアルファベットでローマ字を入力し、漢字やひらがなに変換します。
	かな入力	キートップのひらがなをそのまま入力し、漢字やカタカナに変換します。

入力モードの切り替え

 を押すと、直接入力モードと日本語入力モードを切り替えることができます。
日本語入力モードのローマ字入力とかな入力の設定は日本語入力システムで行います。

日本語を入力するには

ひらがなや漢字などの日本語の入力は、日本語入力システムを使用します。
本機には日本語入力システム「MS-IME」が標準で搭載されています。

MS-IME

画面右下通知領域の入力モードボタンを右クリックすると、IME のオプションが表示されます。



入力モードボタン

MS-IME 以外の日本語入力システムを使用する場合は、そのシステムのマニュアルをご覧ください。

キーロック機能

文字や数値キーの入力モードを固定する機能が搭載されています。
キーロックの状態は、ステータス表示ランプで確認することができます。

 p.18 「電源スイッチ / ステータス表示ランプ」

アルファベット大文字入力の固定

アルファベットの入力を大文字または小文字に固定することができます。
固定する文字の切り替えは、次のキー操作で行います。

Shift + **Caps Lock**

大文字に固定すると、CapsLock ランプ () が点灯します。

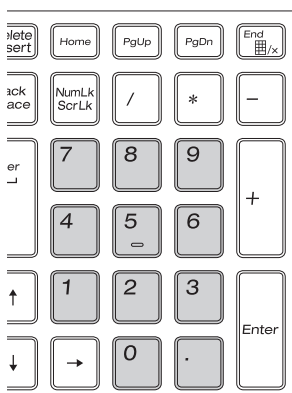
大文字に固定した状態のまま小文字を入力するには、**Shift** を押しながら文字を入力します。

数値入力の固定

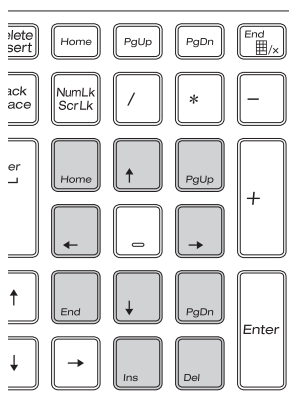
NumLk を押すたびに、数値入力固定と矢印などのカーソル制御入力固定を切り替えることができます。

数値入力に固定すると、NumLock ランプ () が点灯します。

数値入力に固定



カーソル制御に固定



数値入力に固定した状態でカーソル制御を行うには、**Shift** を押しながらカーソル制御のキーを操作します。

数値キーの機能をオフにする

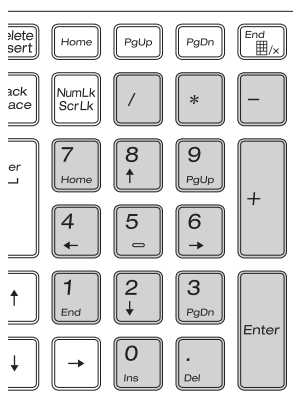
本機では、数値キー（テンキー）の機能をオフ（無効）にすることができます。数値入力やカーソル制御の必要がない場合、機能をオフにしておくと、誤って数値キーを押しても何も入力されません。

数値キー機能のオン / オフ の切り替えは、次のキー操作で行います。

Fn + **End** ( /x)

 p.47 「Fn キーと組み合わせて使うキー」

オフになるキーの範囲は次のとおりです。



Fnキーと組み合わせて使うキー

キートップに青色で印字されている機能キーは **Fn** と組み合わせて実行します。

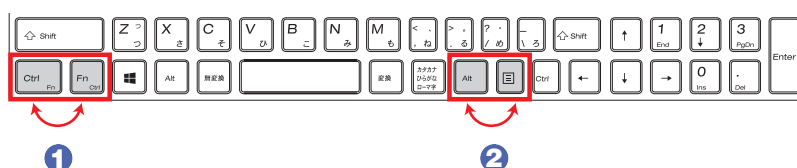
キーの組み合わせ	機能
Fn + F1 	省電力状態に移行します。購入時の設定では、スリープに移行します。  p.103 「省電力機能」
Fn + F2 	「機内モード」のオン / オフを切り替えます。 ※無線機能搭載時のみ動作します。 機内モードをオンにすると、本機の無線機能がオフになり、電波を停止することができます。
Fn + F3 	電源管理ユーティリティの画面を表示します。  p.106 「電源管理ユーティリティ」
Fn + F4 	PC お役立ちナビを起動します。
Fn + F5 	LCD 画面を暗くします。  p.66 「LCD ユニットの調整」
Fn + F6 	LCD 画面を明るくします。  p.66 「LCD ユニットの調整」
Fn + F7 	LCD 画面のバックライトの入 / 切を切り替えます。  p.66 「バックライトの消灯」

Fn + F8	外付けの表示装置に接続している場合に、画面表示を切り替えます。 p.72 「画面表示を切り替えるには」
Fn + F9	タッチパッドのオン / オフを切り替えます。 p.41 「タッチパッド機能をオフにする」
Fn + F10	スピーカーのミュート（消音）の入 / 切を切り替えます。 p.78 「音量の調節」
Fn + F11	スピーカーの音量を小さくします。 p.78 「音量の調節」
Fn + F12	スピーカーの音量を大きくします。 p.78 「音量の調節」
Fn + Delete Insert	文字入力の入力モードを切り替えます。
Fn + NumLk ScrLk	ソフトウェアによって機能が異なります。詳しい内容は、ご使用のソフトウェアのマニュアルをご覧ください。
Fn + End	数値キー機能のオン / オフ を切り替えます。 p.47 「数値キーの機能をオフにする」

入力キーの機能の入れ替え

次の入力キーの機能を入れ替えることができます。

- 1 キーボード左下にある **Ctrl** とその隣の **Fn**
- 2 キーボード中央下部にある **Alt** とその隣の **Win**（アプリケーションキー）



キーの機能を入れ替える場合は、「UEFI Setup ユーティリティ」－「Advanced」メニュー画面で次の項目を変更してください。

- 1 「Exchange L-Ctrl & L-Fn key」（左下の **Ctrl** と **Fn** の入れ替え）
- 2 「Exchange R-Alt & Win APP key」（中央下部の **Alt** と **Win** の入れ替え）

キーの機能の入れ替え	UEFI の設定値
機能を入れ替える場合	Enabled（有効）
機能を入れ替えない場合	Disabled（無効）

購入時は、いずれも「Disabled」に設定されています。

p.128 「UEFI Setup ユーティリティの操作」

p.139 「Advanced メニュー画面」

HDD/SSD の概要

本機には、記憶装置として HDD または SSD* が搭載されています。

* HDD よりも高速にデータの読み書きができる記憶装置です。

！ 制限

- HDD/SSD アクセスランプ点滅中に、本機の電源を切ったり、再起動したりしないでください。アクセスランプ点滅中は、コンピューターが HDD/SSD に対してデータの読み書きを行っています。この処理を中断すると、HDD/SSD 内部のデータが破損するおそれがあります。
- 本機を落としたり、ぶつけたりしてショックを与えると HDD/SSD が故障するおそれがあります。ショックを与えないように注意してください。また、持ち運ぶときは、電源を切った状態で専用バッグに入れるなどして、保護するようにしてください。
- HDD/SSD が故障した場合、HDD/SSD のデータを修復することはできません。

データのバックアップ

HDD/SSD に記録されている重要なデータは、光ディスクメディアや外付けの記憶装置などにバックアップしておくことをおすすめします。万一 HDD/SSD の故障などでデータが消失してしまった場合でも、バックアップを取ってあれば、被害を最小限に抑えることができます。

購入時のHDD/SSD領域

購入時、HDD/SSD の領域は、次のように設定されています。

通常

ドライブ(領域)	容量
システム	260MB
MSR	16MB
C ドライブ	残り
リカバリー	約 1GB

パーティション分割サービスを選択された場合

ドライブ(領域)	容量
システム	260MB
MSR	16MB
C ドライブ	購入時に選択された容量
リカバリー	約 1GB
D ドライブ	残り



参考

パーティション分割サービス

パーティション分割サービスとは、HDD/SSD の領域を C ドライブ、D ドライブに分割した状態でコンピューターをお届けするサービスのことです。



制限

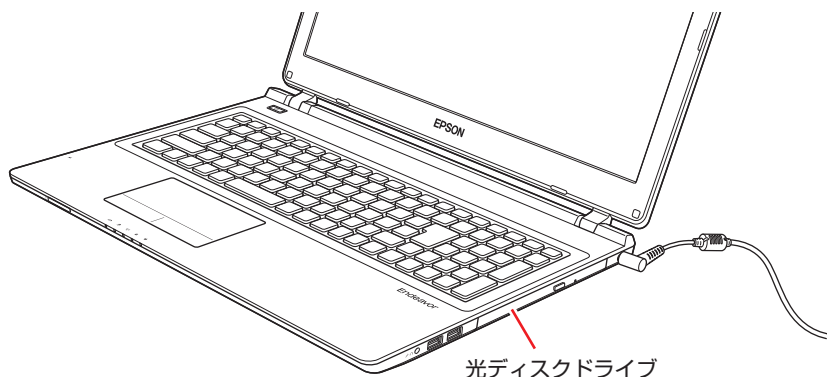
- 「リカバリー領域」は削除しないでください。「リカバリー領域」には PC を初期状態に戻す (p.158) ためのデータが設定されています。
- C ドライブの領域変更 (分割など) は行わないでください。動作保証していません。

光ディスクメディアを使う（オプション）

購入時にオプション選択された場合、本機にはシリアル ATA 仕様の光ディスクドライブが搭載されています。

※ 光ディスクドライブなしを選択された場合は、搭載されていません。

光ディスクドライブは、CD-ROM などの光ディスクメディアを使用するための機器です。ここでは、光ディスクドライブの基本的な使い方について説明します。



光ディスクドライブで、ひび割れや変形補修したメディアを使用しないでください。飛び散って、けがをする危険があります。



本機では、CD（コンパクトディスク）の規格に準拠しない「コピーコントロールCD」などの特殊ディスクは、動作保証していません。本機にて動作しない特殊ディスクについては、製造元または販売元にお問い合わせください。

光ディスクドライブのマニュアルを見る

使用できるメディアや機能など、お使いの光ディスクドライブの説明は、次をご覧ください。



「PCお役立ちナビ」－「マニュアルびゅーわ」－「光ディスクドライブ取扱説明書」

光ディスクメディアのセットと取り出し

光ディスクメディアのセットと取り出し方法について説明します。
本機の電源を入れた状態で行ってください。

！ 制限

- 光ディスクドライブアクセス中にメディアを取り出したり、本機の電源を切ったり、再起動したりしないでください。
- メディアの再生中や書き込み中に振動や衝撃を与えないでください。
- ディスクトレイ上の光学レンズに触れたり、傷つけたりしないでください。メディアのデータが読めなくなります。
- 必要な場合以外は、ディスクトレイは閉じておいてください。
- 結露した状態のメディアを使用しないでください。メディアを寒いところから暖かいところへ急に持ち込むと、結露（水滴が付着する状態）します。使用すると、誤動作や故障の原因になります。

セット方法

- 1** イジェクトボタンを押します。
ディスクトレイが少し飛び出します。
- 2** ディスクトレイを静かに引き出します。
光学レンズに触れたり、傷つけたりしないでください。
メディアのデータを読めなくなります。
- 3** 印刷面を上にしてメディアをディスクトレイに載せ、カチッと音がするまではめ込みます。
- 4** ディスクトレイを静かに閉じます。

取り出し方法

- 1** イジェクトボタンを押します。
- 2** ディスクトレイが少し飛び出したら、そのまままっすぐ引き出します。
- 3** メディアをディスクトレイから取り出します。
- 4** ディスクトレイを手で押して静かに閉じます。

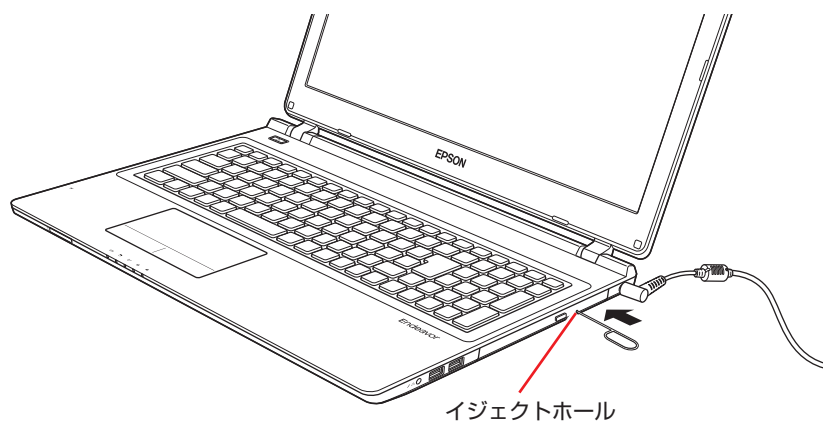
強制的な光ディスクメディアの取り出し

次のような場合には、強制的に光ディスクメディアを取り出すことができます。

- 光ディスクドライブの動作が不安定になったり、故障したりして、光ディスクメディアが取り出せない場合
- 光ディスクメディアをセットしたまま、本機の電源を切ってしまった場合

強制的な光ディスクメディアの取り出し方法は、次のとおりです。

- 1** 本機の電源が入っている場合は、電源を切ります。
- 2** 光ディスクイジェクトホールに先の細い丈夫なもの（ゼムクリップを引きのばしたものなど）を差し込みます。



- 3** ディスクトレイが少し飛び出したら、そのまま手でまっすぐ引き出します。

DVDの再生

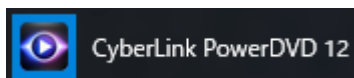
本機では、DVD の再生に次のアプリを使用します。

- PowerDVD (Blu-ray ドライブ搭載時)  p.54
- WinDVD (Blu-ray ドライブ以外の光ディスクドライブ搭載時)  p.56

PowerDVD

Blu-ray ドライブ搭載時

PowerDVD は、[スタート] – [すべてのアプリ] – [CyberLink PowerDVD 12] – [CyberLink PowerDVD 12] をクリックして起動します。



PowerDVD の詳しい使用方法是、ヘルプをご覧ください。画面右上の「？」をクリックすると、ヘルプが表示されます。



制限

HDCP 非対応のデジタルディスプレイにデジタル接続した場合、再生画像を表示できません。

CPRM で著作権保護された DVD メディアを再生するには

PowerDVD は CPRM で著作権保護された DVD メディアの再生に対応していますが、初回の再生時にインターネットへの接続が必要です。

初めて CPRM で著作権保護された DVD メディアを再生する際にメッセージが表示されるので、インターネットに接続してください。以降は、CPRM で著作権保護されたメディアの再生が可能になります。

BD メディアを再生するには

Blu-ray Disc (BD) は、著作権保護技術として AACS を採用しており、随時更新されています。PowerDVD にも AACS キーが内蔵されており、定期的に AACS キーを更新しないと BD メディアを再生できない場合があります。

PowerDVD の使用時に次のようなメッセージが表示されたら、内容をご確認の上、CyberLink Web サイトに接続して PowerDVD のアップデートバージョンをダウンロードし、AACS キーの更新を行ってください。

- ・「引き続きこのコンテンツを再生するには、CyberLink PowerDVD をアップデートする必要があります。」

※ AACS キーを更新する際は、インターネットに接続してください。



- ・ディスプレイにアナログ接続した場合、再生画像を表示できません。
- ・2 つのディスプレイに同じ画面を表示するクローン表示はサポートしていません。

PowerDVD サポート窓口

PowerDVD に関するお問い合わせは、下記にご連絡ください。

※下記のサポート情報は、予告なく変更される場合があります。

電話番号：0570-080-110（ナビダイヤル）

ナビダイヤルがご使用できない場合は下記番号をご利用ください。
03-5205-7670

営業時間：10:00 ～ 13:00 、14:00 ～ 17:00（土・日・祝日・休業日を除く）

カスタマーサポートページ：<http://support.jp.cyberlink.com/>

Blu-ray ドライブ以外の光ディスクドライブ搭載時

WinDVD は、デスクトップの「sMedio WinDVD」アイコンをダブルクリックして起動します。



<sMedio WinDVD アイコン>

WinDVD の詳しい使用方法是、ヘルプをご覧ください。 **[F1]** を押すとヘルプが表示されます。



HDCP 非対応のデジタルディスプレイにデジタル接続した場合、DVD VIDEO の再生画像を表示できません。

DVD VIDEO 再生時の不具合

WinDVD で DVD VIDEO の再生をすると、解像度や色数、リフレッシュレートの設定により、DVD VIDEO の再生ができないことがあります。

DVD VIDEO の再生ができない場合は、解像度や色数、リフレッシュレートを調節してみてください。

 p.67 「表示に関する各種設定」

CPRM で著作権保護されたメディアを再生するには

WinDVD は CPRM で著作権保護されたメディア再生に対応していますが、再生時に必要な「CPRM Pack」がインストールされていません。

インターネットに接続後、「CPRM Pack」のダウンロードおよびインストールを行ってください。「CPRM Pack」のダウンロードおよびインストール方法は、次のとおりです。

- 1** デスクトップの「sMedio WinDVD」アイコンをダブルクリックして WinDVD を起動します。
- 2** CPRM で著作権保護されたメディアを光ディスクドライブにセットします。
- 3** 「このディスクには CPRM著作権保護のかかったタイトルが含まれています・・・」と表示されたら、内容を確認して[OK] をクリックします。
- 4** 「コーレル CPRM Pack ダウンロード用登録ページへようこそ」と表示されたら、画面に従って登録を行います。
登録が完了すると、ダウンロードページが表示されます。
- 5** ダウンロードページが表示されたら、画面の指示に従って、「CPRM Pack」のダウンロードとインストールを実行します。
インストールが完了すると、CPRM で著作権保護されたメディアの再生が可能になります。



- CPRM で著作権保護されたメディアを再生する場合は、管理者のアカウントでログオンしてください。
- ディスプレイにアナログ接続した場合、CPRM で著作権保護されたメディアの再生はできません。

WinDVD ユーザーサポート情報

WinDVD に関するお問い合わせは、下記にご連絡ください。
※下記のサポート情報は、予告なく変更される場合があります。

sMedio テクニカルサポート、WinDVD サポート窓口

電話 : 03-5244-9509

メール : support@smedio.co.jp

営業時間 : 月曜日～金曜日 10:00 ～ 12:00、13:30 ～ 17:30
(祝日、年末年始および sMedio 社指定休業日を除く)

サポートページ : <http://www.smedio.co.jp/support/>

光ディスクメディアへの書き込み(Nero 15 Essentials)

書き込み機能のある光ディスクドライブ搭載時

ライティングアプリ「Nero 15 Essentials」を使用すると、光ディスクメディアにデータや音楽、画像などのファイルを書き込むことができます。



- 「Nero 15 Essentials」と Windows 標準の書き込み機能を同時に使用しないでください。
- 作成した DVD VIDEO は、一部の DVD プレイヤーで再生できない場合があります。

書き込み時の注意

書き込みを行う場合は、次の点に注意してください。

- 省電力機能を無効にする

メディアへの書き込み時に、Windows が省電力状態に切り替わると、データ転送エラーが起き、書き込みに失敗して、メディアに記録したデータが失われたり、メディアが使用できなくなる可能性があります。

書き込みを始める前に、省電力状態に移行しないように設定してください。

 p.105 「時間経過で移行させない」

省電力状態に移行する場合は、必ず光ディスクドライブからメディアを取り出してから行ってください。

- 速度に対応した光ディスクメディアを選ぶ

書き込みを行う場合は、お使いの光ディスクドライブの書き込み速度に対応したメディアを使用してください。

光ディスクドライブの書き込み速度は、次をご覧ください。



「PCお役立ちナビ」－「マニュアルびゅーわ」－「光ディスクドライブ取扱説明書」

使用方法

書き込みは「Nero Express」で行います。

Nero Express はデスクトップの「Nero Express」アイコンをダブルクリックして起動します。



<Nero Express アイコン>

Nero Express の詳しい使用方法是、ヘルプをご覧ください。

Nero 15 Essentials ユーザーサポート情報

Nero 15 Essentials のサポートについて説明します。

Nero 15 Essentials の操作などでお困りの場合は、以下のホームページのサポート情報をご覧ください。

※下記の情報は、予告なく変更される場合があります。

ホームページ: <http://www.nero.com/jpn/support/>

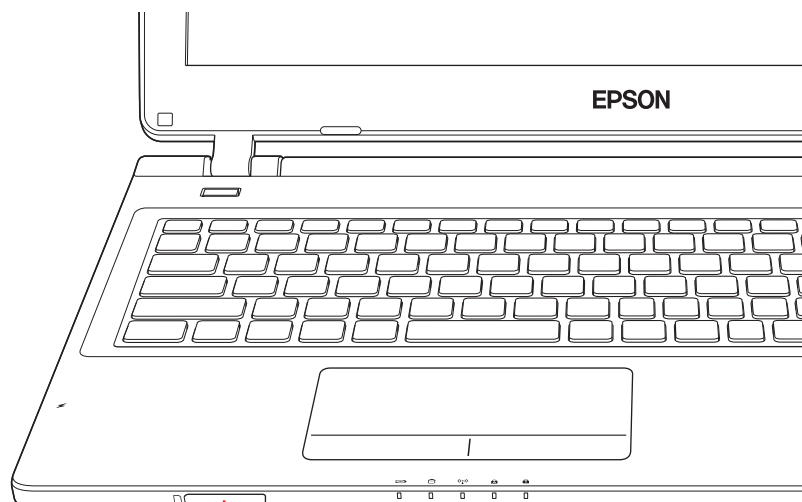
E-MAIL : 上記ホームページからお問い合わせください。

※お問い合わせの際は、コンピューターの機種名をお知らせいただく必要があります。

メモリーカードを使う

本機前面にはメモリーカードスロットが装備されています。

メモリーカードは、デジタルカメラなどで使用するメディアで、コンピューターとのデータ交換に使われます。



メモリーカードスロット

本機で利用できるメモリーカード

本機で利用できるメモリーカードは次の2種類です。

※ イラストは各メモリーカードのイメージです。

※ 記載は対応規格であり、すべてのカードでの動作を保証するものではありません。



< SD メモリーカード >

※ SDHC / SDXC 対応



< マルチメディアカード >

※ Plus 対応



制限

- SD メモリーカードの著作権保護機能には対応していません。
- I/O カードは使用できません。

メモリーカード使用時の注意

メモリーカードは、次の点に注意して正しく使用してください。

- ・メモリーカードアクセス中に、メモリーカードを取り出したり、本機の電源を切ったり、再起動したりしないでください。メモリーカード内のデータが破損するおそれがあります。
- ・記録されているデータによっては、読み込み時に専用のアプリが必要になる場合があります。詳しくは、データを作成した周辺機器またはアプリのマニュアルをご覧ください。
- ・データの書き込み中に電源の供給が停止するとメモリーカードに不具合が発生する可能性があります。メモリーカードを使用するときは、省電力状態に移行しないように設定してください。

 p.105 「時間経過で移行させない」

フォーマット

メモリーカードのフォーマットは、必ずメモリーカードを使用するデジタルカメラなどの周辺機器側で行ってください。本機でフォーマットを行うと、周辺機器でメモリーカードが認識されなくなる場合があります。

フォーマットの方法は、周辺機器のマニュアルをご覧ください。

メモリーカードのセットと取り出し

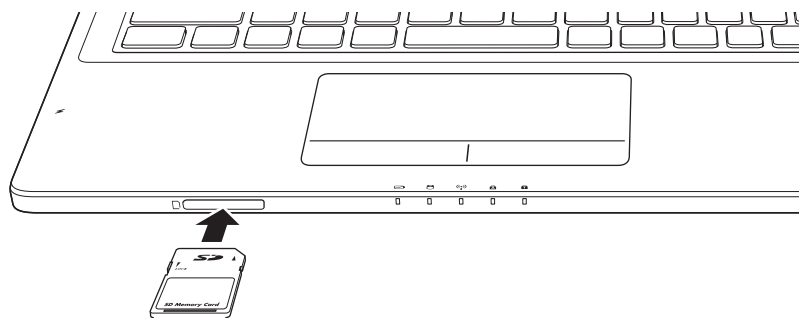
メモリーカードのセットと取り出し方法について説明します。

セット

メモリーカードのセット方法は、次のとおりです。

- 1** メモリーカードのラベル面を上（端子面を下）にしてメモリーカードスロットに挿入します。

「カチッ」と音がするまで押し込みます。

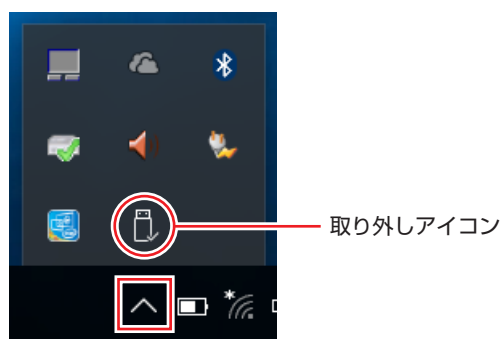


正しくセットしても、メモリーカードはスロットから 2mm くらい出たままになります。メモリーカードをセットした状態で本機を持ち運ぶ際は、十分注意してください。

本機をバッグなどに入れる場合には、必ずメモリーカードを取り出してください。

2 認識されると、メモリーカードが使用できます。

正しくセットされると、画面右下通知領域の  内に「取り外し」アイコンが表示されます。



取り外し

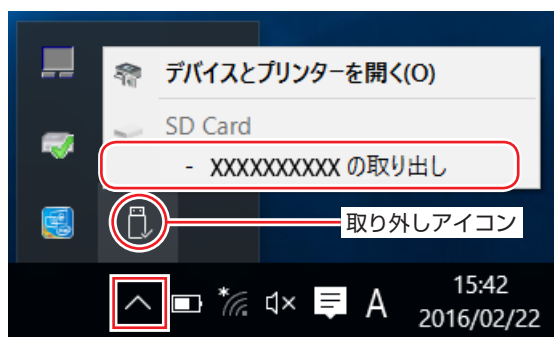
メモリーカードの取り外し方法は、次のとおりです。

1 メモリーカードの終了処理を行います。

本機の電源を切った場合、終了処理は不要です。2に進みます。

- 1 メモリーカード内のファイルを開いている場合は、ファイルを閉じます。
- 2 画面右下通知領域の  - 「取り外し」アイコン - 「(取り外したいメモリーカード)の取り出し」をクリックします。

複数の機器が表示される場合は、別の機器を選択しないよう注意してください。



「ハードウェアの取り外し」メッセージが表示されたら、終了処理は完了です。

2 メモリーカードを取り外します。

- 1 メモリーカードを「カチッ」と音がするまで押します。
強く押すと、メモリーカードが飛び出すことがあるので注意してください。
- 2 少し出てきたメモリーカードをまっすぐに引き抜きます。

取り出したメモリーカードは、専用のケースなどに入れて大切に保管してください。

USB 機器を使う

本機には次の USB コネクタが搭載されています。

- USB2.0 コネクタ × 2 (右側面)

- USB3.0 コネクタ × 2 (左側面)

前側のコネクタは、USB 充電機能に対応しています。

 p.64 「USB 充電機能を使う」

※ 転送速度は、本機のコネクタと接続する USB 機器の組み合わせによります。



接続した USB 機器によっては、本機の電源を切った状態でも、ランプが光り続けます。これは、お使いの USB 機器の仕様です。

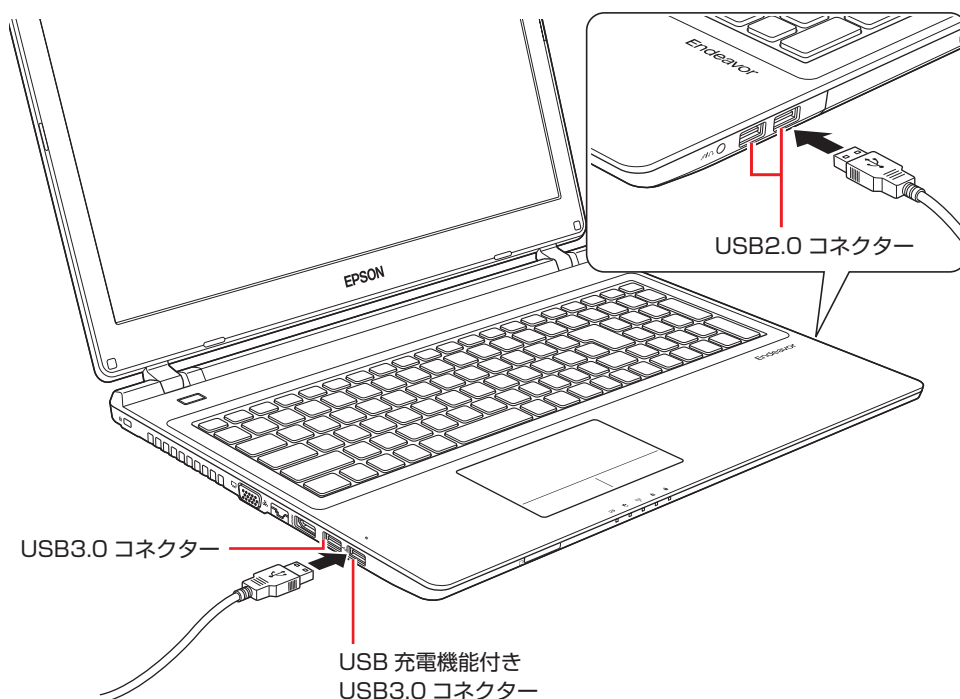
USB機器の接続と取り外し

USB 機器の接続・取り外しは、本機の電源が入っている状態で行うことができます。

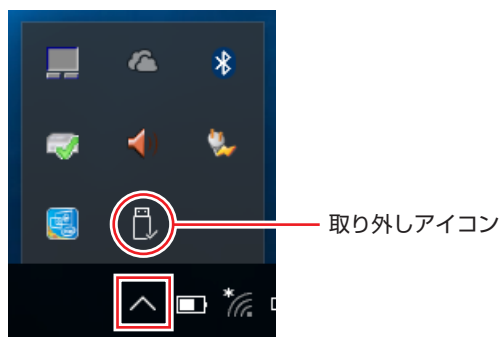
接続

USB 機器の接続方法は、次のとおりです。

1 USB 機器を、本機の USB コネクタ () に接続します。



- 2** USB 機器によっては、画面右下通知領域の **∧** 内に「取り外し」アイコンが表示されます。

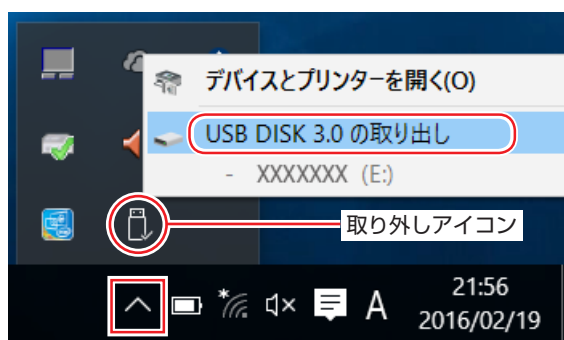


接続する USB 機器によっては、専用のデバイスドライバーが必要です。詳しくは USB 機器のマニュアルをご覧ください。

取り外し

USB 機器の取り外し方法は、次のとおりです。

- 1** USB 機器の終了処理を行います。
- 本機の電源を切った場合、終了処理は不要です。**2**に進みます。
- 1 USB 機器内のファイルを開いている場合は、ファイルを閉じます。
 - 2 画面右下通知領域の **∧** - 「取り外し」アイコン - 「(取り外したい USB 機器) の取り出し」をクリックします。
- 複数の機器が表示される場合は、別の機器を選択しないよう注意してください。



「ハードウェアの取り外し」メッセージが表示されたら、終了処理は完了です。

- 2** USB 機器を取り外します。

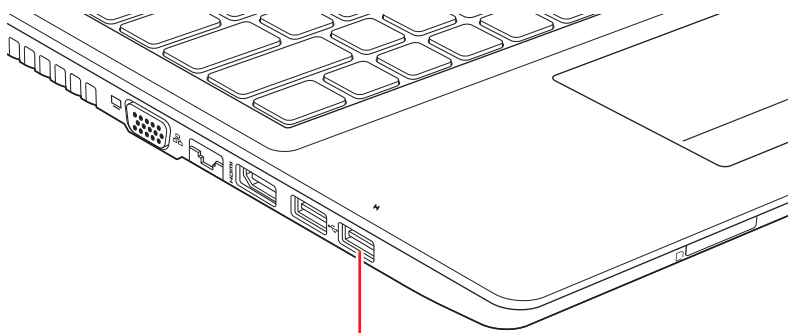
USB充電機能を使う

本機の4つのUSBコネクタは、電源が入った状態（休止状態は除く）でUSB機器に電力を供給します。

本機左側面の前側にあるUSB3.0コネクタ（）は、電源OFF時や休止状態でも、USB機器に電力を供給することができるUSB充電機能に対応しています。

USB充電機能を使うには、UEFIの設定が必要です。

 p.64 「USB充電機能を有効にする」



USB充電機能付きUSB3.0コネクタ

USB充電機能を使うと、本機の電源を入れずに、USB対応の携帯電話や携帯型デジタル音楽プレイヤーなどの使用や充電が可能になります。

USB充電機能は、バッテリーのみでの使用時も利用できます。その際、バッテリー残量がおおよそ10%（初期値）に低下すると、USB機器への電力供給を自動で停止します。



制限

USB機器によっては、USB充電機能を使用できないことがあります。

USB充電機能を有効にする

購入時、USB充電機能は無効になっています。USB充電機能を使用する場合は、「UEFI Setup ユーティリティ」の次の項目を有効にしてください。

「Advanced」メニュー画面－「USB Charger」：[Enabled]（有効）

 p.128 「UEFI Setup ユーティリティの操作」

 p.139 「Advanced メニュー画面」

電力供給停止のバッテリー残量設定

USB充電機能を有効にすると、電力供給を自動で停止するバッテリー残量の値を設定する項目が表示されます。

「Advanced」メニュー画面－「Stop Charging Battery Capacity」

10（初期値）～100の範囲で数値を入力し  を押すと、値を変更することができます。

画面表示機能

ここでは、本機の LCD ユニットでの画面表示について説明します。
本機では、LCD ユニットのほかに外付けの表示装置を接続することもできます。
 p.68「外付けディスプレイを使う」

制限

本機をバッテリーだけで使用する際、プログラムの負荷状態によって、ビデオや CPU のパフォーマンスが低下することがあります。
プログラムの負荷が高い作業をする場合は、本機に AC アダプターを接続してご使用ください。

LCD ユニットの仕様

本機では、購入時の選択によって次の LCD（液晶ディスプレイ）を搭載しています。

LCD	最大解像度
15.6 型 フル HD	1920 × 1080
15.6 型 HD	1366 × 768

制限

LCD の表示中に、次の現象が起きることがあります。これは、カラー LCD の特性で起きるもので故障ではありません。

- LCD は、高精度な技術を駆使して 100 万以上の画素から作られていますが、画面の一部に常時点灯または常時消灯する画素が存在することがあります。
- 色の境界線上に筋のようなものが現れることがあります。
- Windows の背景の模様や色、壁紙などによってちらついて見えることがあります。この現象は、背景の模様が市松模様や横縞模様といった特殊なパターンで、背景の色が中間色の場合に発生しやすくなります。

参考

LCD のドット抜け基準値

本機 LCD のドット*抜け基準値は、8 個以下です。これは、フル HD の場合で全ドットの 0.00013% 以下、HD の場合で全ドットの 0.00025% 以下に相当します。

*「ドット」は副画素（サブピクセル）を指します。LCD では、1 個の画素が 3 個の副画素で構成されています。

本書に記載しているドット抜け基準値は、ISO13406-2 に従って、副画素単位で計算しています。

副画素数

フル HD の場合：6,220,800 個

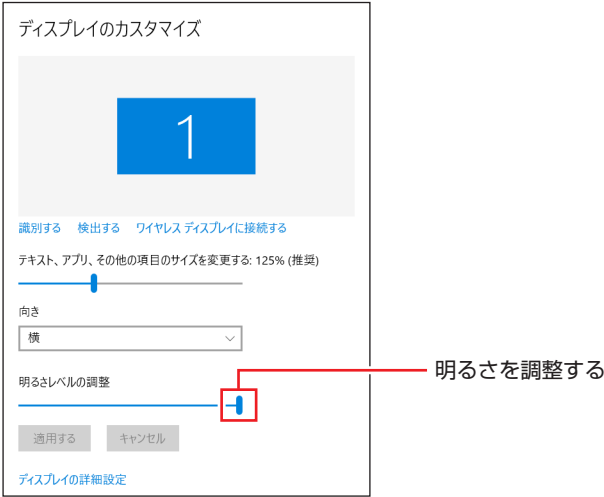
HD の場合：3,147,264 個

LCDユニットの調整

画面の明るさ調整

本機の画面の明るさ（輝度）の調整は、次の場所で行います。

【スタート】－「設定」－「システム」－「ディスプレイ」



キー操作で調整する

次のキー操作で、輝度を調整することができます。ただし、Windows を再起動すると元に戻ります。

キー操作	状態
Fn + F5 	暗くなります
Fn + F6 	明るくなります

バックライトの消灯

本機を使用していない間、バックライトを消灯することで消費電力を抑えることができます。バックライトの消灯方法は、次のとおりです。

キー操作 / LCD ユニットの操作	状態
Fn + F7  / 	本機が起動している状態で押すとバックライトが消灯します。 もう一度押すとバックライトが点灯します。

LCD ユニットを閉じたときの動作

LCD ユニットを閉じると、本機は「スリープ」になります。

 p.104 「省電力状態の種類」

表示に関する各種設定

画面表示に関する設定は次の場所で行います。

簡易設定

【スタート】－「設定」－「システム」－「ディスプレイ」

詳細設定

【スタート】を右クリック－「コントロール パネル」－「デスクトップのカスタマイズ」
－「画面の解像度の調整」



外付けディスプレイを使う

本機では、外付けディスプレイを接続して、画面を表示することができます。

ディスプレイの接続

本機には、VGA コネクターと HDMI コネクターが搭載されており、外付けディスプレイを 2 台接続することができます。

無線 LAN 機能搭載時、ワイヤレス（無線）での接続もできます。接続方法は  p.76 「ワイヤレスディスプレイを使用する（オプション）」をご覧ください。

接続方法の種類

外付けディスプレイの接続方法には、次の 3 つがあります。

接続方法		コンピューター側のコネクター
アナログ接続		VGA コネクター
デジタル接続	HDMI 接続	HDMI コネクター
	DVI-D 接続	HDMI コネクター + HDMI-DVI 変換アダプター (オプション)

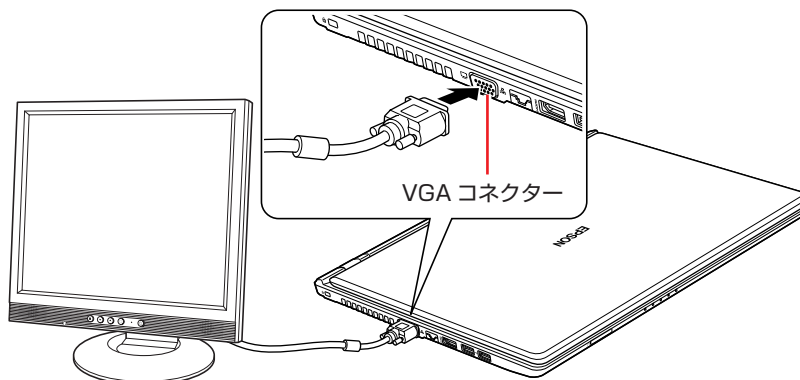
外付けディスプレイの接続

外付けディスプレイの接続方法は、次のとおりです。

- 1** 本機と外付けディスプレイの電源を切ります。
- 2** 接続するディスプレイの接続方法を確認し、ディスプレイの接続ケーブルを本機に接続します。

アナログ接続の場合

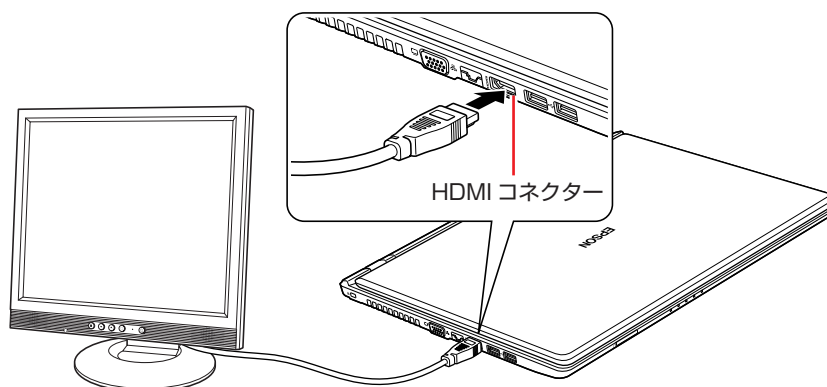
外付けディスプレイの VGA ケーブルを、本機左側面の VGA コネクター（）に接続します。



HDMI 接続の場合

外付けディスプレイの HDMI ケーブルを、本機左側面の HDMI コネクター（ **HDMI** ）に接続します。

HDMI 接続では、デジタル画像と音声を出します。音声出力が可能な HDMI 機器を接続した場合、接続した HDMI 機器から音声が出力されます。



参考

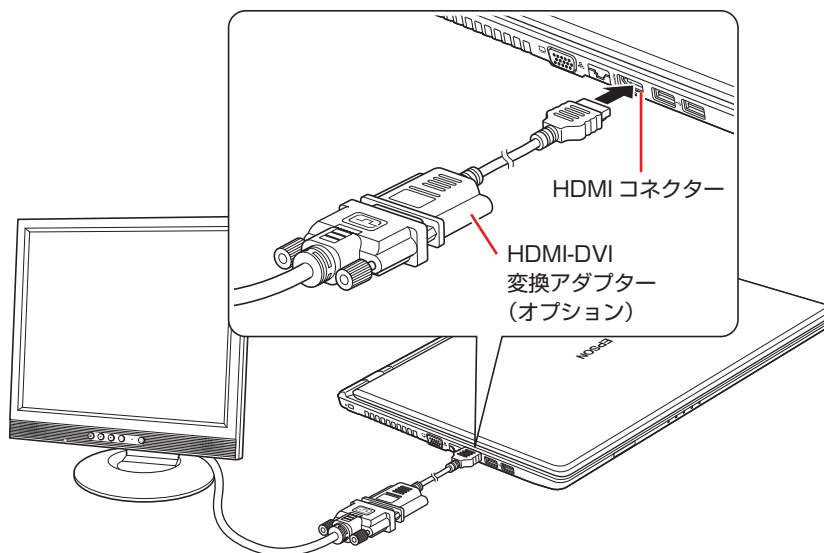
音声出力先を変更する（HDMI 接続の場合）

接続した HDMI 機器から音声を出力する場合は、音声出力先の設定が必要です。

 p.82 「音声出力先の設定」

DVI-D 接続の場合（オプション）

- ① 外付けディスプレイの DVI-D ケーブルのコネクター(コンピューターに接続する側)に、オプションの HDMI-DVI 変換アダプターを接続します。
- ② 本機左側面の HDMI コネクター（ **HDMI** ）に接続します。



3**外付けディスプレイと本機の電源を入れます。**

Fn + **F8** ( / ) を押すと、表示装置の切り替えができます。

**参考****外付けディスプレイへの表示を終了する**

外付けディスプレイへの表示が終了したら、Windows を終了後に必ず接続ケーブルを取り外してください。外付けディスプレイの電源が入ってなくても、ケーブルを接続しているだけで自動認識され、信号が出力されます。

プロジェクターの接続

プロジェクターの接続方法は、プロジェクターのマニュアルをご覧ください。

画面表示の種類

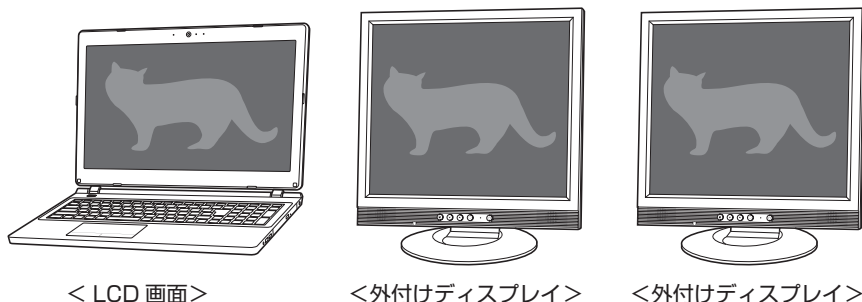
本機では、次のような画面の組み合わせで表示ができます。

●シングル

1つのディスプレイに表示します。

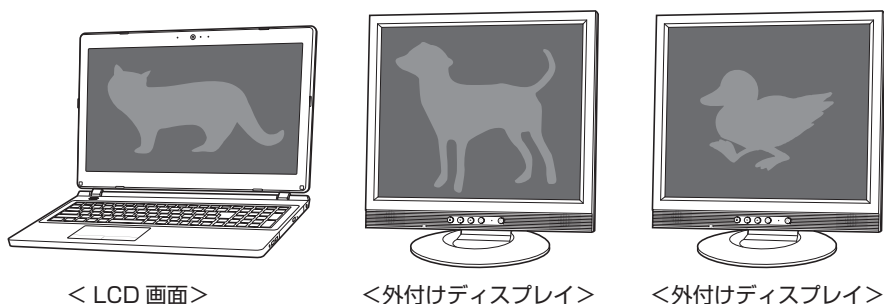
●クローン

最大3つのディスプレイに同じ画面を表示します。プレゼンテーションを行う場合などに便利です。



●拡張

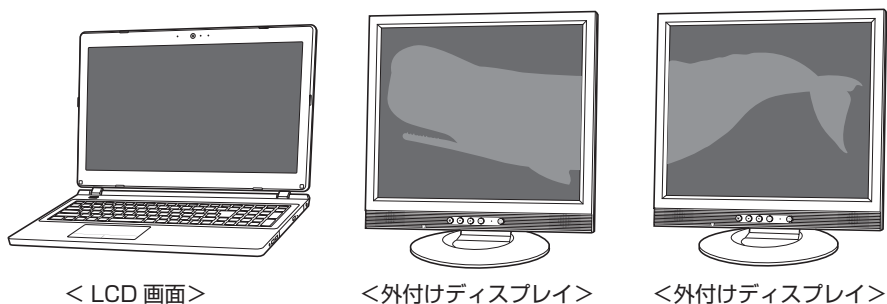
最大3つのディスプレイに対して、個別に設定をすることができます。複数の画面をコンピュータ上に表示する場合に便利です。



●コラージュ

2つの外付けディスプレイを、横または縦につなぎ合わせるようにして表示します。大きなものを2画面にまたいで表示する場合に便利です。

※ LCD 画面には表示されません。



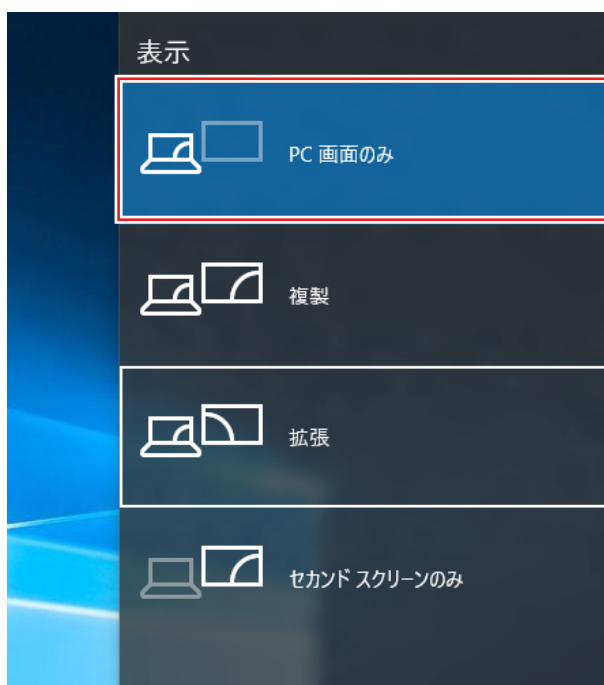
画面表示を切り替えるには

画面表示の切り替え方法には、次の2つがあります。

- キーボードで切り替える  p.72
簡単なキー操作で画面表示の切り替えができます。
- ユーティリティで切り替える  p.73
画面表示の切り替えと詳細な設定ができます。

キーボードで切り替える

Fn + **F8** ( / ) を押すと、画面表示の一覧が表示されます。
  を押して項目を選択し、 を押して決定します。



制限

- ・ 解像度の異なるディスプレイを接続してクローン表示に切り替えると、解像度は低い方の解像度で表示されます。
- ・ 動画の再生中やゲームアプリの起動時には、キーボードでの表示切り替えができないことがあります。
- ・ キー操作で切り替わらない場合は、ユーティリティで切り替えてください。
 p.73 「ユーティリティで切り替える」

ユーティリティーで切り替える

ユーティリティーを操作すると、画面表示の切り替えや解像度の変更などを行うことができます。ユーティリティーでの画面表示の切り替え方法は、次のとおりです。

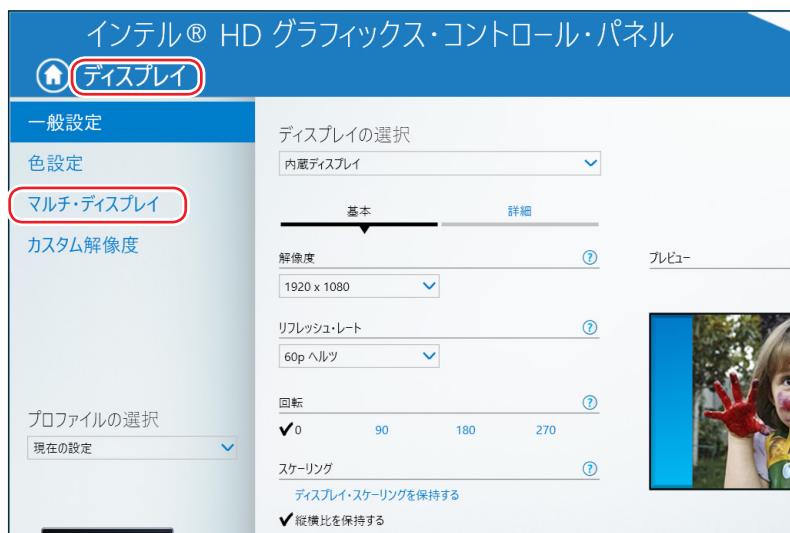
- 1 デスクトップの「インテル (R) HD グラフィックス・コントロール・パネル」アイコンをダブルクリックします。



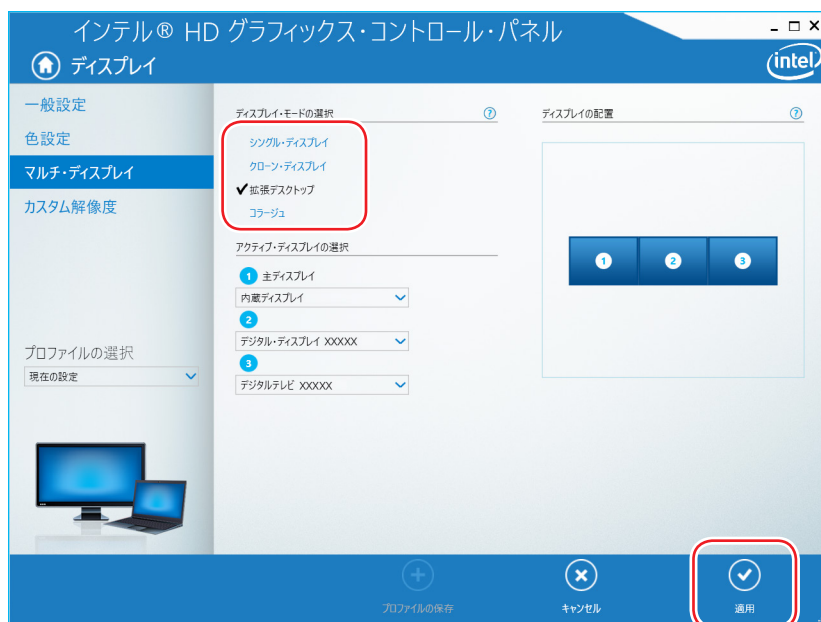
<インテル (R) HD グラフィックス・コントロール・パネルアイコン>

- 2 「インテル® HD グラフィックス・コントロール・パネル」画面が表示されたら、ディスプレイを選択します。

- 3 ディスプレイの設定画面が表示されたら、「マルチ・ディスプレイ」を選択します。

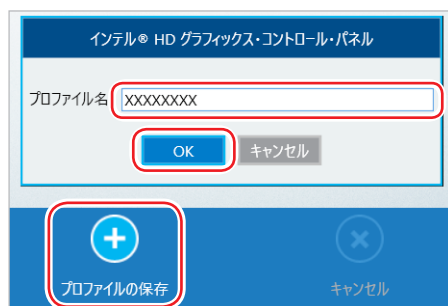


- 4** 「ディスプレイ・モードの選択」でモードを選択し、「適用」をクリックします。
- 「拡張デスクトップ」を選択した場合または「コラージュ」を選択して有効にした場合は、「①主ディスプレイ」や「②」、「③」のディスプレイを設定します。



- 5** 「新しい設定が適用されました。これらの設定を保持しますか？」と表示されたら、「はい」をクリックします。
- これで画面の切り替えは完了です。

- 6** 設定した内容をディスプレイ・プロファイルとして保存する場合は、「プロファイルの保存」をクリックして、表示された画面にプロファイル名を入力し、[OK] をクリックします。
- ディスプレイ・プロファイルとして保存しておけば、プロファイル名を選択し、適用するだけで、設定した画面表示に切り替えることができます。



参考

グラフィックス・オプションから設定する

ディスプレイの表示の切り替えは、次の場所から行えます。

画面右下通知領域の  - 「インテル (R) HD グラフィックス」アイコンをクリック - 「グラフィックス・オプション」 - 「出力先」

表示できる解像度と表示色

外付けディスプレイで表示できる解像度と表示色は、次のとおりです。

●解像度

1024 × 768
1280 × 720
1280 × 768
1280 × 1024
1360 × 768
1366 × 768
1400 × 1050
1440 × 900
1600 × 900
1600 × 1200
1680 × 1050
1920 × 1080
1920 × 1200

●表示色

32 ビット

！ 制限

- 記載している解像度は、本機に搭載されたビデオコントローラーの出力解像度です。表示画面の種類や接続する外付けディスプレイの仕様によっては、表示できない場合があります。
- クローン表示の場合、実際に表示できる最大解像度は、コンピューター側の最大解像度と外付けディスプレイの最大解像度のうち、どちらか低い方になります。
- 解像度や表示色が高いと、動画再生アプリで動画を再生するときに、正常に表示できないことがあります。そのような場合は、解像度または表示色を調節してみてください。

ワイヤレスディスプレイを使用する(オプション)

購入時に無線 LAN をオプション選択された場合、本機はワイヤレスディスプレイに対応しています。

本機の画面や動画などを、無線 LAN を使用して、外部ディスプレイやテレビに表示することができます。

ワイヤレスディスプレイ接続中も、無線 LAN でのインターネットの利用は可能です。

注意事項

ワイヤレスディスプレイを使用する際の注意事項について記載します。

表示に関する注意

表示に関する注意事項は、次のとおりです。

- 同時に使用できる表示装置は、本機の LCD と、ワイヤレスで接続している外部ディスプレイの 2 つまでです。
- ワイヤレスで外部ディスプレイを使用しているときは、ケーブルを使って本機に外付けディスプレイを接続しないでください。ワイヤレスディスプレイとの接続が切断されます。
- UEFI Setup ユーティリティ、Windows 起動中の画面、スリープ状態から復帰中の画面、およびシャットダウン中の画面は外部ディスプレイに表示できません。
- ワイヤレスで接続すると、音声は接続した外部ディスプレイからの出力に切り替わります。
- ワイヤレスで表示した画面では、マウスポインターやウィンドウの移動、入力した文字などの表示に遅延が生じます。

使用に関する注意

使用時の注意事項は、次のとおりです。

- 無線 LAN 機能がオフの場合は、ワイヤレスディスプレイを使用できません。
- ワイヤレスディスプレイの接続は、無線 LAN 機能を使用するため、ご利用環境によっては、通信速度の低下や通信不能が原因で、テレビや外部ディスプレイに画面が表示されない場合や、画面（画像）が乱れる場合があります。画質は、接続したテレビや外部ディスプレイの仕様により異なります。
- ワイヤレスディスプレイの接続と無線 LAN で、同時にインターネット接続して使用する場合は、無線 LAN アクセスポイントとの接続が完了してから、ワイヤレスディスプレイの接続を行ってください。

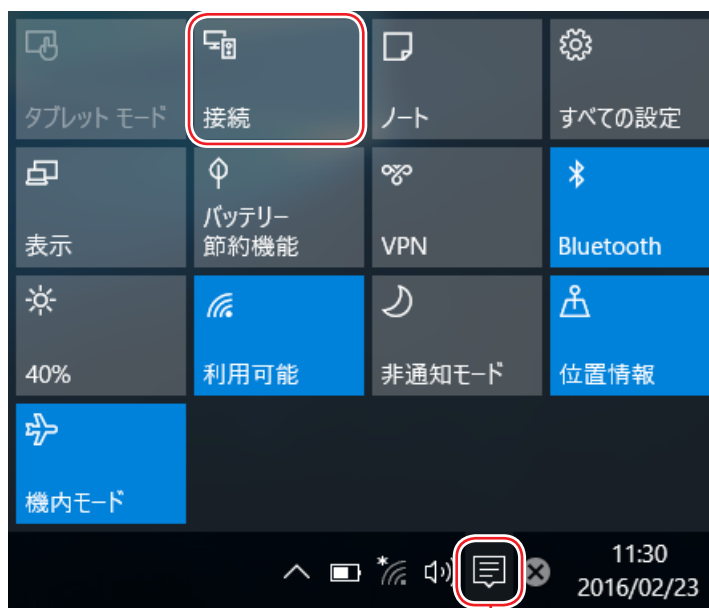
ワイヤレスディスプレイに接続する

ワイヤレスディスプレイに接続する方法は次のとおりです。

1 ワイヤレスディスプレイを本機の近くに設置します。

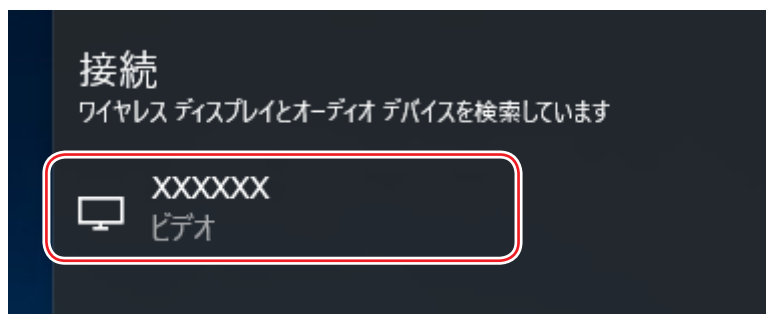
2 ワイヤレスディスプレイを検出し、接続します。

- ①** 画面右下通知領域の「アクションセンター」アイコンをクリックし、表示された項目から「接続」をクリックします。



アクションセンターアイコン

- ②** 表示されたワイヤレスディスプレイをクリックします。



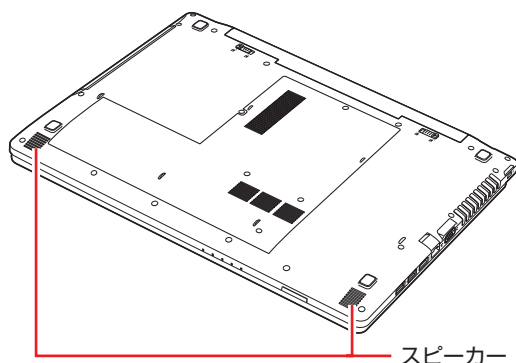
ワイヤレスディスプレイ側に画面が表示されたら、作業は完了です。

サウンド機能

本機には、サウンド機能が搭載されています。

スピーカー

本機には、ステレオスピーカーが内蔵されており、音源からの音声を出力することができます。



制限

本機のスピーカーから、特定の周波数が継続する音源（警告音やテスト信号音など）を大音量で再生した場合、誤動作や故障の原因となることがあります。

音量の調節

スピーカーの音量は、次のキー操作で調節します。

キー操作	状態
Fn + F10 	一度押すとミュート（消音）になります。 もう一度押すとミュートが解除されます。
Fn + F11 	音量が小さくなります。
Fn + F12 	音量が大きくなります。

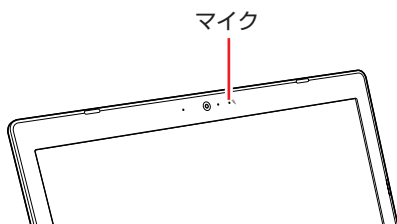


制限

ソフトウェアによっては、キー操作で音量調節ができないものがあります。詳しくは、ソフトウェアのマニュアルをご覧ください。

マイク

本機には、マイク（モノラル）が内蔵されており、音声を録音することができます。



オーディオ機器の接続

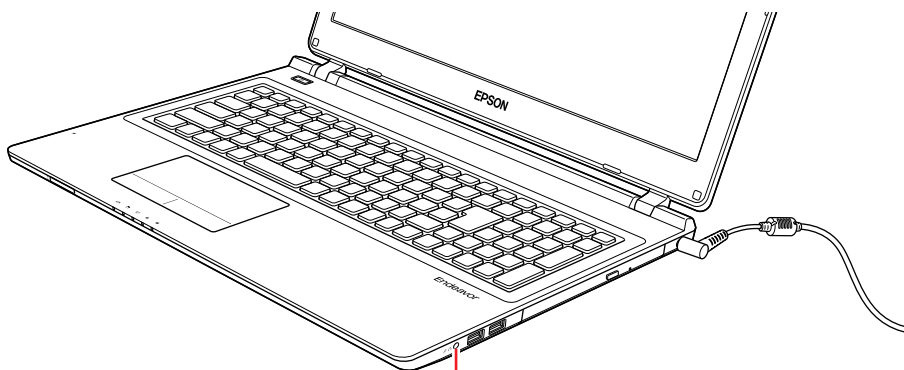
本機右側面には、オーディオ機器を接続するためのコネクタが搭載されています。



注意

ヘッドホンやスピーカーは、ボリュームを最小に調節してから接続し、接続後に音量を調節してください。

ボリュームの調節が大きくなっていると、思わぬ大音量が聴覚障害の原因となります。



- マイク入力 / ヘッドホン出力コネクタ  マイクを接続すると、音声を入力できます。また、ヘッドホンやスピーカーを接続すると音声を出力します。



制限

マイク入力 / ヘッドホン出力コネクタでは、3 極ミニプラグのマイク（ステレオ、モノラル）が使用できません。

3 極ミニプラグのヘッドホンや 4 極ミニプラグのスマートフォン用ヘッドホンマイク（CTIA 規格）は使用できます。



< 4 極ミニプラグ >

HDMI コネクタについては、 p.68 「外付けディスプレイを使う」をご覧ください。



●ヘッドホンやスピーカー、マイクを接続したら

マイク入力 / ヘッドホン出力コネクタにヘッドホンやスピーカー、マイクを接続すると、自動的に接続した機器が使用可能になり、内蔵スピーカーや内蔵マイクの機能は無効になります。

●HDMI 機器を接続したら

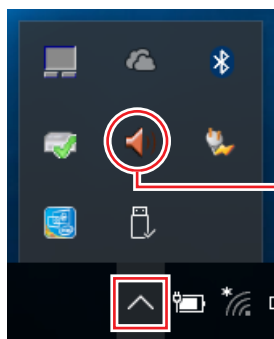
HDMI コネクタに機器を接続した場合は、音声出力先の設定が必要です。

 p.82 「音声出力先の設定」

サウンドユーティリティを使う

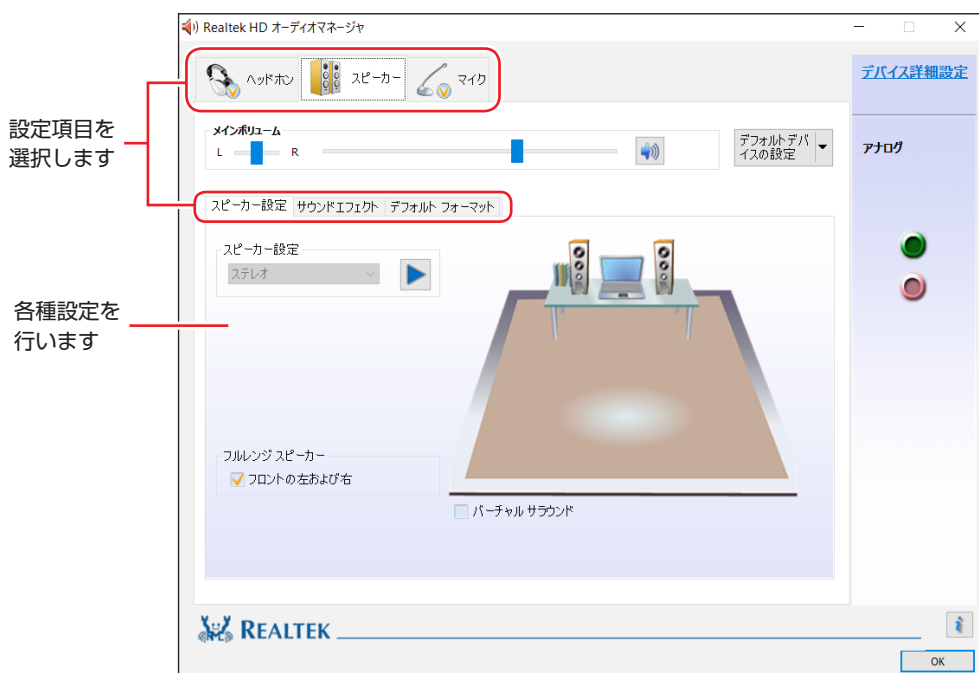
サウンドユーティリティを使用すると、スピーカーの設定やマイク音量の設定、音響効果の設定などができます。

サウンドユーティリティを起動するには、画面右下通知領域  内の「Realtek HD オーディオマネージャ」アイコン（赤色）をダブルクリックします。



Realtek HD オーディオ
マネージャアイコン

次の画面が表示されます。



設定項目を
選択します

各種設定を
行います

マイク使用時の音量調節

マイクの音量調節はサウンドユーティリティの「マイク」タブで行います。



録音時に音量を調節しても音が小さいときは、 をクリックしてマイクブーストのつまみを右へスライドさせ、音量を上げてください。

音声出力先の設定

購入時、本機の音声出力先は内蔵スピーカーに設定されています。
外部機器へ音声を出力したい場合は、音声出力先を変更してください。

- 1 [スタート] を右クリック – 「コントロール パネル」 – 「ハードウェアとサウンド」 – 「サウンド」 をクリックします。
- 2 「サウンド」 画面が表示されたら、「再生」 タブで音声出力先の機器を選択し、[既定値に設定] をクリックします。

※ 画面表示は接続している機器により異なります。



<イメージ>

音声出力先に設定されると、機器のアイコンにチェックが付きます。

- 3 [OK] をクリックします。

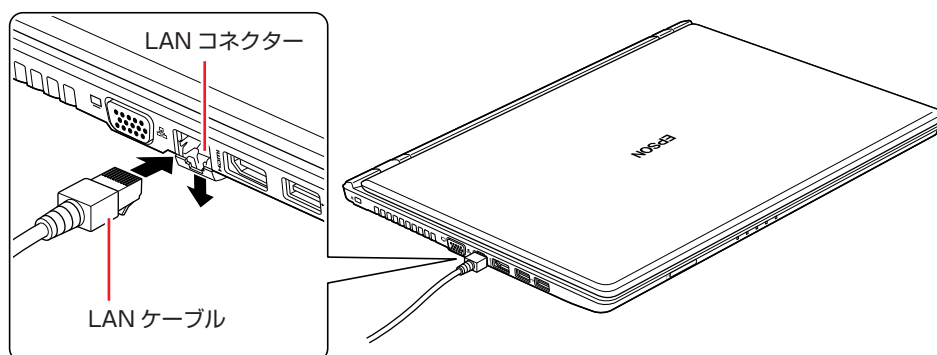
これで設定は完了です。設定した機器から音声が出力されます。

ネットワーク機能（有線 LAN）

本機には、1000 Base-T/100 Base-TX/10 Base-T に対応したネットワーク機能（有線 LAN）が搭載されています。

ネットワーク機能を使用すると、ネットワークを構築したり、インターネットに接続したりすることができます。

ネットワーク機能を使用する場合は、本機左側の LAN コネクタ（品）に市販の LAN ケーブルを接続します。



！ 制限

- LAN ケーブルを接続した状態で、本機を持ち上げたり、LAN ケーブルに過度な力をかけたりしないでください。
ネットワーク接続が切断したり、LAN コネクタの開閉部が破損したりするおそれがあります。
- 有線 LAN を使用する場合は、無線 LAN 機能をオフにしてください。

ネットワークの構築

ネットワークを構築するには、ほかのコンピューターと接続するために、LAN ケーブルやハブ、サーバーなどが必要です。そのほかに、Windows 上でネットワーク接続を行うためには、プロトコルの設定などにも必要になります。

ネットワークの構築方法は、ネットワーク機器のマニュアルなどをご覧ください。

！ 制限

- ネットワークに接続している場合に、省電力状態に移行すると、省電力状態からの復帰時にサーバーから切断されてしまうことがあります。
このような場合は次のいずれかの方法をとってください。
 - 再起動する
 - 省電力状態に移行しないように設定する
 p.105 「時間経過で移行させない」
- ネットワーク上のファイルなどを開いたまま省電力状態に移行すると、正常に通常の状態へ復帰できない場合があります。

インターネットへの接続

インターネットへの接続は、プロバイダーから提供されたマニュアルを参照して行ってください。

その他の機能

本機では、ネットワークを構築して接続環境を整えると、次のような機能を使用できます。

● Wakeup On LAN  p.84

● リモートブート  p.85

Wakeup On LAN

Wakeup On LAN を使用すると、ネットワークからの信号により本機を起動することができます。この機能は、必ず AC アダプターを接続した状態で使用してください。

制限

- ・シャットダウン状態からの起動は、Windows を正常に終了した状態でないと行えません。
- ・本機を正常に終了した場合でも、シャットダウン後に AC アダプターとバッテリーを取り外したりして本機への電源供給が停止してしまうと、再度 AC アダプターを接続しても、Wakeup On LAN で本機を起動できないことがあります。

Wakeup On LAN を使用する場合は次の作業が必要です。

- UEFI の設定変更（シャットダウン状態から起動させる場合のみ）
- シャットダウン設定の変更
- ネットワークアダプターの設定

UEFI の設定（シャットダウン状態から起動させる場合のみ）

「UEFI Setup ユーティリティ」の次の項目を有効にしてください。

「Power」メニュー画面 － 「Wake-Up from S5」：[Enabled]（有効）

 p.128 「UEFI Setup ユーティリティの操作」

 p.140 「Power メニュー画面」

シャットダウン設定の変更

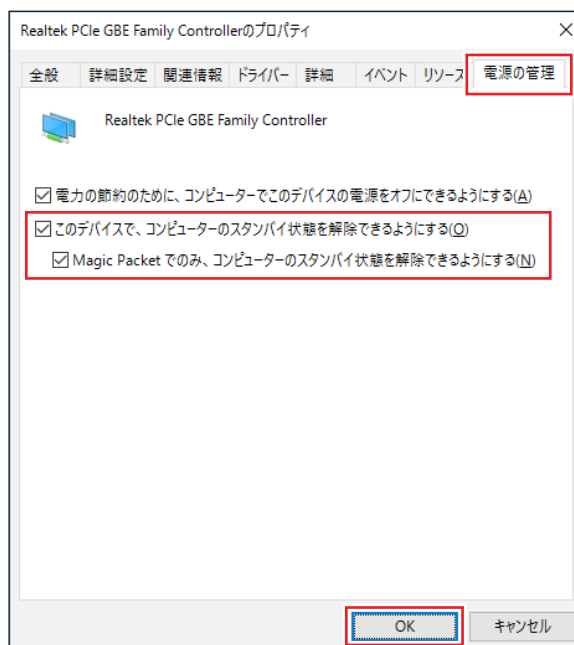
シャットダウン設定を変更する方法は、次のとおりです。

- 1** 「スタート」を右クリック － 「電源オプション」 － 「電源ボタンの動作を選択する」をクリックします。
- 2** 「電源ボタンの定義とパスワード保護の有効化」と表示されたら、「現在利用可能ではない設定を変更します」をクリックし、「シャットダウン設定」項目の「高速スタートアップを有効にする」のチェックを外して、[変更の保存] をクリックします。
これで、設定は完了です。

ネットワークアダプターの設定

ネットワークアダプターの設定を確認する方法は、次のとおりです。

- 1 「スタート」を右クリック – 「デバイスマネージャー」をクリックします。
- 2 「デバイスマネージャー」画面が表示されたら、「ネットワークアダプター」をダブルクリックし、「Realtek PCIe GBE Family Controller」をダブルクリックします。
- 3 「Realtek PCIe GBE Family Controllerのプロパティ」画面が表示されたら、「詳細設定」タブを開き、次のとおり設定します。
 - Wake on Magic Packet (ウェイク・オン・マジック・パケット) : Enabled (有効)
 - Wake on pattern match (ウェイク・オン・パターン・マッチ) : Disabled (無効)
 - LAN 上のウェークアップのシャットダウン : 有効
- 4 「電源の管理」タブを開き、「このデバイスで…」項目と「Magic Packet でのみ…」項目にチェックを入れて【OK】をクリックします。



- 5 [X] をクリックし、開いている画面をすべて閉じます。
これで、設定は完了です。



参考

Wakeup On LAN を設定している場合

UEFI の設定で、Wakeup On LAN が有効に設定されているときに、電源コードを抜き、再び接続するとコンピューターが一瞬起動する場合があります。これは、不具合ではありません

リモートブート

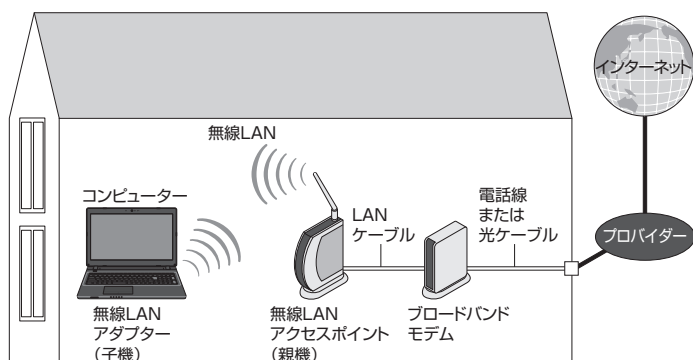
リモートブートを使用すると、ネットワークを介して、あらかじめセットアップされたサーバー上から Windows をインストールすることができます。

無線 LAN 機能（オプション）

購入時にオプション選択された場合、本機には無線 LAN アダプターが内蔵されています。
無線 LAN とは、電波を利用して通信を行うネットワークのことです。

無線LANの概要

無線 LAN の概要を図で表すと、次のようになります（図は一例です）。



無線 LAN の用語一覧

無線 LAN 機器のマニュアルにより、使用している用語が本書と異なる場合があります。下記の用語一覧を参考にしてください。

本書での表記	別名
無線 LAN	ワイヤレス LAN、Wi-Fi
無線 LAN アクセスポイント	親機、ワイヤレス LAN ステーション、アクセスポイント、無線 LAN ルーター
無線 LAN アダプター	子機、ワイヤレスステーション、無線 LAN 端末、無線 LAN クライアント
SSID	ESS-ID、ESSID、ネットワーク名、サービスセット識別子

無線LAN使用時の注意

無線 LAN を使用する際は、次の注意事項をよくお読みください。

 p.169 「電波に関するご注意」もあわせてお読みください。



- 無線 LAN 機能が搭載されている場合、航空機や病院など、電波の使用を禁止された区域に本機を持ち込むときは、本機の電源を切るか電波を停止してください。
電波が電子機器や医療用電気機器に影響を及ぼす場合があります。
また、本機に自動的に電源が入る設定をしている場合は、設定を解除してから、本機の電源を切ってください。
- 無線 LAN 機能が搭載されている場合、医療機関の屋内で本機を使用するときは、次のことを守ってください。
 - ・手術室・集中治療室（ICU）・冠動脈疾患監視室（CCU）には、本機を持ち込まない。
 - ・病棟内では、本機の電源を切るか電波を停止する。
 - ・病棟以外の場所でも、付近に医療用電気機器がある場合は、本機の電源を切るか電波を停止する。
 - ・医療機関が個々に使用禁止、持ち込み禁止などの場所を定めている場合は、その医療機関の指示に従う。
 - ・本機に自動的に電源が入る設定をしている場合は、設定を解除してから、本機の電源を切る。
- 植込み型心臓ペースメーカーおよび植込み型除細動器を装着している場合、無線 LAN 機能を使用するときは、装着部と本機の間を 22cm 以上離してください。
電波が、植込み型心臓ペースメーカーおよび植込み型除細動器の作動に影響を及ぼす場合があります。
満員電車など、付近に心臓ペースメーカーを装着している人がいる可能性がある場所では、本機の電源を切るか電波を停止してください。
- 無線 LAN 機能は、自動ドア、火災報知器などの自動制御機器の近くで使用しないでください。
電波が影響を及ぼし、誤動作による事故の原因となるおそれがあります。

制限

- ・ネットワークに接続している場合に、省電力状態に移行すると、サーバーから切断されてしまうことがあります。
このような場合は次のいずれかの方法をとってください。
 - ・再起動する
 - ・省電力状態に移行しないように設定する
 p.105 「時間経過で移行させない」
- ・ネットワーク上のファイルなどを開いている状態で省電力状態に移行すると、通常の状態に復帰できない場合があります。
- ・本機の無線 LAN 機能は、Wake up On LAN とリモートブートには対応していません。

無線LAN機能のオン/オフ方法

無線 LAN 機能のオン / オフ方法について説明します。



無線 LAN 機能が搭載されている場合、航空機や病院など、電波の使用を禁止された区域に本機を持ち込むときは、本機の電源を切るか電波を停止してください。電波が電子機器や医療用電気機器に影響を及ぼす場合があります。また、本機に自動的に電源が入る設定をしている場合は、設定を解除してから、本機の電源を切ってください。

！ 制限

- 有線 LAN を使用する場合は、無線 LAN 機能をオフにしてください。
 - バッテリーのみで本機を使用している場合、無線 LAN 機能がオンになっていると、バッテリー駆動時間が短くなります。
- 無線 LAN を使用しない場合は、無線 LAN 機能をオフにしてください。

無線 LAN 機能のオン / オフは、次の方法で行います。

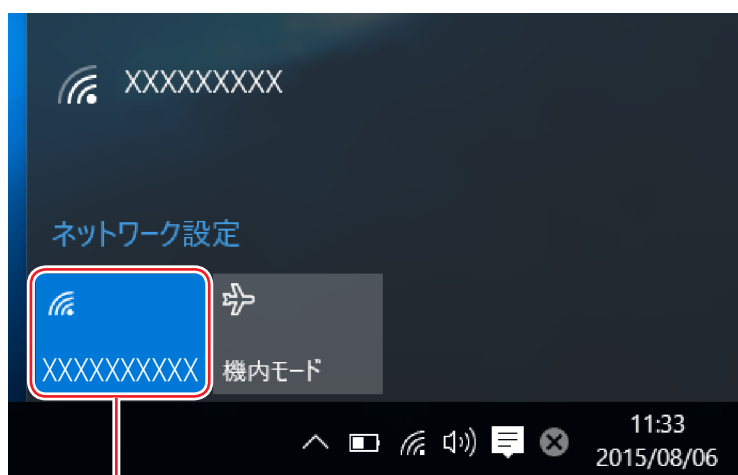
- 1 画面右下通知領域の「無線 LAN」アイコンをクリックします。



無線 LAN アイコン

- 2 ネットワークメニューが表示されたら、[Wi-Fi] をクリックします。

クリックするたびに無線 LAN 機能のオン / オフが切り替わります。



[Wi-Fi]



機内モード

機内モードをオンにすると、すべての無線機能（無線 LAN 機能、Bluetooth 機能）がオフになります。

[Fn] + [F2] (✈) を押すたびに、無線機能（無線 LAN/Bluetooth）のオン / オフが切り替わります。

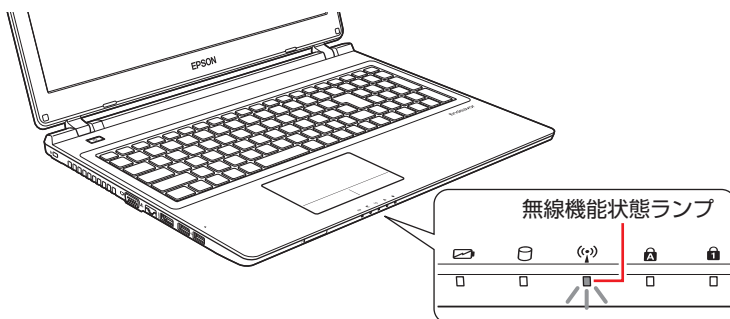


p.47 「Fn キーと組み合わせて使うキー」

無線機能状態ランプ

無線機能のオン / オフは、無線機能状態ランプ（) で確認できます。

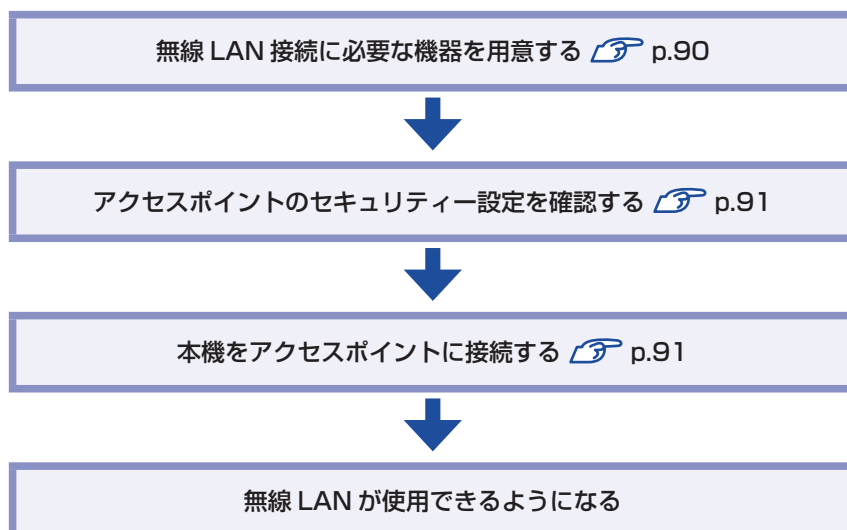
無線機能状態ランプは、無線 LAN または Bluetooth どちらかの機能がオンのとき、点灯します。



無線LAN接続の設定をする

ここでは無線 LAN アクセスポイント（以降、アクセスポイント）と本機を無線でつなげる方法（無線 LAN 接続方法）について説明します。

無線 LAN 接続の設定の流れは、次のとおりです。



参考

かんたん接続機能

アクセスポイントによっては、かんたん接続機能で無線 LAN 接続できる場合があります。まずは、アクセスポイントのマニュアルをご覧ください。

無線 LAN 接続に必要な機器を用意する

無線 LAN 接続に必要な機器を用意します。

●ブロードバンドモデム（ADSL 用や光ファイバー用の通信装置）

インターネットに接続する場合に必要です。多くの場合、プロバイダーと契約すると貸与されます。

●無線 LAN アクセスポイント

本機と無線で通信するための機器です。本機の対応規格に合ったものを用意してください。ブロードバンドモデムに無線 LAN アクセスポイント機能が内蔵されている場合は不要です。

アクセスポイントとブロードバンドモデムを LAN ケーブルで接続して、電源を入れてください。詳しくは、各機器に添付のマニュアルを参照してください。

アクセスポイントのセキュリティー設定を確認する

無線 LAN は電波を使用して通信するため、第三者に侵入されたり、通信データを盗み見されたりする可能性があります。また、他人のアクセスポイントに誤って本機を接続してしまう可能性もあります。これらのことを防ぐため、アクセスポイントのセキュリティー設定を、本体側にも設定します。

アクセスポイントのマニュアルを参照し、セキュリティー設定(暗号化キー)を確認してください。セキュリティー設定がされていない場合は、マニュアルの手順に従って、設定を行ってください。

本機をアクセスポイントに接続する

アクセスポイント側に設定した暗号化キーを本機側にも入力し、本機をアクセスポイントに接続します。

この作業は初めて接続するときのほかに暗号化キーを変更したときや、Windows の再インストールをした場合にも行います。

- 1** 画面右下通知領域の無線 LAN アイコンをクリックして、本機の無線 LAN 機能をオンにします。

 p.88 「無線 LAN 機能のオン / オフ方法」

- 2** アクセスポイントに接続します。

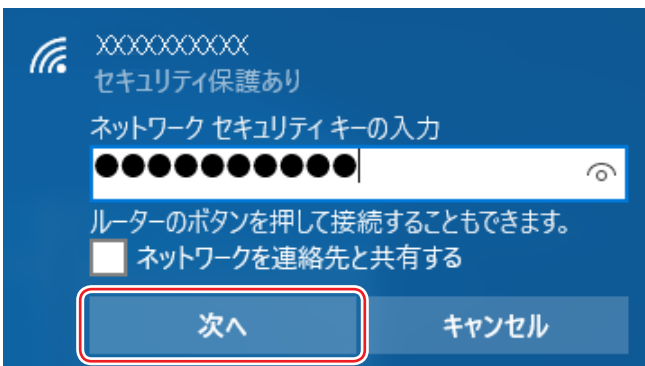
- 1** 接続するアクセスポイントの SSID を選択し、[接続] をクリックします。

※ 接続するアクセスポイントの SSID が表示されない場合は、アクセスポイントの状態を確認してください。



- ② ネットワークセキュリティキーの入力ボックスが表示されたら、アクセスポイントに設定されている暗号化キーを入力し、[次へ] をクリックします。

※ PIN 入力画面が表示された場合は、アクセスポイントのラベルに印字された PIN を入力してください。



これで接続作業は完了です。

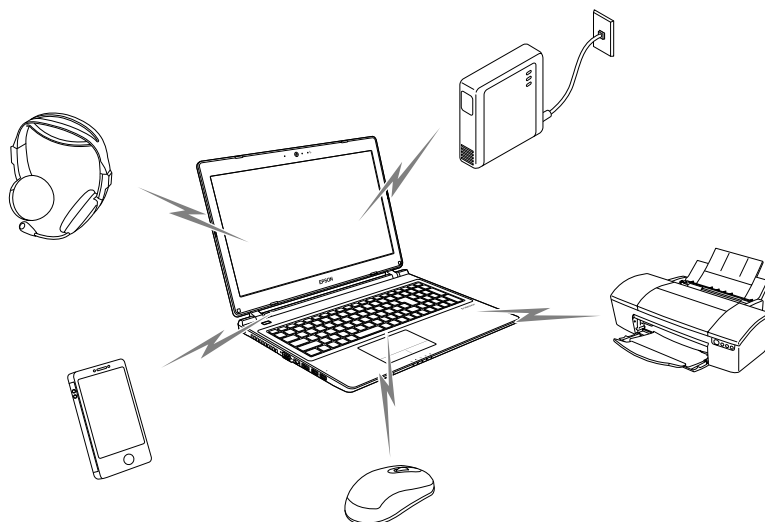
プロファイル

ここで設定した無線 LAN は、「プロファイル」として自動的に保存されます。プロファイルが作成されていると、次回からは設定を行わずに簡単に無線 LAN に接続することができます。

Bluetooth 機能（オプション）

購入時にオプション選択された場合、本機には Bluetooth 機能が搭載されています。

Bluetooth とは、無線の通信方式の 1 つです。Bluetooth 機能を使用して、本機に Bluetooth に対応した周辺機器を接続することができます。



Bluetooth機能をお使いの前に

Bluetooth 機能を使用する際は、次の注意事項をよくお読みください。

 p.169 「電波に関するご注意」もあわせてお読みください。



- 航空機や病院など、電波の使用を禁止された区域に本機を持ち込むときは、本機の電源を切るか電波を停止してください。
電波が電子機器や医療用電気機器に影響を及ぼす場合があります。
また、自動的に電源が入る機能が搭載されている場合は、設定を解除してから、本機の電源を切ってください。
- 医療機関の屋内で本機を使用するときは、次のことを守ってください。
 - ・ 手術室・集中治療室（ICU）・冠動脈疾患監視室（CCU）には、本機を持ち込まない。
 - ・ 病棟内では、本機の電源を切るか電波を停止する。
 - ・ 病棟以外の場所でも、付近に医療用電気機器がある場合は、本機の電源を切るか電波を停止する。
 - ・ 医療機関が個々に使用禁止、持ち込み禁止などの場所を定めている場合は、その医療機関の指示に従う。
 - ・ 自動的に電源が入る機能が搭載されている場合は、設定を解除してから、本機の電源を切る。

- 植込み型心臓ペースメーカーおよび植込み型除細動器を装着している場合、Bluetooth 機能を使用するときは、装着部と本機の間を 22cm 以上離してください。電波が、植込み型心臓ペースメーカーおよび植込み型除細動器の作動に影響を及ぼす場合があります。
満員電車など、付近に心臓ペースメーカーを装着している人がいる可能性がある場所では、本機の電源を切るか電波を停止してください。
- Bluetooth 機能は、自動ドア、火災報知器などの自動制御機器の近くで使用しないでください。
電波が影響を及ぼし、誤動作による事故の原因となるおそれがあります。

通信可能な距離



通信可能距離は、通信機器間の障害物や電波状況、磁場、静電気、電波障害の発生する場所、使用するアプリ、OS、通信する機器の受信感度、アンテナ性能などによって、変化する可能性があります。通信できない場合は、通信する機器を本機の近くに設置してください。

通信時の確認事項

Bluetooth 機能を使用して通信する際は、次の事項を確認してください。

- 使用する機器が Bluetooth に対応していることを確認してください。
- 本機と使用する機器が通信可能な距離にあることを確認してください。
- 本機と使用する機器が接続可能な状態になっていることを確認してください。
- 本機と使用する機器の Bluetooth 機能が有効になっていることを確認してください。
- 本機と複数の Bluetooth 機器で通信する場合、通信速度が低下する場合があります。

Bluetooth機能のオン/オフ方法

Bluetooth 機能のオン / オフ方法について説明します。

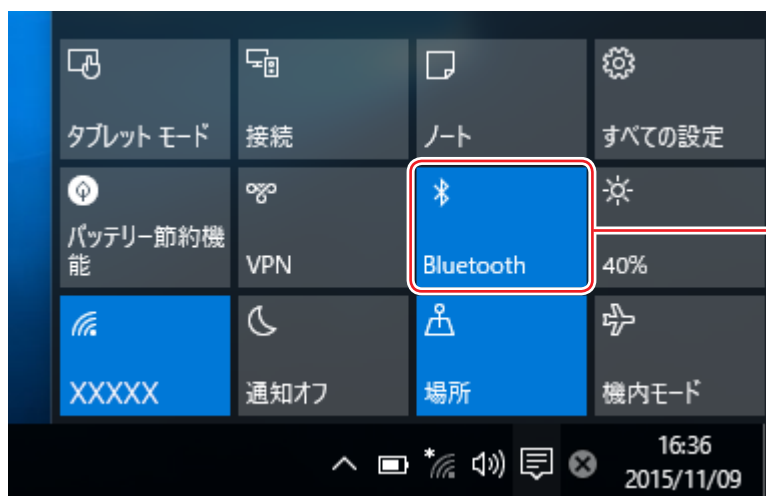
- 1 画面右下通知領域の「アクションセンター」アイコンをクリックします。



アクションセンターアイコン

- 2 [Bluetooth] をクリックします。

クリックするたびに Bluetooth 機能のオン / オフが切り替わります。



[Bluetooth]



参考

機内モード

機内モードをオンにすると、すべての無線機能（無線 LAN 機能、Bluetooth 機能）がオフになります。

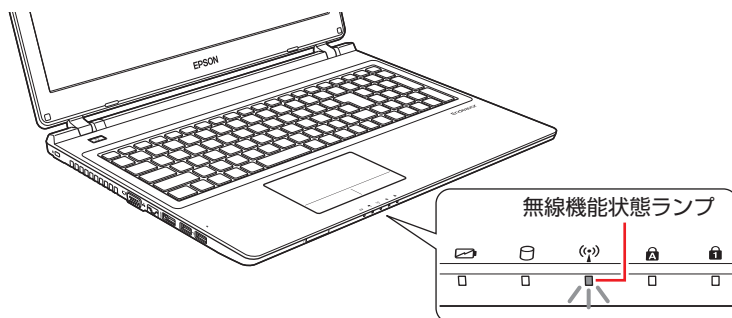
[Fn] + [F2] (✈) を押すたびに、無線機能（無線 LAN/Bluetooth）のオン / オフが切り替わります。

 p.47 「Fn キーと組み合わせて使うキー」

無線機能状態ランプ

無線機能のオン / オフは、無線機能状態ランプ（）で確認できます。

無線機能状態ランプは、無線 LAN または Bluetooth どちらかの機能がオンのとき、点灯します。



Bluetooth対応の周辺機器を使用する

マウスやヘッドセットなど、Bluetooth 対応の周辺機器を使用する方法を説明します。

周辺機器の検出・追加

新規で周辺機器を使用する場合、周辺機器を検出して、追加をする必要があります。



参考

パスコード

周辺機器によっては、設定中に、パスコードの入力を促す画面が表示される場合があります。この場合は、周辺機器に添付のマニュアルを参照の上、パスコードを入力してください。

周辺機器を新規で検出・追加する方法は次のとおりです。

1

周辺機器を本機の近くに設置します。

2

本機の Bluetooth 機能を「オン」にします。



p.95 「Bluetooth 機能のオン / オフ方法」

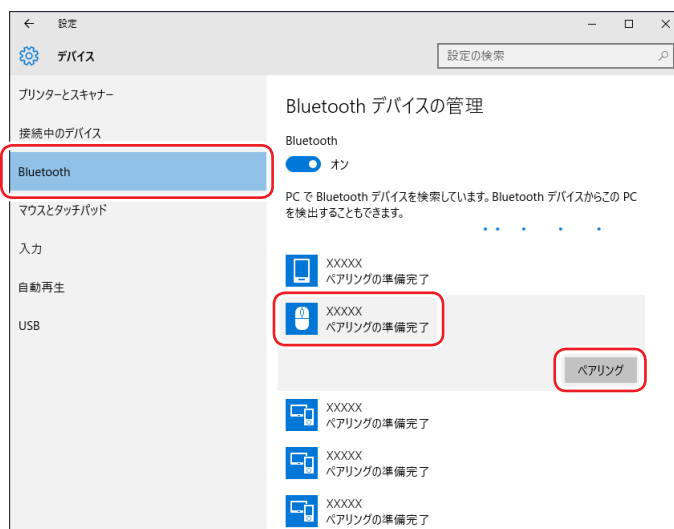
3 周辺機器の電源を入れ、ペアリングモードにします。

手順は周辺機器のマニュアルをご覧ください。

4 周辺機器を検出し、ペアリングします。

ここでは Bluetooth マウスを例に説明します。

- 1 [スタート] - 「設定」 - 「デバイス」 - 「Bluetooth」 をクリックします。
- 2 表示されたデバイス（マウス）を選択し、[ペアリング] をクリックします。



- 3 パスコードの入力画面が表示された場合は入力して [次へ] をクリックします。
マウス側の設定はマウスのマニュアルをご覧ください。



ペアリング完了後、マウスを動かしてみて、操作できることを確認してください。

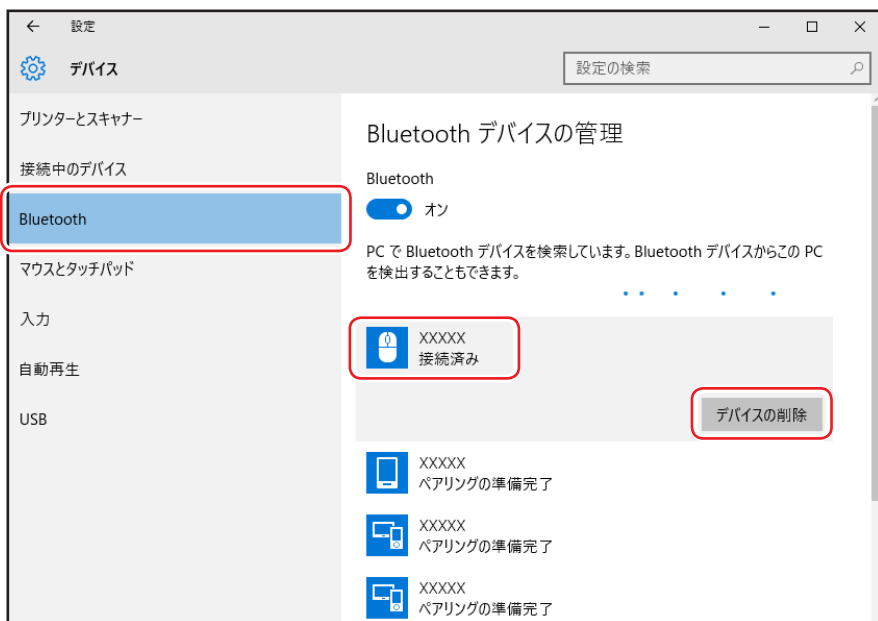
これで周辺機器の検出・追加は完了です。

周辺機器を使用する

追加が完了すると、周辺機器を使用できるようになります。
一度追加を行うと、次回以降は自動的に周辺機器に接続します。

接続を解除する場合

[スタート] - 「設定」 - 「デバイス」 - 「Bluetooth」の一覧に表示されているデバイスを選択し、
[デバイスの削除] をクリックします。



インターネット / メールをする

ここでは、インターネットへの接続や Web ブラウザー、メールなどについて説明します。

インターネットに接続する

インターネットを利用するには、プロバイダーとの契約が必要です。

インターネットへの接続は、プロバイダーから提供されたマニュアルを参照して行ってください。

※外部ネットワークに接続する際は、電気通信事業法に基づく認証機器に接続してください。

Web ブラウザー

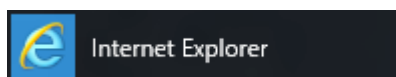
Web ページの閲覧には「Microsoft Edge」または「Internet Explorer」を使用します。

●Microsoft Edge

Windows 10 の標準 Web ブラウザーで、Web ノート機能やリーディングビュー機能を備えています。



●Internet Explorer



メールをする

電子メールの利用には「メール」を使用します。



Windows 10 標準メールアプリで利用できるのは Web メールです。初回、メールアプリを起動すると、サインイン画面が表示されます。お持ちのメールアカウントでサインインしてください。



参考

Web メールとは

メールの作成や送受信、閲覧をインターネット上で行います。メールデータはインターネット上のサーバーに保存されているため、別の端末を使用して外出先からもメールを利用することができます。

Outlook を使う

Office がインストールされている場合は、Outlook を使用することができます。Outlook には、メール利用のほか、スケジュール管理などの機能があります。使用方法は Office のヘルプをご覧ください。

インターネットを使用する際のセキュリティ対策

本機には、インターネットに接続した際に起こりうる、コンピューターウイルス感染や不正アクセスなどの危険に対する、セキュリティ機能が備えられています。

ここでは、このセキュリティ機能について説明します。インターネットに接続する場合は、コンピューターの安全を守るため、必ずセキュリティ対策を行ってください。

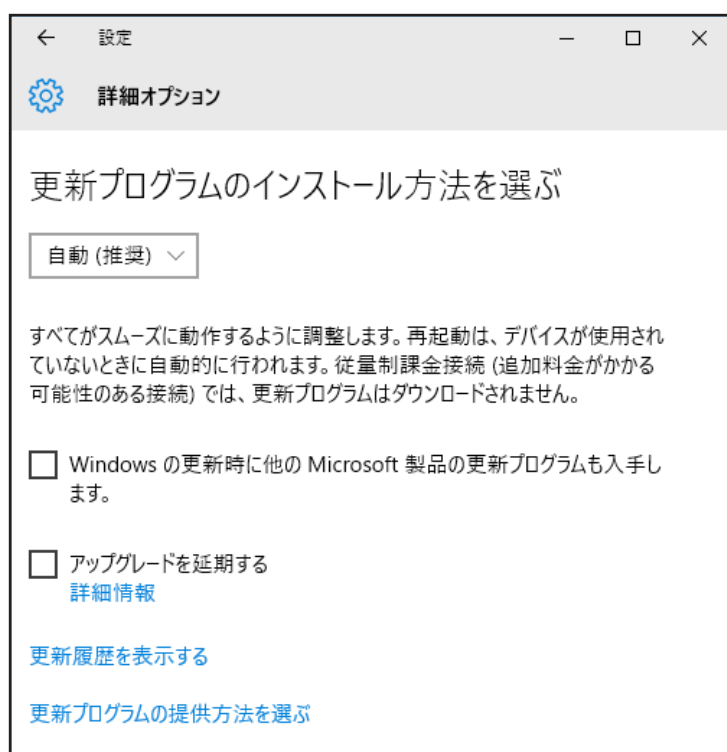
Windows Update

「Windows Update」は、本機の Windows の状態を確認し、Windows の更新プログラムをインターネットからダウンロードしてインストールする機能です。

Windows 10 は自動で Windows Update が行われます。

Windows Update の設定は次の場所で確認できます。

【スタート】－【設定】－【更新とセキュリティ】－【Windows Update】－【詳細オプション】



セキュリティアプリ

インターネットに接続する場合は、コンピューターウイルス感染や不正アクセスを防ぐため、セキュリティアプリを必ず使用してください。

ウイルスバスター クラウド 90 日版を使う

セキュリティアプリ「ウイルスバスター クラウド 90 日版」について説明します。

ウイルスバスター クラウド 90 日版のインストール

ウイルスバスター クラウド 90 日版を使用するには、デスクトップの「ウイルスバスターのインストール」アイコンをダブルクリックし、インストールしてください。



＜ウイルスバスターのインストールアイコン＞

市販のセキュリティアプリを使用する場合は、アプリ同士の競合を防ぐため、ウイルスバスタークラウド 90 日版をインストールしないでください。

ウイルスバスター クラウド 90 日版のサポート

正しく動作しない場合など、ウイルスバスター クラウド 90 日版に関するご相談については、下記へお問い合わせください。

※下記のサポート情報は、予告なく変更される場合があります。

●電話でのお問い合わせ 受付時間 365 日（年中無休）9:30 ～ 17:30

1. 操作、障害などのお問い合わせ

（インストール / バージョンアップ操作、設定方法、ウイルス、各種トラブル）

0570-019-610

2. ユーザー登録、契約更新のお問い合わせ

（契約更新、入金情報、ユーザー登録情報の確認や変更）

0570-064566

※一部の IP（光）電話や PHS、海外からの発信など、ナビダイヤルをご利用になれない場合はこちらの番号におかけください。03-6738-6063

※通話料金はお客さまのご負担となります。

※番号のおかけ間違いにご注意ください。

●メールでのお問い合わせ 受付時間 365 日（年中無休）24 時間

以下の各種お問い合わせフォームよりお問い合わせください。

- **操作・設定・トラブル** バージョンアップ、操作、設定方法、各種トラブル、エラーに関するお問い合わせ

<https://esupport.trendmicro.com/submitcaseonline/consumer/srf-ts-step1.aspx>

- **ウイルス検出・駆除** ウイルス検出や駆除方法、その他ウイルス情報に関するお問い合わせ

<https://esupport.trendmicro.com/submitcaseonline/consumer/srf-ve-step1.aspx>

- **契約更新・登録情報** 契約更新、入金情報、ユーザー登録情報の確認や変更に関するお問い合わせ

<https://esupport.trendmicro.com/submitcaseonline/consumer/srf-cs-step1.aspx>

●チャットでのお問い合わせ 受付時間 365 日（年中無休）9:00 ～ 21:00

以下のチャットお問い合わせフォームよりお問い合わせください。

○チャットお問い合わせフォーム

<https://esupport.trendmicro.com/jpprechatform/consumer/chatlogin.aspx>

●トレンドマイクロサポート WEB

<http://tmqa.jp/vbtop/>

Webフィルタリングアプリ

Web フィルタリングとは、インターネット上の有害なサイトを表示しないようにするための技術です。Web フィルタリングを行うと、有害サイトへのアクセスを自動的に制限することができます。

i-フィルター 30 日版を使う

本機には、Web フィルタリング機能を持つ「i-フィルター 30 日版」が添付されています。家庭内でお子様がコンピューターを使用する際に、有害なサイトへアクセスするのを制限したいときなどは、i-フィルター 30 日版を使用することをおすすめします。

i-フィルター 30 日版のインストールと申し込み

i-フィルター 30 日版を使用するには、デスクトップの「i-フィルター 30 日版」のインストールアイコンをダブルクリックし、インストールして申し込みを行ってください。

※インターネットに接続した状態で行ってください。



＜「i-フィルター 30 日版」のインストールアイコン＞

市販の Web フィルタリングアプリを使用する場合は、アプリ同士の競合を防ぐため、i-フィルター 30 日版はインストールしないでください。



ファイアウォール機能による警告画面が表示された場合は

セキュリティアプリのファイアウォール機能を有効にしている場合、インターネット閲覧時に「i-フィルター 30 日版」でのインターネットアクセスに関する警告が表示されることがあります。

この場合は、「i-フィルター 30 日版」の使用を許可してください。

i-フィルター 30 日版のサポート

i-フィルター 30 日版のサポートは、デジタルアーツ社で行います。

よくあるご質問と回答・サポート窓口・継続利用手続き・サービスページなどについては、デジタルアーツ社の次のホームページをご覧ください。

なお、このサポート情報は、予告なく変更される場合があります。

<http://www.daj.jp/cs/support.htm>

省電力機能

ここでは、本機の省電力状態と移行方法、本機で利用できる次の2つの機能について説明します。

- 電源管理ユーティリティ  p.106
バッテリーの充電レベルやピークシフトの設定ができます。
- Endeavor 電源プラン設定ツール  p.111
使い方に合った節電プランの設定ができます。

省電力状態

本機を使用していない間、省電力状態にしておくと、電力の消費を抑えることができます。

省電力状態へ移行する際の注意

省電力状態に移行する際には、次のような注意事項があります。移行する前に確認して正しくお使いください。

- 省電力状態に移行する場合は、万一正常に復帰しない場合に備え、使用中のデータ（作成中の文書やデータなど）は保存しておいてください。
- 次のような場合は、省電力状態に移行しないことがあります。
 - ・周辺機器を接続している
 - ・アプリを起動している
- 次のような場合に省電力状態に移行すると、不具合が発生する可能性があります。省電力状態に移行しないように設定してください。
 p.105「時間経過で移行させない」
 - ・光ディスクメディアへの書き込み時：書き込みに失敗する可能性
 - ・サウンド機能で録音、再生時：録音や再生が途中で切断される可能性
 - ・メモリーカードや外部接続記憶装置（USB HDD など）へのデータ書き込み時：データ破損の可能性
 - ・ネットワーク機能を使っでの通信時：通信が切断される可能性
 - ・動画再生時：コマ落ちしたりアプリの動作が遅くなるなどの現象が発生する可能性
- 次のような場合は、省電力状態から正常に復帰できないことがあります。
 - ・省電力状態で、周辺機器などの抜き差しを行った場合
 - ・ネットワーク上のファイルなどを開いたまま省電力状態に移行した場合
- ネットワークに接続している場合に、省電力状態に移行すると、省電力状態からの復帰時にサーバーから切断されてしまうことがあります。
このような場合は、次のいずれかの方法をとってください。
 - ・再起動する
 - ・省電力状態に移行しないように設定する
 p.105「時間経過で移行させない」

省電力状態の種類

省電力状態には、主に次のようなものがあります。

- ディスプレイの電源を切る

省電力の効果はスリープより低いですが、通常の状態にすぐに復帰できます。

- スリープ

作業内容をメモリーに保存し、コンピューターを低電力の状態にします。通常の状態へは数秒で復帰できます（使用環境により復帰時間は異なります）。

スリープの状態で設定した時間経過した場合、またはバッテリー残量が設定したパーセンテージまで低下した場合は、自動的にメモリーの内容が HDD/SSD に書き込まれ、本機は「休止状態」になります。

- 休止状態

作業内容を HDD/SSD に保存し、コンピューターを低電力の状態にします。シャットダウン状態からよりも早く通常の状態へ復帰できます（使用環境により復帰時間は異なります）。

省電力状態に移行する方法

本機を省電力状態にするには、時間経過で移行する方法と直ちに移行する方法があります。

時間経過で移行する

コンピューターを操作しない状態で時間が経過すると、本機は自動的に省電力状態に移行します。初期値ではまずディスプレイの電源が切れ、そのまま操作しないと続いてコンピューターがスリープになります。

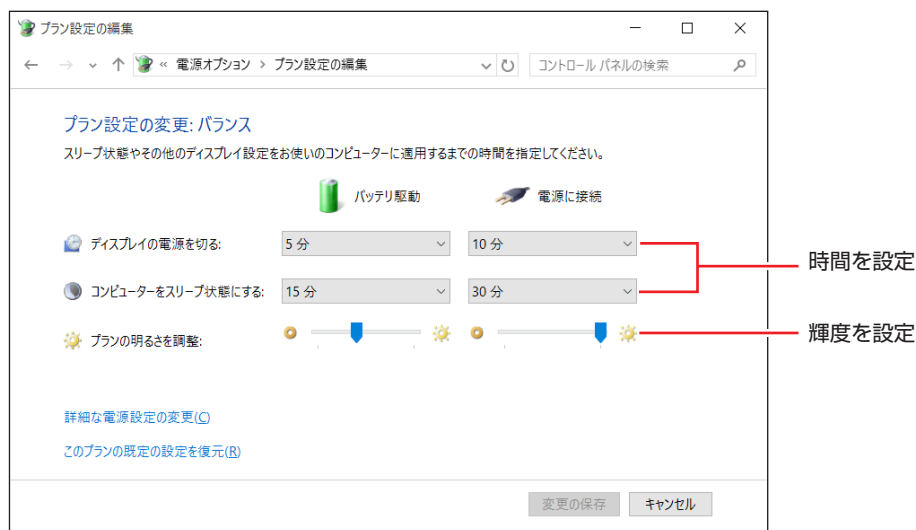
省電力状態に移行する（ディスプレイの電源を切る、コンピューターをスリープ状態にする）までの時間は、次の場所を変更することができます。

簡易設定

【スタート】－「設定」－「システム」－「電源とスリープ」

詳細設定

【スタート】を右クリック－「電源オプション」－各プランの「プラン設定の変更」



<イメージ>

時間経過で移行させない

光ディスクメディアに書き込む場合などは、時間経過で省電力状態に移行する設定を無効にします。時間をすべて「なし」に設定してください。

直ちに移行する

次の操作をすると、本機はすぐに省電力状態に移行します。

操作	省電力状態の種類
電源スイッチ（  ）を押す	スリープ（初期値）
 +  （  ）を押す	
LCD ユニットの閉じる	
[スタート] - 「電源」から項目を選択する	スリープ、休止状態*

* 購入時は、「休止状態」が表示されません。表示させるには、次の設定を行います。

[スタート] を右クリック - 「電源オプション」 - 「電源ボタンの動作を選択する」 - 「現在利用可能ではない設定を変更します」 - 「シャットダウン設定」の「休止状態」にチェック - [変更の保存] をクリック

電源ランプの表示

本機の電源の状態は、電源スイッチにあるランプ（）の点灯・点滅により確認できます。

電源の状態	電源ランプの表示
通常	点灯
ディスプレイの電源切	点灯
スリープ	点滅
休止状態	消灯
シャットダウン（電源切）	消灯

省電力状態からの復帰方法

本機を省電力状態から通常の状態に復帰させる方法は、次のとおりです。

省電力状態	電源ランプの表示	復帰方法
ディスプレイの電源切	点灯	タッチパッドやキーボードを操作する
スリープ	点滅	● 電源スイッチを押す ● キーボードを操作する
休止状態	消灯	電源スイッチを押す

電源管理ユーティリティ

本機には、本機の電源に関する管理を行うための電源管理ユーティリティがインストールされています。

電源管理ユーティリティには、主に次の3つの機能があります。

- 消費電力の状況を、現在・1日・1週間・1ヶ月間の4つの単位で表示
- バッテリーの劣化を抑えるための設定（充電の開始レベルと停止レベルの手動設定）
- ピークシフト機能（ACアダプター接続時にバッテリーで本機を使用する時間や期間の設定）



参考

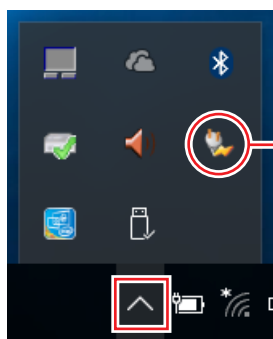
ピークシフトとは

一般的に、昼間の電力需要が高い時間帯（ピークタイム）に使用する電力を、電力消費が少ない夜間に蓄えた電力でまかなうなど、ピークタイムの電力消費の一部を他の時間帯に移すことを「ピークシフト」といいます。

電源管理ユーティリティを使う

消費電力の確認や各機能の設定は、デスクトップの電源管理ユーティリティ画面で行います。デスクトップに設定画面を表示する方法は、次の2つです。

- **Fn** + **F3** （)
- 画面右下通知領域の  – 「電源管理ユーティリティ」アイコンをクリック



電源管理ユーティリティ
アイコン

各画面の内容や設定方法は次のとおりです。

電源プラン

Windows の電源プランの切り替えや、消費電力の確認ができます。



●電源プランの変更

設定したい電源プランにつまみを動かして [適用] をクリックします。

●消費電力の確認

消費電力の状況を、現在、1 日、1 週間、1 ヶ月間の単位で確認できます。

充電設定

充電設定は、本機に AC アダプターとバッテリーを接続して使用する際に機能します。

※ ただし、ピークシフト (p.108) 実行中は、充電設定は実行されません。

- 「自動充電」(初期値)：バッテリー残量が 95%未満で充電を開始し、100%で充電完了します。
- 「手動設定」：充電開始、停止レベルを設定できます。

< 設定範囲 >

充電開始レベル：10 ～ 30% 充電停止レベル：60 ～ 80%

設定やレベルの変更をしたら [適用] をクリックします。

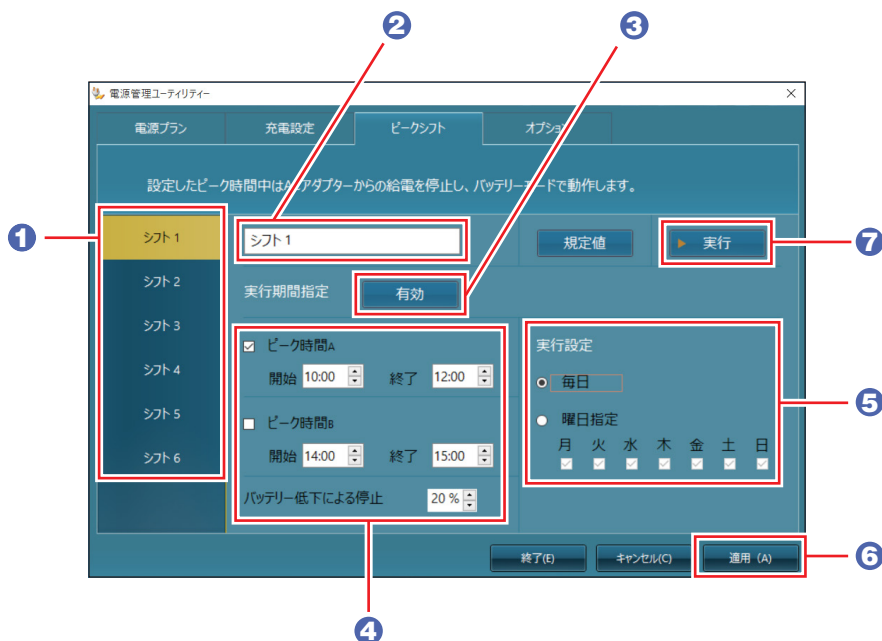
自動充電は、バッテリーでの使用頻度が高い場合におすすめします。

手動設定は、充電開始レベル (バッテリー残量：10 ～ 30%) まで充電を開始しないため、AC アダプターを接続して使用する頻度が高い場合におすすめします。満充電の繰り返しによるバッテリーの劣化を抑えることができます。手動設定を実行中に本機をバッテリーのみで使用する場合は、バッテリー残量を確認してください。

ピークシフト

ピークシフトは、本機に AC アダプターとバッテリーを接続して使用する際に機能します。ピークシフトでは、AC アダプター接続時も、設定した時間中はバッテリーで本機を使用します。設定した時間中でも、バッテリー残量が設定範囲に達すると、AC アダプターから電力を供給します。

ピークシフトの設定手順は次のとおりです。



- ① ピークシフトを選択します。設定内容を変えて、6 つまで登録できます。
- ② シフト名は変更ができます。
- ③ ピークシフトを実行する期間を設定できます。
※ [有効] をクリックすると表示されるカレンダーのアイコンをクリックして、開始日と終了日を設定します。
期間を設定しない場合は、[無効] をクリックします。
- ④ ピーク時間（バッテリーで本機を使用する時間）や、バッテリーでの使用を停止するバッテリー残量を設定します。

設定時の注意

- ピーク時間は、AとBの2つの時間帯で、それぞれ4時間以内で開始と終了の時間を設定します。
 - AとBの2つのピーク時間で、時間が重複しないように設定してください。
 - 「バッテリー低下による停止」の設定範囲は、10～30%です。バッテリー残量が設定値まで低下すると、ACアダプターからの電力供給を再開します。
- 5 「毎日」(初期値)か「曜日指定」を選択します。曜日指定では曜日も選択します。
 - 6 ピークシフトの設定が完了したら「適用」をクリックします。
 - 7 「実行」をクリックすると、「(選択したシフト名) 実行中」と表示され、ピークシフトが実行されます。

<ピークシフトの実行例>

電源管理ユーティリティ

電源プラン 充電設定 **ピークシフト** オプション

設定したピーク時間中はACアダプターからの給電を停止し、バッテリーモードで動作します。

シフト名	設定内容
シフト 1	夏季・節電対策
シフト 2	夏季・節電対策
シフト 3	
シフト 4	
シフト 5	
シフト 6	

実行期間指定: 有効

ピーク時間A: 開始 10:00 終了 12:00

ピーク時間B: 開始 13:00 終了 16:00

バッテリー低下による停止: 20%

実行設定: 毎日 (曜日指定: 月, 火, 水, 木, 金, 土, 日)

終了(E) キャンセル(C) 適用(A)

※ 実行中のピークシフトは、設定内容の変更ができません。内容を変更する場合は、[停止]をクリックしてください。実行中以外のシフトを選択して内容を変更し[適用]をクリック後、[実行]をクリックして、新しいシフトに切り替えることもできます。

オプション

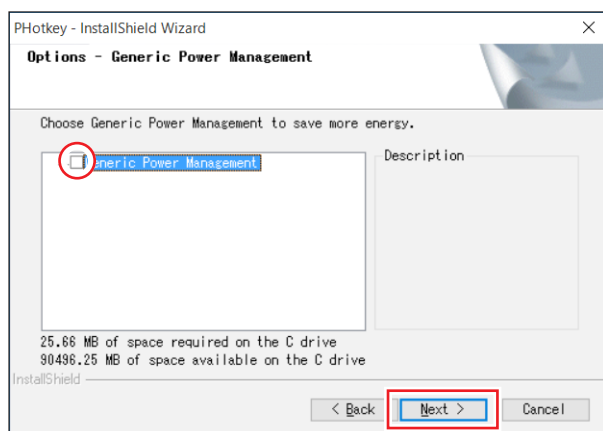
ここでは、消費電力ログの削除ができます。

[ログのクリア]をクリックすると、保存されている消費電力のログが削除されます。

電源管理ユーティリティをアンインストールしたときは

電源管理ユーティリティはホットキーユーティリティとセットのため、電源管理ユーティリティをアンインストール（削除）すると、ホットキーユーティリティも削除されます。ホットキーユーティリティのみをインストールする場合は、次の手順で再インストールを行ってください。

- 1** デスクトップの「バックアップツール」アイコンをダブルクリックします。
- 2** 「ユーザーアカウント制御」画面が表示されたら、[はい] をクリックします。
- 3** バックアップツールが起動したら、[インストール] をクリックします。
- 4** 「バックアップツール」画面が表示されたら、「本体ドライバー」を選択して [インストール] をクリックします。
- 5** 「ドライバー・ソフトウェアのインストール」画面が表示されたら、[項目別インストール] をクリックします。
- 6** 「項目別インストール」画面が表示されたら、「ホットキー + 電源管理ユーティリティ」を選択して [インストール] をクリックします。
- 7** 「項目別インストール確認」画面が表示されたら、「ホットキー + 電源管理ユーティリティ」が表示されていることを確認して [インストール開始] をクリックします。
画面の指示に従ってインストールを開始してください。
- 8** 以下の画面が表示されたら、「Generic Power Management」のチェックを外して [NEXT] をクリックしてください。



以降は、画面の指示に従ってインストールしてください。

これでホットキーユーティリティの再インストールは完了です。

Endeavor電源プラン設定ツール

本機には節電設定を行うための「Endeavor 電源プラン設定ツール」が添付されています。Endeavor 電源プラン設定ツールでは、3 つのおすすめ電源プランや、お客様ご自身で新規に作成するプランの中から、使い方に合った節電プランを設定することができます。詳しくは、次の場所をご覧ください。

<http://faq.epsondirect.co.jp/faq/edc/app/servlet/qadoc?21091>

インストール

Endeavor 電源プラン設定ツールを使用するには、インストールが必要です。使用する場合は、次の場所からインストールしてください。

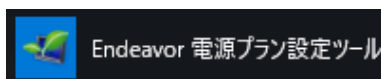
<http://faq.epsondirect.co.jp/faq/dl/app/servlet/qadoc?21086>

※ Internet Explorer の「お気に入り」からもアクセスできます。

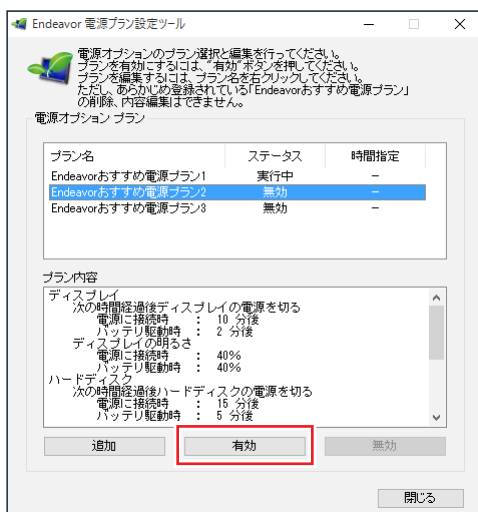
プランの変更方法

Endeavor 電源プラン設定ツールをインストールすると、「Endeavor おすすめ電源プラン 1」が有効になります。必要に応じて、「Endeavor 電源プラン設定ツール」画面で設定を変更してください。変更方法は、次のとおりです。

- 1 「スタート」－「すべてのアプリ」－「EPSON DIRECT」－「Endeavor 電源プラン設定ツール」をクリックします。



- 2 変更したいプランを選んで「有効」をクリックします。

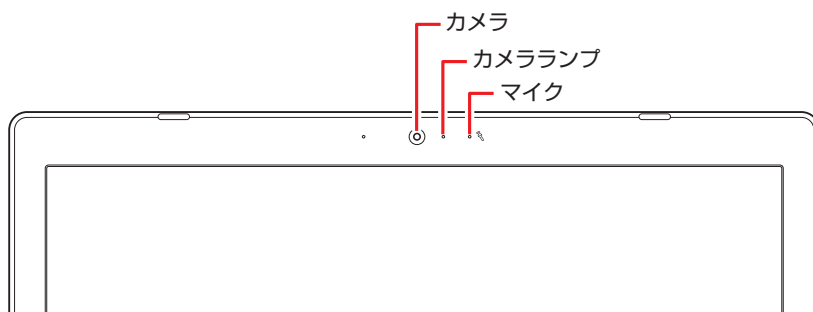


おすすめプランの内容や新規プラン作成方法は、次の場所をご覧ください。

<http://faq.epsondirect.co.jp/faq/edc/app/servlet/qadoc?21091>

カメラを使う

本機前面には、カメラが搭載されており、画像を撮影することができます。



！ 制限

- カメラのレンズ周辺には触れないでください。汚れや傷がつくと、撮影する画像が劣化します。
- カメラを太陽に向けしないでください。カメラの故障の原因となります。電源切状態でも向けしないでください。

カメラアプリを使う

本機には、カメラ機能を使用するアプリとして、「カメラ」が添付されています。カメラアプリを起動して、カメラがオンになると、カメラランプが点灯します。カメラは次の手順で起動します。

【スタート】－「すべてのアプリ」－「カメラ」



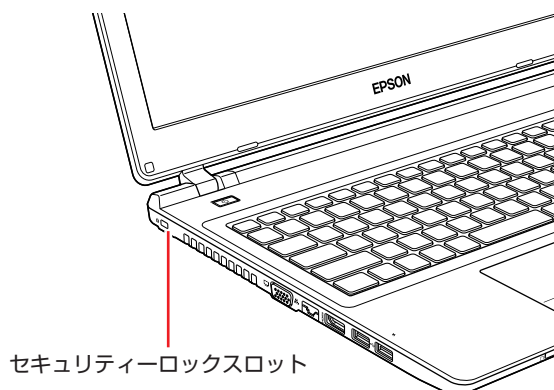
撮影した写真や動画は、「ピクチャ」の「カメラロール」に保存されます。

その他の機能

ここでは、その他の機能について説明します。

セキュリティロックスロット

本機左側面には、「セキュリティロックスロット」が搭載されています。ここには、専用の盗難抑止ワイヤー（セキュリティロック）を取り付けます。



当社では、専用の盗難抑止ワイヤー（セキュリティロック）を取り扱っています。詳しくは当社のホームページをご覧ください。

<http://shop.epson.jp/>



2

装置の増設・交換

アップグレードサービスやメモリーの増設・交換方法、本機に接続できる装置について説明します。

増設・交換できる装置	116
メモリーの装着	117
外付け可能な周辺機器	124

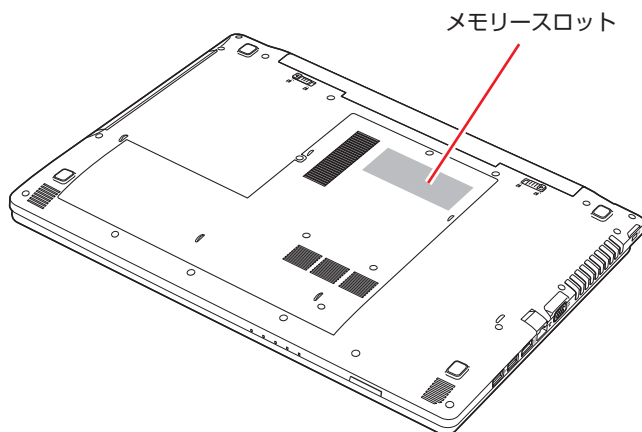
増設・交換できる装置

本機では、お客様ご自身でメモリー（SODIMM）を増設・交換することができます。



制限

本機では、メモリー以外の装置をお客様ご自身で増設・交換することはできません。



メモリスロット

メモリスロット

本機には、メモリスロットが底面に 2 本用意されています。

アップグレードサービス

当社では、コンピューター本体をお預かりして装置の増設・交換を行うアップグレードサービスを有償で行っています。

アップグレードサービスの最新情報は、当社サポートページでご確認ください。

<http://www.epsondirect.co.jp/support/afterservice/upgrade/index.asp>

メモリーの装着

本機で使用可能なメモリーの仕様と、メモリーの取り付け・取り外し方法について説明します。本機にはメモリスロットが2本あり、メモリーを最大16GBまで増設・交換することができます。

メモリーの仕様

本機で使用可能なメモリーは、次のとおりです。

- PC4-2133 SODIMM (DDR4-2133 SDRAM 使用)
- メモリー容量 2GB、4GB、8GB
- Non ECC
- 260ピン

最新メモリー情報

今後、使用可能なメモリーが追加される場合があります。また、それにともない、最大搭載可能容量が変更になることがあります。

メモリーの最新情報は、当社ホームページでご確認ください。

<http://shop.epson.jp/>

<http://faq.epsondirect.co.jp/faq/edc/app/servlet/qadoc?28653>

メモリー装着の組み合わせ

本機はデュアルチャネルに対応しているため、同一容量のメモリーを2枚1組で装着すると、データ転送速度のパフォーマンスが最大になります。

メモリー装着の組み合わせとメモリーの動作は、次のとおりです。

メモリー装着の組み合わせ	メモリーの動作
同一容量のメモリー2枚	デュアルチャネルで動作。転送速度最大。
メモリー1枚*	通常の転送速度で動作（シングルチャネル）。

* メモリー1枚で使用する場合は、下側のメモリスロット1に装着してください。

メモリー取り付け・取り外し時の注意

メモリーの取り付け・取り外しをする場合は、必ず次の点を確認してから作業を始めてください。



- メモリーの取り付け・取り外しをするときは、電源プラグをコンセントから抜いて、バッテリーパックを取り外してください。電源プラグやバッテリーパックを接続したまま作業をすると、感電や火傷の原因となります。
- 本機の分解・改造や、マニュアルで指示されている以外の増設・交換はしないでください。けが・感電・火災の原因となります。



- メモリーの取り付け・取り外しは、本機の内部が高温になっているときには行わないでください。火傷のおそれがあります。本機の電源を切って10分以上待ち、内部が十分冷めてから作業を行ってください。
- 不安定な場所（ぐらついた机の上や、傾いた所など）で、作業をしないでください。落ちたり、倒れたりして、けがをする危険があります。



- 作業を行う前に金属製のものに触れて静電気を逃がしてください。メモリーや本機に静電気が流れると、基板上の部品が破損するおそれがあります。
- 本機内部にネジや金属などの異物を落とさないでください。
- メモリーを持つときは、端子部や素子に触れないでください。破損や接触不良による誤動作の原因になります。
- 装着する方向を間違えないでください。メモリーが抜けなくなるなど故障の原因になります。
- メモリーを落とさないように注意してください。強い衝撃が、破損の原因になります。
- メモリーの着脱は、頻繁に行わないでください。必要以上に着脱を繰り返すと、端子部などに負担がかかり、故障の原因になります。

メモリーの取り付け・取り外し

メモリーの取り付け・取り外し手順は、次のとおりです。



制限

メモリー 1 枚のみで使用する場合は、必ず下側のメモリースロット 1 (p.120) に装着してください。

取り付け

メモリーを取り付ける手順は、次のとおりです。

1 本機の電源を切ります。

増設・交換作業の前に Windows を終了するときは、必ず次の方法で行ってください。

通常の「シャットダウン」で終了すると、増設・交換後に機器が認識されなくなる場合があります。

① [スタート] - 「電源」で **[Shift]** を押しながら「再起動」をクリックします。

② 表示されたメニューで「PC の電源を切る」を選択します。

Windows が終了します。

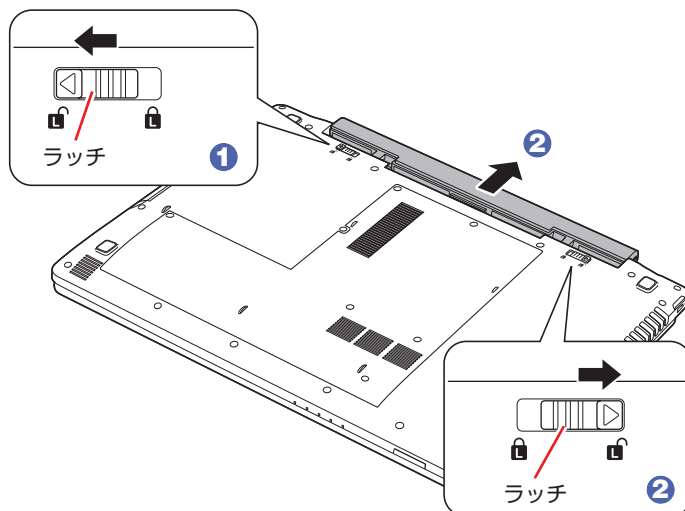
作業直前まで本機が動作していた場合は、本機内部が冷えるまで、10 分以上放置してください。

2 本機に接続しているケーブル類 (AC アダプターなど) を、すべて外します。

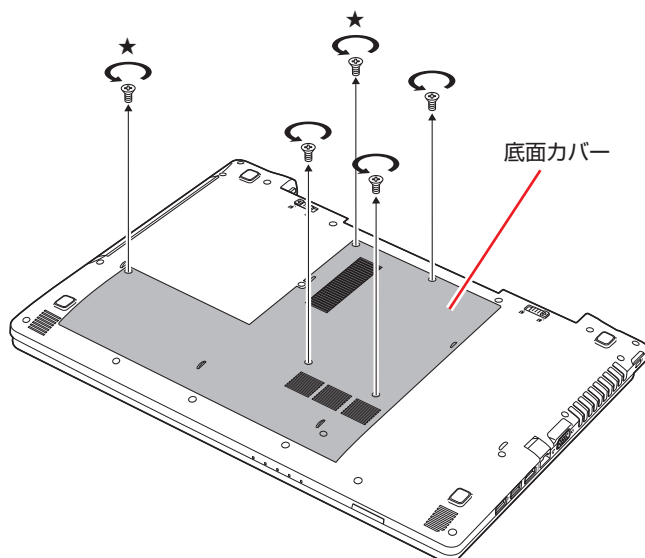
3 バッテリーを取り外します。

① 左側のラッチを、ロック解除位置 () に移動します。

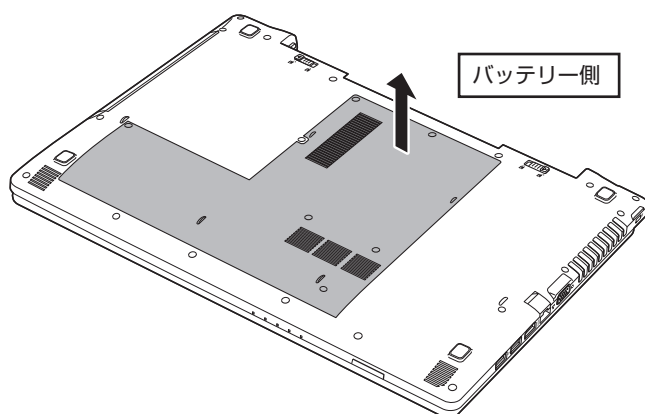
② 右側のラッチを、右に移動した状態のまま、バッテリーを矢印の方向にスライドさせ、取り外します。



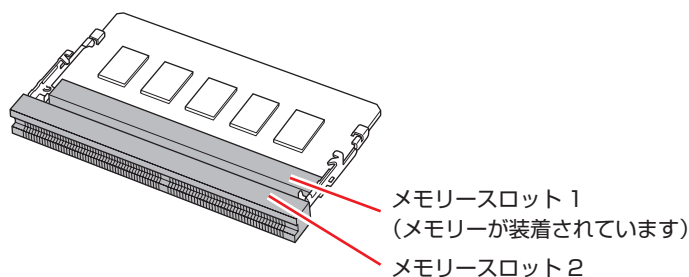
- 4** 底面カバーのネジ（3本または5本）を外します。
※ 製造時期により、★のネジ（2本）は無い場合があります。



- 5** バッテリー側の隙間から指を入れて、底面カバーを少しずつ持ち上げて取り外します。



- 6** メモリスロット 2 の位置を確認します。
ここではメモリスロット 2 にメモリーを取り付ける手順を説明します。

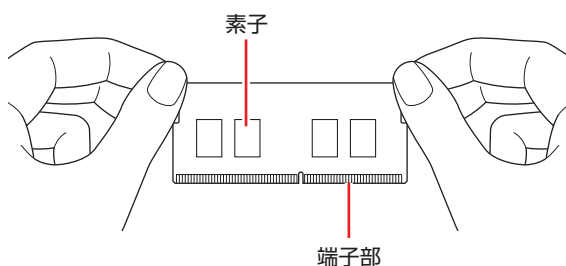


メモリスロット 1 のメモリーを交換する際、メモリスロット 2 にメモリーが装着されているときは、メモリスロット 2 のメモリーを取り外してから作業を行ってください。

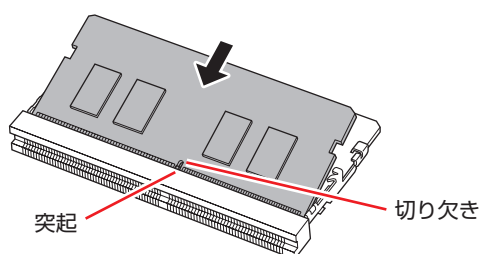
 p.123 「取り外し」

7 メモリーを取り付けます。

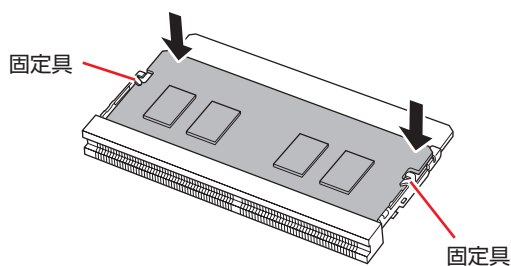
- 1 メモリーを静電防止袋から取り出します。
メモリーの端子部や素子に触れないように持ちます。



- 2 メモリーを、メモリスロット2に差し込みます。
切り欠きを突起に合わせ、メモリーを約 30 度の角度でメモリスロットに差し込みます。

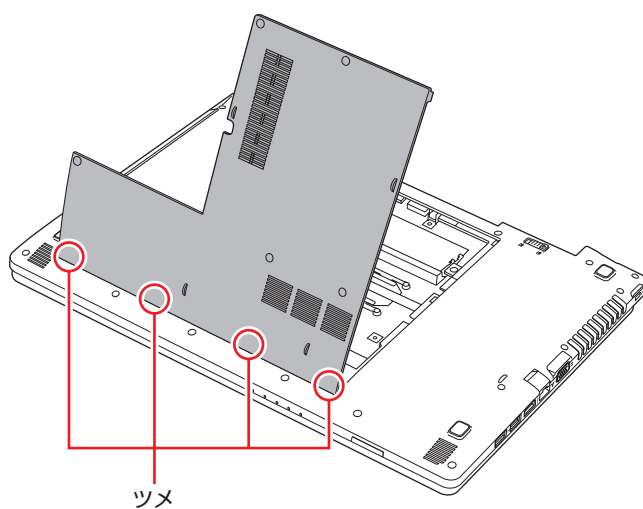


- 3 メモリーを静かに倒します。
正しく装着すると、「カチッ」と音がして両側の固定具で固定されます。

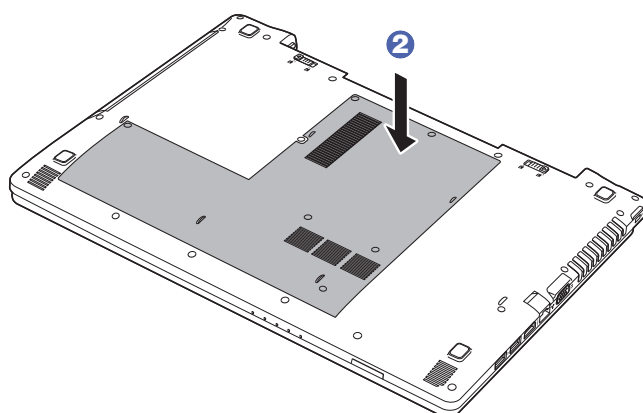


8 底面カバーを取り付けます。

- ① 底面カバーの4つのツメを本体に差し込みます。

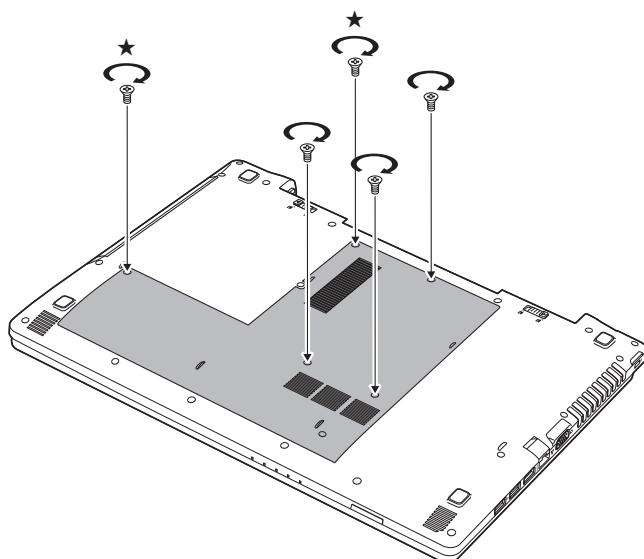


- ② 底面カバーを倒し、各ツメの部分を「カチッ」と音が出るまで押さえて取り付けます。



9 底面カバーをネジ（3本または5本）で固定します。

※ 製造時期により、★のネジ（2本）は無い場合があります。



10 バッテリーを取り付けます。
 p.36 「バッテリーの交換方法」 **4**

11 本機の底面を下にして置きます。

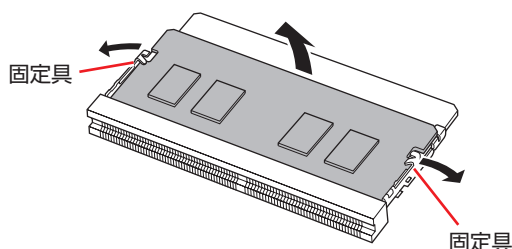
12 **2** で取り外したケーブル類（AC アダプターなど）を接続します。
続いて  p.123 「メモリー取り付け・取り外し後の作業」を行います。

取り外し

メモリーの取り外しは、 p.120 「取り付け」の **6** ～ **7** を次の手順に読み替えて行ってください。

ここでは、メモリースロット2のメモリーを取り外す手順を例に説明します。

1 メモリーの両側を固定している固定具を外側に広げます。
メモリーが起き上がります。



2 起き上がったメモリーの両端を持って静かに引き抜きます。
取り外したメモリーは、静電防止袋に入れて保管してください。

メモリー取り付け・取り外し後の作業

メモリーの取り付け・取り外しをしたら、メモリーが正しく取り付けられているかどうか、必ずメモリーの容量を確認します。

メモリー容量の確認方法は、次のとおりです。

1 本機の電源を入れ、すぐに **[F2]** を「トン、トン、トン…」と連続的に押し「UEFI Setup ユーティリティ」を起動します。

Windows が起動してしまった場合は、再起動してもう一度実行してください。

2 「Main」メニュー画面－「System Memory」でメモリー容量を確認します。

3 **[F10]** を押し、表示された画面で **[Yes]** を選択し、**[↵]** を押して「UEFI Setup ユーティリティ」を終了します。

2 でメモリー容量が正しく表示されない場合は、メモリーが正しく取り付けられていないことが考えられます。すぐに電源を切り、メモリーを正しく取り付けなおしてください。

外付け可能な周辺機器

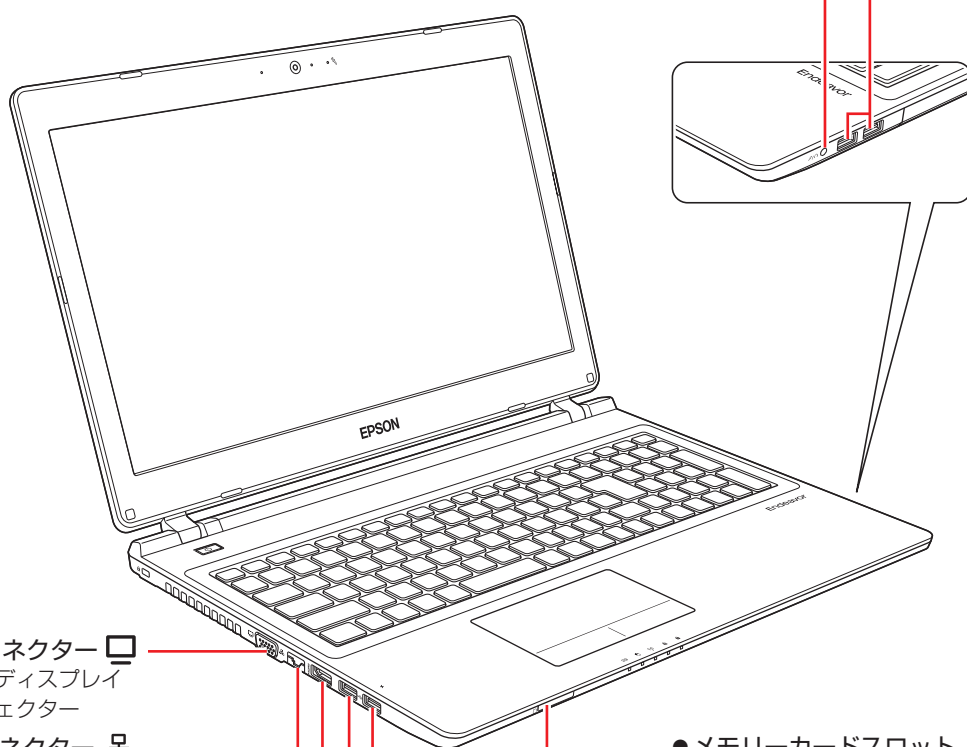
本機のポートやコネクタには、次のような周辺機器を取り付けることができます。各コネクタへの接続方法は、本書または接続する周辺機器に添付のマニュアルをご覧ください。

●USB2.0 コネクタ

- ・プリンター
- ・デジタルカメラ
- ・スキャナー
- ・USB 機器

●マイク入力/ヘッドホン出力

- コネクタ
- ・スピーカー
- ・マイク
- ・ヘッドホン



●VGA コネクタ

- ・外付けディスプレイ
- ・プロジェクター

●LAN コネクタ

- ・ネットワーク

●HDMI コネクタ

- ・外付けディスプレイ
- ・プロジェクター
- ・テレビ

●メモリーカードスロット

- ・SDメモリーカード

●USB3.0 コネクタ

- ・プリンター
- ・デジタルカメラ
- ・スキャナー
- ・USB 機器

その他の接続可能な周辺機器

無線機能をオプション選択された場合、ケーブルを介さずに次の機器が接続できます。

- ・無線 LAN 対応機器
- ・Bluetooth 対応機器

3

UEFI の設定

コンピュータの基本状態を管理しているプログラム「UEFI」の設定を変更する方法について記載しています。

UEFI の設定を始める前に.....	126
UEFI Setup ユーティリティの操作.....	127
UEFI Setup ユーティリティの設定項目	138

UEFI の設定を始める前に



制限

当社製以外の UEFI を使用すると、Windows が正常に動作しなくなる場合があります。当社製以外の UEFI へのアップデートは絶対に行わないでください。

UEFI は、コンピュータの基本状態を管理しているプログラムです。このプログラムは、マザーボード上に ROM として搭載されています。

UEFI の設定は「UEFI Setup ユーティリティ」で変更できますが、購入時のシステム構成に合わせて最適に設定されているため、通常は変更する必要はありません。UEFI の設定を変更するのは、次のような場合です。

- 本書やお使いの装置のマニュアルで指示があった場合
- パスワードを設定する場合
- マザーボード上の機能を有効 / 無効にする場合

UEFI の設定値を間違えると、システムが正常に動作しなくなる場合があります。設定値をよく確認してから変更を行ってください。

UEFI Setup ユーティリティで変更した内容は CMOS RAM と呼ばれる特別なメモリー領域に保存されます。このメモリーはリチウム電池によってバックアップされているため、本機の電源を切ったり、再起動しても消去されることはありません。



参考

リチウム電池の寿命

UEFI Setup ユーティリティの内容は、リチウム電池で保持しています。リチウム電池は消耗品です。本機の使用状況によって異なりますが、AC アダプターやバッテリーからの電力供給がまったくない場合、電池の寿命は約 5 年です。日付や時間が異常になったり、設定した値が変わってしまうことが頻発するような場合には、リチウム電池の寿命が考えられます。

『サポート・サービスのご案内』をご覧ください。修理受付窓口までご連絡ください。

動作が不安定になったら

設定値を変更して本機の動作が不安定になった場合は、設定値を戻すことができます。



p.132 「Load Optimized Defaults (UEFI の初期値に戻す)」



p.132 「Discard Changes (前回保存した設定値に戻す)」

UEFI Setup ユーティリティの操作

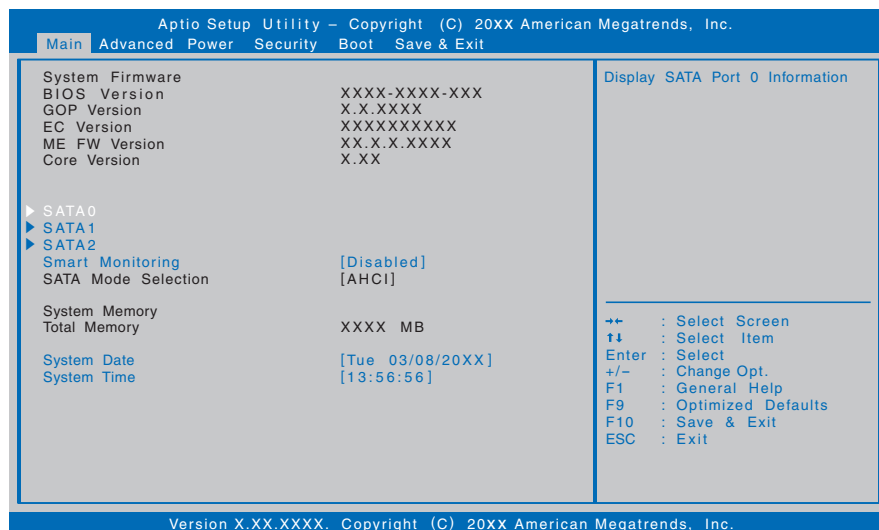
ここでは、「UEFI Setup ユーティリティ」の次の操作方法について説明します。

- 基本操作（起動、操作、終了）
- 設定値を元に戻す
- パスワードを設定する
- HDD/SSD アクセス制限

UEFI Setupユーティリティの起動

本機の電源を入れる前に、キーボードの **[F2]** の位置を確認してください。**1** では、すばやく **[F2]** を押す必要があります。

- 1** 本機の電源を入れ、すぐに **[F2]** を「トン、トン、トン・・・」と連続的に押します。
Windows が起動してしまった場合は、再起動してもう一度実行してください。
- 2** 「UEFI Setup ユーティリティ」が起動して「Main」メニュー画面が表示されます。



< UEFI Setup ユーティリティ画面（イメージ） >

UEFI Setupユーティリティの操作

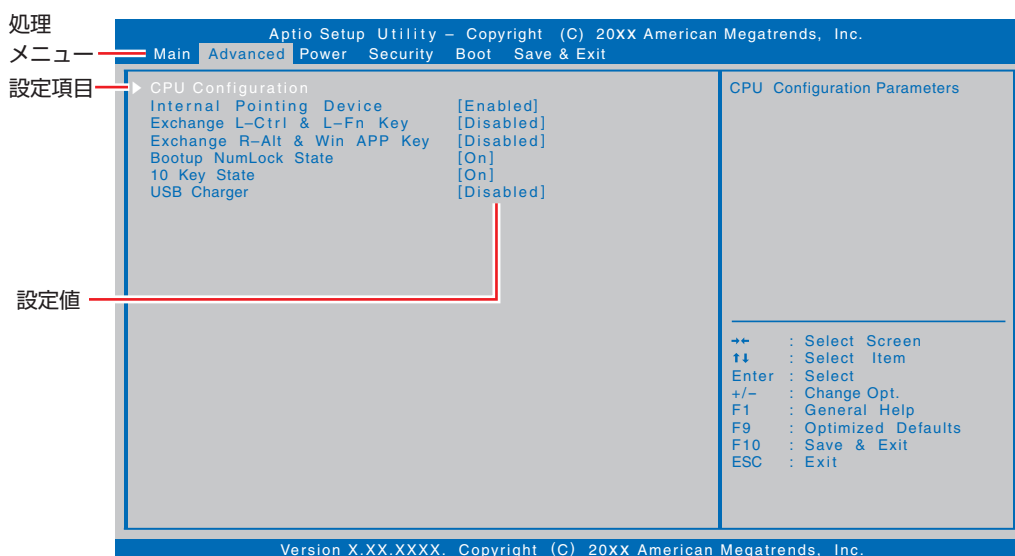
「UEFI Setup ユーティリティ」の操作は、キーボードで行います。

ここで説明している画面はイメージです。実際の設定項目とは異なります。

各メニュー画面と設定項目の説明は、 p.138 「UEFI Setup ユーティリティの設定項目」をご覧ください。

画面の構成

UEFI Setup ユーティリティには、処理メニューに表示された「メニュー画面」と、設定項目によって表示される「サブメニュー画面」、設定値を変更する際に表示される「選択ウィンドウ」があります。



<メニュー画面>

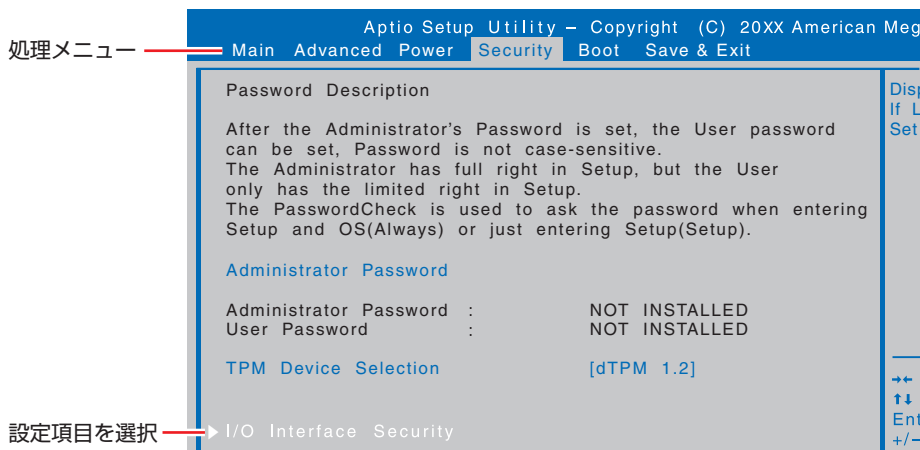
操作方法

UEFI Setup ユーティリティの操作方法是次のとおりです。

- 1 変更したい設定項目のあるメニューを、処理メニューから選択し、設定項目を選択します。

→ ← でメニュー間を移動します。

↑ ↓ で設定値を変更したい項目まで移動します。

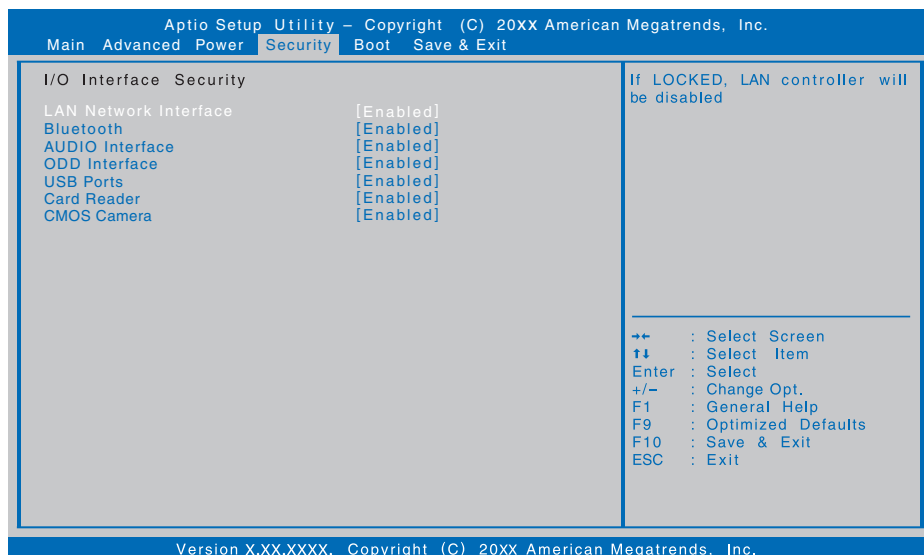


<メニュー画面>

サブメニュー画面

設定項目によっては、← を押すとサブメニュー画面が表示される場合があります。

↑ ↓ で設定値を変更したい項目まで移動します。



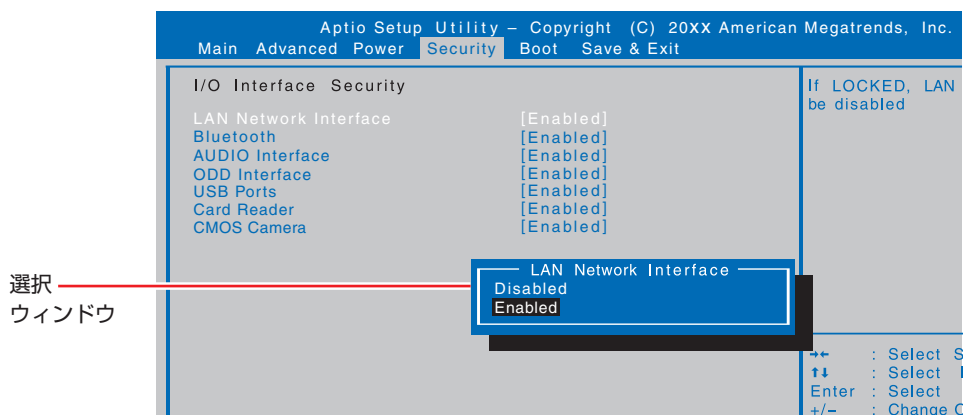
<サブメニュー画面>

サブメニュー画面からメニュー画面に戻るには、Esc を押します。



2 設定値を変更します。

← を押して選択ウィンドウを表示し、↑ ↓ で値を選択し ↵ で決定します。



キー操作

UEFI の画面を操作するときは、次のキーを使用します。

キー	操作できる内容
Esc	- 変更した内容を破棄し、終了します。 - サブメニュー画面からメニュー画面に戻ります。
↑, ↓	設定を変更する項目を選択します。
←, →	処理メニューを選択します。
-, +	項目の値を変更します。
↵	- サブメニュー画面を表示します。 - 選択項目の選択ウィンドウを表示します。 - 設定値を選択します。
F1	ヘルプを表示します。
F9	設定項目の値を、UEFI の初期値に戻します。
F10	変更した設定値を保存して終了します。

UEFI Setupユーティリティの終了

「UEFI Setup ユーティリティ」を終了するには、次の 2 つの方法があります。

Save Changes and Reset（変更した内容を保存し終了する）

変更した設定値を保存して、UEFI Setup ユーティリティを終了します。

- 1 **F10** を押す、または「Exit」メニュー画面 - 「Save Changes and Reset」を選択すると、次のメッセージが表示されます。

Save & reset	
Save configuration and reset?	
Yes	No

- 2 **[Yes]** を選択し、**[Enter]** を押します。
「UEFI Setup ユーティリティ」が終了し、Windows が起動します。

Discard Changes and Reset（変更した内容を破棄し終了する）

変更した設定値を保存せずに、UEFI Setup ユーティリティを終了します。

- 1 **[Esc]** を押す、または「Exit」メニュー画面 - 「Discard Changes and Reset」を選択すると、次のメッセージが表示されます。

[Esc] を押した場合

Exit Without Saving	
Quit without saving?	
Yes	No

メニュー画面から選択した場合

Reset Without Saving	
Reset without saving?	
Yes	No

- 2 **[Yes]** を選択し、**[Enter]** を押します。
「UEFI Setup ユーティリティ」が終了し、Windows が起動します。

設定値を元に戻す

「UEFI Setup ユーティリティ」の設定を間違えてしまい、万一、本機の動作が不安定になってしまった場合などには、設定値を UEFI の初期値や前回保存した値に戻すことができます。

Load Optimized Defaults (UEFI の初期値に戻す)

設定値を UEFI の初期値に戻す方法は、次のとおりです。

※「Security」メニュー画面の設定値を UEFI の初期値に戻すことはできません。

- 1 **F9** を押す、または「Exit」メニュー画面 - 「Load Optimized Defaults」を選択すると、次のメッセージが表示されます。

Load Optimized Defaults	
Load Optimized Defaults?	
Yes	No

- 2 **[Yes]** を選択し、**↵** を押します。
これで設定値が「UEFI の初期値」に戻ります。

Discard Changes (前回保存した設定値に戻す)

設定値を前回保存した値に戻す方法は、次のとおりです。

- 1 「Exit」メニュー画面 - 「Discard Changes」を選択すると、次のメッセージが表示されます。

Load Previous Values	
Load Previous Values?	
Yes	No

- 2 **[Yes]** を選択し、**↵** を押します。
これで設定値が「前回保存した値」に戻ります。

Load Setup User Define (ユーザー設定値に戻す)

「Save User Define」で任意のユーザー設定値を保存しておくで、以下の手順でユーザー設定値に戻すことができます。

- 1 「Save & Exit」メニュー画面 - 「Load Setup User Define」を選択すると、次のメッセージが表示されます。

Restore User Defaults	
Restore User Defaults?	
Yes	No

- 2 「Yes」を選択し、 を押します。
これで設定値が「ユーザー設定値」に戻ります。

パスワードを設定する

「Security」メニュー画面でパスワードを設定すると、UEFI や Windows の起動時にパスワードを要求されるようになります。

パスワードの設定は、次のような場合に行います。

- 本機を使用するユーザーを制限したいとき
- パスワードを設定しないと使用できない機能を使いたいとき
(HDD/SSD アクセス制限など)

パスワードの種類

パスワードには次の 2 種類があります。

- Administrator Password (管理者パスワード)

コンピュータの管理者用のパスワードです。管理者パスワードで UEFI にログオンした場合は、すべての項目の閲覧と変更が可能です。

- User Password (ユーザーパスワード)

一般ユーザー用のパスワードです。ユーザーパスワードで UEFI にログオンした場合は、項目の閲覧や変更が制限されます (権限は、設定変更することができます)。

 p.135 「ユーザーパスワードの権限設定」

パスワードの設定方法

パスワードの設定方法を説明します。



設定したパスワードは、絶対に忘れないようにしてください。パスワードを忘れると、UEFI の設定変更や、設定によっては Windows の起動ができなくなります。

管理者パスワードの設定

管理者パスワードの設定方法は、次のとおりです。

管理者パスワードを設定すると、ユーザーパスワードや HDD/SSD アクセス制限などが設定できるようになります。

1

「Security」メニュー画面－「Administrator Password」を選択して  を押すと、次のメッセージが表示されます。

— Create New Password —

2

パスワードを入力します。

「*」が表示されない文字は、パスワードとして使用できません。パスワードとして使用できるのは英数字だけです。アルファベットの大文字と小文字は区別されません。パスワードは 8 文字まで入力可能です。

パスワード入力時は、キーボードの入力モードに注意してください。たとえば、数値キー入力モードでパスワードを設定し、起動時に数値キー入力モードではない状態でパスワードを入力するとエラーになります。

3

 を押すと、次のメッセージが表示されます。もう一度同じパスワードを入力し、 を押します。

— Confirm New Password —

同じパスワードを入力しないと、「ERROR」というメッセージが表示されます。[OK] が選択された状態で  を押し、**1** からやりなおしてください。

パスワードの設定が完了すると、「Administrator Password」項目の値が「INSTALLED」に変わり、ユーザーパスワードなどの新しい設定項目が表示されます。

パスワード入力タイミングの設定

UEFI Setup ユーティリティ起動時や、Windows 起動時など、どのタイミングでパスワードを要求するかを設定します。

 p.140 「Security メニュー画面」－「Password Check」

ユーザーパスワードの設定

ユーザーパスワードは、 p.134 「管理者パスワードの設定」－**1** で「Setup User Password」を選択し、管理者パスワードと同じ手順で設定します。

ユーザーパスワードの権限設定

ユーザーパスワードを設定した場合は、ユーザーパスワードで UEFI にログオンしたときの権限（項目の閲覧や変更に関する制限）を設定します。

 p.140 「Security メニュー画面」－「User Access Level」

※ 権限変更を行った場合は、**[F10]** を押して UEFI Setup ユーティリティを終了してください。

パスワードの削除方法

パスワードの削除方法は、次のとおりです。

管理者パスワードを削除する場合は、管理者パスワードで UEFI にログオンしてください。

※ HDD/SSD アクセス制限やユーザーパスワードを設定している場合、管理者パスワードを削除すると、自動的に HDD/SSD アクセス制限やユーザーパスワードも削除（解除）されます。

- 1 「Security」メニュー画面－「Administrator Password」を選択して **[↵]** を押すと、次のメッセージが表示されます。

ユーザーパスワードを削除する場合は、「User Password」を選択します。

Enter Current Password

- 2 設定しているパスワードを入力して **[↵]** を押すと、次のメッセージが表示されます。

Create New Password

- 3 何も入力せずに **[↵]** を押すと、次のメッセージが表示されます。

WARNING	
Clear Old Password. Continue?	
Yes	No

- 4 **[Yes]** が選択された状態で **[↵]** を押します。

「Administrator Password」または「User Password」項目の表示が「NOT INSTALLED」に変わります。

これでパスワードが削除されました。

管理者パスワードを削除すると、パスワード設定時に表示された項目は非表示になります。

HDD/SSDアクセス制限

HDD/SSD アクセス制限を設定すると、次の状態になります。

- UEFI や Windows 起動時、休止状態からの復帰時にパスワードを要求される
- HDD/SSD をほかのコンピューターに接続した場合、認識されなくなる

HDD/SSD への無断アクセスや、万が一 HDD/SSD が盗難にあった場合の情報流出を防ぎたいときは、HDD/SSD アクセス制限を設定します。

HDD/SSD アクセス制限の設定 / 解除方法

HDD/SSD アクセス制限の設定 / 解除方法を説明します。



制限

パスワードを忘れてしまうと、アクセス制限を設定した HDD/SSD は使用できなくなります。登録したパスワードは絶対に忘れないようにしてください。

設定方法

HDD/SSD アクセス制限の設定方法は次のとおりです。

1

本機の電源を切ります。

一度電源を切らないと、HDD/SSD アクセス制限は正常に設定できません。
必ず電源を切ってから設定を行ってください。

Windows を終了するときは、必ず次の方法で行ってください。通常の「シャットダウン」で終了すると、機器が認識されなくなる場合があります。

① [スタート] – 「電源」をクリックし、**[Shift]** を押しながら「再起動」をクリックします。

② 表示されたメニューで「PC の電源を切る」を選択します。

Windows が終了します。

2

本機の電源を入れ、「UEFI Setup ユーティリティ」を起動します。

 p.127 「UEFI Setup ユーティリティの起動」

3

管理者パスワードを設定します。

 p.134 「パスワードの設定方法」

4

「Security」メニュー画面 – 「Hard Disc Protection」を「Enabled」に設定します。

 p.140 「Security メニュー画面」

5

****[F10]** を押し、表示された画面で **[Yes]** を選択して **[↵]** を押し「UEFI Setup ユーティリティ」を終了します。**

6

Windows が起動したら、本機の電源を切ります。

最後に電源を切らないと、設定が有効になりません。
Windows を終了するときは、必ず **①** の方法で行ってください。

解除方法

HDD/SSD アクセス制限の解除方法は次のとおりです。

1 本機の電源を切ります。

一度電源を切らないと、HDD/SSD アクセス制限は正常に設定できません。
必ず電源を切ってから設定を行ってください。

Windows を終了するときは、必ず次の方法で行ってください。通常の「シャットダウン」で終了すると、機器が認識されなくなる場合があります。

① [スタート] - 「電源」で **[Shift]** を押しながら「再起動」をクリックします。

② 表示されたメニューで「PC の電源を切る」を選択します。

Windows が終了します。

2 本機の電源を入れ、「UEFI Setup ユーティリティ」を起動します。

 p.127 「UEFI Setup ユーティリティの起動」

3 「Security」メニュー画面 - 「Hard Disc Protection」を「Disabled」に設定します。

 p.140 「Security メニュー画面」

4 **[F10]** を押し、表示された画面で **[Yes]** を選択して **[↵]** を押し「UEFI Setup ユーティリティ」を終了します。

5 Windows が起動したら、本機の電源を切ります。

最後に電源を切らないと、設定が有効になりません。

Windows を終了するときは、必ず **1** の方法で行ってください。

BIOSモードとUEFIモード

本機は、Windows 10 が動作するよう、UEFI モードに設定されています。

- 「Security」メニュー画面 - 「Secure Boot menu」 - 「Secure Boot」：[Enabled]
- 「Boot」メニュー画面 - 「Launch CSM」：[Disabled]

Windows 7 などの OS は、BIOS モードで使用します。

- 「Security」メニュー画面 - 「Secure Boot menu」 - 「Secure Boot」：[Disabled]
- 「Boot」メニュー画面 - 「Launch CSM」：[Enabled]

※ Windows 10 を BIOS モードで使用した場合は、使用できない機能があります。

<使用できない機能例>

- ・ Secure Boot
- ・ Seamless Boot

UEFI Setup ユーティリティの設定項目

ここでは、UEFI Setup ユーティリティで設定できる項目と、設定方法などについて説明します。
UEFI Setup ユーティリティには、次の 6 つのメニューがあります。

- Main メニュー画面

HDD/SSD のモードや日付、時間などの設定を行います。

- Advanced メニュー画面

CPU の機能、キーの入れ替えなどの設定を行います。

- Power メニュー画面

省電力機能や起動に関する設定を行います。

- Security メニュー画面

パスワードに関する設定や、マザーボード上のデバイスに関する設定を行います。

- Boot メニュー画面

システムの起動 (Boot) に関する設定を行います。

- Save & Exit メニュー画面

UEFI Setup ユーティリティを終了したり、UEFI の設定値を初期値に戻します。

Mainメニュー画面

「Main」メニュー画面では、日付、時間などの設定を行います。
設定項目は、次のとおりです。

 は初期値
*は項目表示のみ

* BIOS Version		本機に搭載されている BIOS のバージョンを表示します。
* GOP Version		GOP のバージョンを表示します。
* EC Version		EC のバージョンを表示します。
* ME FW Version		ME FW のバージョンを表示します。
* Core Version		Core のバージョンを表示します。
SATA0 SATA1 SATA2	* DEVICE	HDD/SSD の種類を表示します。
	* Model name	HDD/SSD の型番を表示します。
	* SIZE	HDD/SSD の容量を表示します。
	* F/W	ファームウェアのバージョンを表示します。
	Type	SATA port の設定を行います。 Auto : 接続されたデバイスを自動で認識します。 Not Installed : デバイスが接続されても認識しません。
SMART Monitoring		S.M.A.R.T (Self Monitoring Analysis and Reporting Technology) の状態 Enabled : 使用します。 Disabled : 使用しません。
* SATA Mode Selection		シリアル ATA 装置の動作モードを表示します。
* System Memory		メモリー容量を起動時に自動的に計算して表示します。
* Total Memory		

System Date	日付を設定します。(曜日 月 / 日 / 年)
System Time	時刻を設定します。(時 : 分 : 秒)

Advancedメニュー画面

「Advanced」メニュー画面では、CPU の機能やキーの入れ替えなどの設定を行います。設定項目は、次のとおりです。

 は初期値
*は項目表示のみ

CPU Configuration	本機に搭載されている CPU の設定をします。
*Vendor	CPU の種類を表示します。
*CPU name	CPU の名前を表示します。
*Frequency	CPU の周波数を表示します。
*FSB Speed	FSB の周波数を表示します。
EIST	EIST (Enhanced Intel SpeedStep Technology) の有効 / 無効を設定します。 Disabled : 無効にします。 Enabled : 有効にします。
xD Bit	CPU のメモリー保護機能の有効 / 無効を設定します。 Disabled : 無効にします。 Enabled : 有効にします。
Intel Virtualization Technology	Intel Virtualization Technology の有効 / 無効を設定します。 Disabled : 無効にします。 Enabled : 有効にします。
Hyper - Threading Technology ※機能を持つ CPU 搭載時のみ表示されます。	ハイパースレッディング機能の有効 / 無効を設定します。 Disabled : 無効にします。 Enabled : 有効にします。
Turbo Boost Technology ※機能を持つ CPU 搭載時のみ設定可能です。	ターボブースト機能の有効 / 無効を設定します。 Disabled : 無効にします。 Enabled : 有効にします。
Internal Pointing Device	本機のタッチパッドを使用するかどうかを設定します。 Enabled : 使用します。 Disabled : 使用しません。
Exchange L-Ctrl & L-Fn Key	キーボードの左下側にある  と、その隣にある  の機能を入れ替えるかどうかを設定します。 Disabled :  と  の機能を入れ替えません。 Enabled :  と  の機能を入れ替えます。
Exchange R-Alt & Win APP Key	キーボードの中央下側にある  と、その隣にある  (アプリケーションキー) の機能を入れ替えるかどうかを設定します。 Disabled :  と  の機能を入れ替えません。 Enabled :  と  の機能を入れ替えます。

Bootup NumLock State	UEFI や DOS での起動時に数値キー入力固定を設定します。 On：数値キー入力に固定します（NumLock）。 Off：数値キー入力に固定しません（カーソル制御）。 起動後の入力状態は NumLk で変更でき、状態は NumLock ランプ（）で確認できます。 ※この設定は、Windows 起動後には反映されません。
10 Key State	キーボードの数値キーを使用するかどうかを設定します。  p.44 On：使用します。 Off：使用しません。
USB Charger	本機左側面の前側にある USB3.0 コネクターで、USB 充電機能を使用するかどうかを設定します。  p.64 Enabled：使用します。 Disabled：使用しません。

Powerメニュー画面

「Power」メニュー画面では、省電力機能や起動に関する設定を行います。
設定項目は、次のとおりです。

 は購入時の状態

*は項目表示のみ

APM Configuration	本機の起動に関する設定をします。
Power On By RTC Alarm	コンピューターを指定した時間に起動させる設定をします。 Disabled：設定しません。 Enabled：設定します。
RTC Alarm Date/Hour/Minute/Second ※「Power On By RTC Alarm」を [Enabled] にすると、設定可能になります。	起動する日時を設定します。 起動日を毎日にした場合は、「RTC Alarm Date」を「0」に設定します。
Wake-Up from S5	シャットダウン状態からの Wake on LAN の有効 / 無効を設定します。 Disabled：無効にします。 Enabled：有効にします。

Securityメニュー画面

「Security」メニュー画面では、パスワードに関する設定や、マザーボード上のデバイスに関する設定を行います。パスワードの設定方法は、 p.133 「パスワードを設定する」をご覧ください。
設定項目は、次のとおりです。

 は購入時の状態

*は項目表示のみ

Administrator Password	管理者パスワードの設定や変更、削除を行います。
User Password ※管理者パスワードを設定すると表示されます。	ユーザーパスワードの設定や変更、削除を行います。

*Administrator Password/ User Password	Administrator Password（管理者パスワード）と User Password（ユーザーパスワード）が設定されているかどうかを表示します。 NOT INSTALLED：パスワードが設定されていません。 INSTALLED：パスワードが設定されています。
TPM Device Selection ※セキュリティデバイスサポートが有効の時のみ選択できます。	使用するセキュリティ機能を選択します。
Password Check ※管理者パスワードを設定すると表示されます。	パスワード入力を要求するタイミングを設定します。 Setup：UEFI 起動時にパスワード入力を要求します。 Always：UEFI や Windows 起動時、休止状態から復帰時にパスワード入力を要求します。
User Access Level ※管理者パスワードを設定すると表示されます。	ユーザーパスワードでの UEFI アクセス制限を 3 段階で設定します。 FULL ACCESS：管理者と同一の権利を許可します。UEFI のすべての項目を設定したり閲覧したりすることができます。 VIEW ONLY：UEFI の閲覧のみで、設定項目の変更はできません。 LIMITED：UEFI の閲覧と、一部の設定項目を変更できます。
Hard Disc Protection ※管理者パスワードを設定すると表示されます。	HDD/SSD へのアクセス制限を設定します。  p.136 「HDD/SSD アクセス制限」 Disabled：HDD/SSD へのアクセスを制限しません。 Enabled：HDD/SSD へのアクセスを制限します。
I/O Interface Security	データの盗難を防ぐために、サブメニュー画面でインタフェースの有効、無効を設定します。
LAN Network Interface	有線 LAN を使用するかどうかを設定します。 Enabled：使用します。 Disabled：使用しません。
Bluetooth ※Bluetooth 機能搭載時のみ表示されます。	Bluetooth を使用するかどうかを設定します。 Enabled：使用します。 Disabled：使用しません。
AUDIO Interface	サウンド機能を使用するかどうかを設定します。 Enabled：使用します。 Disabled：使用しません。
ODD Interface ※光ディスクドライブ搭載時のみ表示されます。	光ディスクドライブを使用するかどうかを設定します。 Enabled：使用します。 Disabled：使用しません。
USB Ports	USB 機能を使用するかどうかを設定します。 Enabled：使用します。 Disabled：使用しません。
Card Reader	メモリーカードスロットの機能を使用するかどうかを設定します。 Enabled：使用します。 Disabled：使用しません。
CMOS Camera	カメラ機能を使用するかどうかを設定します。 Enabled：使用します。 Disabled：使用しません。
*HDD Security Configuration : PO : (HDD の型番)	サブメニュー画面には、HDD/SSD のセキュリティ設定内容を表示しています。

Trusted Computing	セキュリティーチップ（TPM）に関する設定をします。
Security Device Support	セキュリティーデバイスサポートの有効 / 無効を表示します。TPM デバイスセクションを選択するときには有効にしてください。 Disabled : 無効にします。 Enabled : 有効にします。
TPM State	セキュリティーチップ（TPM）を使用するかどうかを設定します。 Disabled : 使用しません。 Enabled : 使用します。
Pending operation	セキュリティーチップ（TPM）の情報を初期化するかどうかを設定します。 本機で初めて TPM を使用する際は、初期化を行ってください。 初期化は「TPM Clear」を選択して保存します。情報が初期化され、コンピューターが再起動します。初期化すると「TPM State」は [Disabled] になります。 None : 初期化しません。 TPM Clear : 初期化します。 ※ 初期化を行うと、それまでに暗号化されたデータを使用できなくなります。 TPM 使用後に初期化を行う場合は、お客様の責任において十分に注意して行ってください。
*TPM Enabled Status :	TPM が有効になっているか、無効になっているかの情報を表示します。
*TPM Active Status :	TPM が動作しているかどうかの情報を表示します。
*TPM Owner Status :	TPM のオーナー情報を表示します。
Secure Boot menu	セキュアブートの設定をします。
*System Mode	システムモードの状態が表示されます。 User : セキュアブートのキーが適用されています。 Setup : セキュアブートのキーが適用されていません。
*Secure Boot	セキュアブートの状態が表示されます。 Active : セキュアブートが適用されています。 Not Active : セキュアブートが適用されていません。
*Vendor keys	ベンダーキーの状態が表示されます。 Active : ベンダーキーが適用されています。 Not Active : ベンダーキーが適用されていません。
Secure Boot	セキュアブートの設定をします。 Windows 10 の場合は [Enabled] で使用します。
Secure Boot Mode	初期値のままで使用します。
*Key Management	Key Management の状態を表示します。

Bootメニュー画面

「Boot」メニュー画面では、システムの起動（Boot）に関する設定を行います。
設定項目は、次のとおりです。

 は初期値
*は項目表示のみ

Boot Configuration	コンピューター起動時の設定をします。
Full Screen Logo	コンピューター起動時にロゴを表示するかどうかを設定します。 Enabled : 表示します。 Disabled : 表示しません。
UEFI Boot	Windows 10 の場合は、初期値 [Enabled] で使用します。

*CSM parameters	CSM モード時のパラメーター設定です。
*Launch CSM	購入時の設定「Disabled」のまま使用してください。
Boot Option filter	初期値のままで使用します。
Launch PXE OpROM policy	初期値のままで使用します。
Launch Storage OpROM policy	初期値のままで使用します。
Launch Video OpROM policy	初期値のままで使用します。
Other PCI device ROM priority	初期値のままで使用します。
Boot Option Priorities	接続（設定）しているデバイスで、Windows の起動順番を設定します。
Boot Option #1	1 番目に起動するデバイスを設定します。 初期値は、「Windows Boot Manager (PO:HDD の型番)」です。
Boot Option #2	2 番目に起動するデバイスを設定します。 • USB HDD/SSDなどを接続した場合に表示されます。 「UEFI：（接続した USB 機器の型番）」 • リモートブートを有効に設定した場合に表示されます。 「UEFI：IP4・・・」
PXE Boot	リモートブート機能の有効 / 無効を設定します。 Enabled：有効にします。 Disabled：無効にします。

Save & Exitメニュー画面

「Save & Exit」メニュー画面では、UEFI Setup ユーティリティを終了したり、設定を初期値に戻したりします。

設定項目は、次のとおりです。

Save Changes and Reset	変更した内容(設定値)を保存してから、UEFI Setup ユーティリティを終了します。
Discard Changes and Reset	変更した内容(設定値)を保存せずに、UEFI Setup ユーティリティを終了します。
Discard Changes	UEFI Setup ユーティリティを終了させずに、変更した設定値を前回保存した設定値に戻します。
Load Optimized Defaults	「Security」メニュー以外の設定を、初期値に戻します。
Save User Define	UEFI の設定値をユーザー設定値として保存します。
Load Setup User Define ※「Save User Define」で設定値を保存後、実行可能になります。	設定値をユーザー設定値に戻します。

4

困ったときは

困ったときの確認事項や対処方法などについて説明します。

トラブルが発生したら	146
起動・画面表示できないときは	148
トラブル時に効果的な対処方法	152
再インストール（PC を初期状態に戻す）	158

トラブルが発生したら

困ったとき、トラブルが発生したときは、次のように対処方法を探してください。

起動・画面表示できる場合

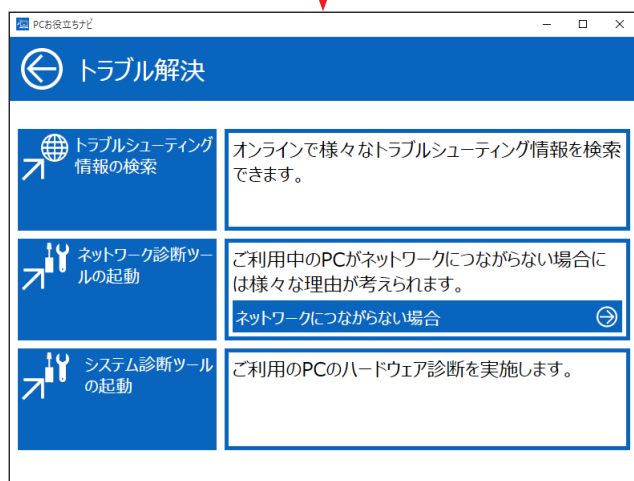
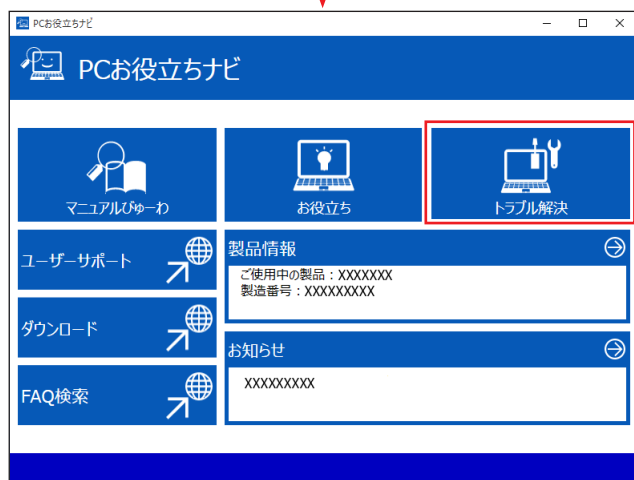
起動・画面表示できる場合は、次の場所に対処方法を探してください。

PC お役立ちナビ

コンピュータを起動、画面表示できる場合は、「PC お役立ちナビ」の「トラブル解決」で、対処方法の検索やネットワーク診断、システム診断（p.156）ができます。



< PC お役立ちナビアイコン >



Windows のトラブルシューティングツール

Windows 10 にはトラブルシューティングツールを集めたコーナーが用意されています。

「スタート」を右クリック→「コントロール パネル」→「システムとセキュリティ」→「コンピューターの一般的な問題のトラブルシューティング」



トラブルシューティングツールの一覧が表示されたら、トラブルに応じたツールをクリックして、トラブルシューティングを行ってください。

起動・画面表示できない場合

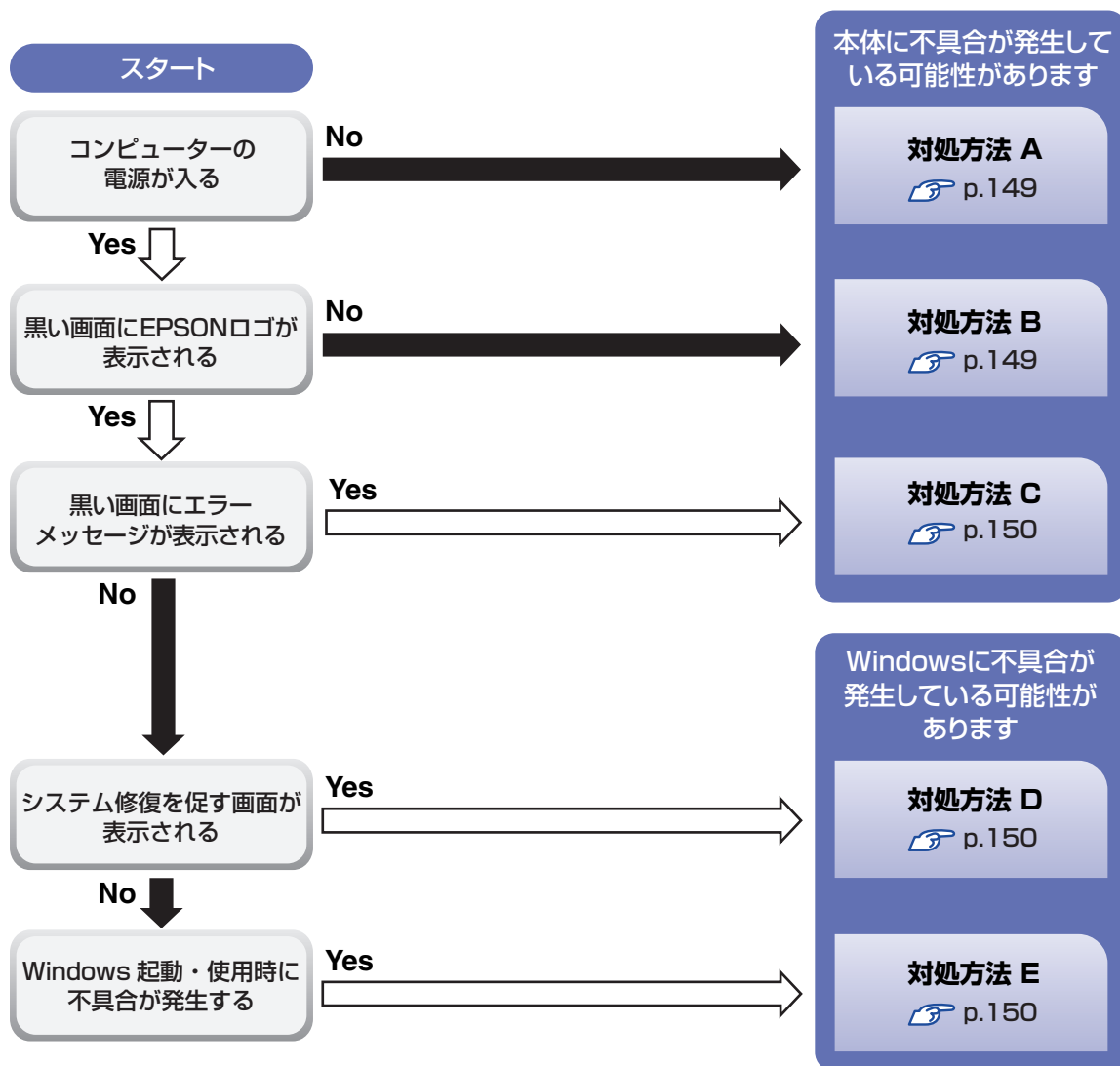
コンピューターを起動、画面表示できない場合は、 p.148 「起動・画面表示できないときは」をご覧ください。

起動・画面表示できないときは

コンピューターを起動、画面表示できない場合は、診断を行い、各診断結果に応じた対処をしてください。

診断をする

次の診断を行ってください。対処方法が決まったら、 p.149「対処をする」へ進んでください。



対処をする

コンピューターを起動、画面表示できないときの対処方法は、次のとおりです。
対処後も不具合が解消しない場合は、『サポート・サービスのご案内』をご覧ください、サポート窓口までお問い合わせください。

対処方法 A

次の対処を順番に行ってみてください。

1 コンピューターの電源を入れなおす

電源を入れなおす場合は、20 秒程度の間隔を空けてから電源を入れてください。20 秒以内に電源を入れなおすと、電源が異常と判断され、システムが正常に起動しなくなる場合があります。

2 電源コード / AC アダプター / バッテリーパックを接続しなおす

コンピューターへの電源供給に問題がある可能性があります。コンピューターの電源を切ってから、電源コード、AC アダプター、バッテリーパックを外して 1 分程度放置し、再度電源を入れ、問題が解決されるかどうか確認してください。

バッテリーパックのみで使用している場合は、完全放電している可能性があります。AC アダプターを接続して使用してみてください。

3 周辺機器や増設した装置を取り外す

本機をご購入後に、プリンターやスキャナーなどの周辺機器、メモリーなど、お客様ご自身で増設された装置がある場合は、周辺機器や装置を取り外した状態で電源を入れ、問題が解決されるかどうか確認してください。

対処方法 B

次の対処を順番に行ってみてください。

1 電源コード / AC アダプター / バッテリーパックを接続しなおす

コンピューターへの電源供給に問題がある可能性があります。コンピューターの電源を切ってから、電源コード、AC アダプター、バッテリーパックを外して 1 分程度放置し、再度電源を入れ、問題が解決されるかどうか確認してください。

バッテリーパックのみで使用している場合は、完全放電している可能性があります。AC アダプターを接続して使用してみてください。

2 周辺機器や増設した装置を取り外す

本機をご購入後に、プリンターやスキャナーなどの周辺機器、メモリーなど、お客様ご自身で増設された装置がある場合は、周辺機器や装置を取り外した状態で電源を入れ、問題が解決されるかどうか確認してください。

対処方法 C

まず、次の表をご覧くださいになり、エラーメッセージに応じた対処をしてください。

メッセージ	内容および対処方法
Reboot and Select proper Boot device or Insert Boot Media in selected Boot device and press a key	● ブートデバイスにシステムがない場合は、「UEFI Setup ユーティリティ」－「Boot」メニュー画面－「Boot Option Priorities」で、システムの入ったデバイスを割り付けてください。 ● ブートデバイスにメディアが挿入されていない場合は、システムの入ったメディアをブートデバイスに挿入してください。 UEFI の設定が変更されている可能性があります。 UEFI Setup ユーティリティで次のとおり設定されていることを確認してください。 ● 「Boot」メニュー画面－「Launch CSM」：[Disabled] ● 「Security」メニュー画面－「Secure Boot menu」－「Secure Boot」：[Enabled]

あてはまるメッセージがない場合は、次のとおり対処してみてください。

1 周辺機器や増設した装置を取り外す

本機をご購入後に、プリンターやスキャナーなどの周辺機器、メモリーなど、お客様ご自身で増設された装置がある場合は、周辺機器や装置を取り外した状態で電源を入れ、問題が解決されるかどうか確認してください。

対処方法 D

次のとおり対処してみてください。

1 表示された画面の指示に従ってシステムを修復する

2 再インストールする

HDD/SSD 内に記録されている、起動部分のプログラムが破損している可能性があります。
再インストールを行って、問題が解決されるかどうか確認してください。

 p.158 「再インストール（PC を初期状態に戻す）」

対処方法 E

次の対処を順番に行ってみてください。

1 コンピューターの電源を入れなおす

電源を入れなおす場合は、20 秒程度の間隔を空けてから電源を入れてください。20 秒以内に電源を入れなおすと、電源が異常と判断され、システムが正常に起動しなくなる場合があります。

2 周辺機器や増設した装置を取り外す

本機をご購入後に、プリンターやスキャナーなどの周辺機器、メモリーなど、お客様ご自身で増設された装置がある場合は、周辺機器や装置を取り外した状態で電源を入れ、問題が解決されるかどうか確認してください。

3

常駐アプリを停止したり、システムの復元を行う

常駐アプリ（システム稼動中、常に稼動しているアプリ）を一時的に停止させることで問題が解決するかを確認してください。

 p.153 「常駐アプリの停止」

常駐アプリが原因ではなかった場合は、「システムの復元」を行ってみてください。以前のコンピューターの状態に戻すことで、問題が解決できる可能性があります。

※ 128GB 以下のドライブではこの機能は使用できません。

 p.154 「システムの復元」

4

UEFI の設定を初期値に戻す

UEFI の不整合が原因で問題が発生している可能性があります。UEFI の設定を初期値に戻し、問題が解決されるか確認してください。初期値に戻す前に UEFI の設定をメモしておいてください。

 p.132 「Load Optimized Defaults（UEFI の初期値に戻す）」

5

再インストールする

HDD/SSD 内に記録されている、起動部分のプログラムが破損している可能性があります。再インストールを行って、問題が解決されるかどうか確認してください。

 p.158 「再インストール（PC を初期状態に戻す）」

トラブル時に効果的な対処方法

トラブル時に効果的な対処方法を紹介します。

機能	こんなときに
再起動  p.152 本機を再起動します。	・ 使用しているアプリで指示があった場合 ・ アプリや Windows の動作が不安定になったとき
アプリの強制終了  p.153 アプリを強制終了します。	・ アプリや Windows が、キーボードやタッチパッドからの入力を受け付けず、何も反応しなくなったとき
常駐アプリの停止  p.153 不具合のある常駐アプリを停止します。	・ Windows が正常に起動できないとき ・ 動作が不安定になったとき
システムの復元  p.154 Windows を以前に作成した復元ポイントの状態に戻します。	・ Windows が正常に起動できないとき ・ 動作が不安定になったとき
UEFI の初期化  p.132 UEFI の設定を初期値に戻します。	・ UEFI の設定を誤って本機が起動しなくなったとき ・ 動作が不安定になったとき
リチウム電池の交換  p.155 リチウム電池を交換します。	・ 日時や時間がおかしくなる ・ UEFI で設定した値が変わってしまう
PC を初期状態に戻す  p.158 Windows の再インストールを行って、不具合を改善します。	・ Windows が正常に起動できないとき ・ 動作が不安定になったとき（上記項目の対処をしても起動できないとき）
Windows 回復環境 (Windows RE)  p.155 Windows を修復します。	・ Windows が正常に起動できないとき ・ 動作が不安定になったとき
システム診断ツール  p.156 ハードウェアに不具合があるかどうかを診断します。	・ 不具合の原因がハードウェアにあるかどうかを調べたいとき

再起動

電源が入っている状態で、本機を起動しなおすことを「再起動」と言います。
次のような場合には、本機を再起動する必要があります。

- Windows の動作が不安定になった場合
- Windows Update を行った場合
- ドライバーやアプリをインストールした場合
- アプリで再起動の指示が表示された場合

本機の再起動方法は、次のとおりです。

1 【スタート】－「電源」－「再起動」をクリックします。

再起動しても状態が改善されない場合は、本機の電源を切り、しばらくしてから電源を入れてください。

アプリの強制終了

アプリや Windows がキーボードやタッチパッドからの入力を受け付けず、何も反応しなくなった状態を「ハングアップ」と言います。

ハングアップした場合は、アプリの強制終了を行います。

アプリの強制終了方法は、次のとおりです。

- 1** **Ctrl** + **Alt** + **Delete** を押します。
- 2** 表示された項目から「タスクマネージャー」をクリックします。
- 3** 「タスクマネージャー」画面が表示されたら、ハングアップしているアプリを選択して「タスクの終了」をクリックします。
アプリが終了します。

強制的に電源を切る

Ctrl + **Alt** + **Delete** を押しても反応がない場合は、強制的に本機の電源を切ります。

強制的に本機の電源を切る方法は、次のとおりです。

- 1** 本機の電源スイッチ（）を 5 秒以上押し続けます。
本機の電源が切れます。

常駐アプリの停止

常駐アプリ（システム稼動中、常に稼動しているアプリ）が原因で本機に不具合が発生していることもあります。一時的に常駐アプリを停止してみてください。

常駐アプリを停止する手順は次のとおりです。

- 1** **Ctrl** + **Alt** + **Delete** を押します。
- 2** 表示された項目から「タスクマネージャー」をクリックします。
- 3** 「タスクマネージャー」画面が表示されたら、詳細表示にして「スタートアップ」タブをクリックし、一覧から問題の原因となっている可能性のある項目（常駐アプリ）を選択し、「無効にする」をクリックします。
常駐アプリが原因ではなかった場合、「有効にする」をクリックして元に戻してください。

システムの復元

本機の動作が不安定になった場合、「システムの復元」を行って Windows を以前の状態（復元ポイントを作成した時点の状態）に戻すことで、問題が解決できることがあります。

※ 128GB 以下のドライブではこの機能は使用できません。

※ この機能は事前に「システムの保護を有効にする」（p.23）設定を行っていた場合に使用できます。

システムを復元ポイントの状態に戻す方法は次のとおりです。

- 1** 「スタート」を右クリック→「システム」→画面左「システムの保護」をクリックします。
- 2** 「システムのプロパティ」画面が表示されたら、「システムの復元」をクリックします。
- 3** 復元ポイントを選択します。

「システムファイルと設定を復元します。」と表示された場合

- 1** 「推奨される復元」を選択し、「次へ」をクリックします。
「別の復元ポイントを選択する」を選択した場合は、復元ポイントを選んで作業を進めてください。

「システムファイルと設定の復元」と表示された場合

- 1** 画面の内容を確認し、「次へ」をクリックします。
- 2** 復元ポイントの一覧が表示されたら、復元ポイントを選択し、「次へ」をクリックします。
- 4** 「復元ポイントの確認」と表示されたら、内容を確認し、「完了」をクリックします。
- 5** 「いったんシステムの復元を開始したら…」と表示されたら、「はい」をクリックします。
コンピューターが再起動します。
- 6** 「システムの復元は正常に完了しました。…」と表示されたら、「閉じる」をクリックします。
これでシステムの復元は完了です。

リチウム電池の交換

「UEFI Setup ユーティリティ」で設定した情報は、マザーボード上のリチウム電池により保持されています。

リチウム電池は消耗品です。コンピューターの使用状況により異なりますが、AC アダプターやバッテリーからの電力供給がまったく無い場合、本機のリチウム電池の寿命は約 5 年です。

日付や時間がおかしくなったり、UEFI で設定した値が変わってしまうことが頻発するような場合には、リチウム電池の寿命が考えられます。 別冊『サポート・サービスのご案内』をご覧ください。になり、修理受付窓口までご連絡ください。

Windows回復環境(Windows RE)を使う

本機の HDD/SSD 内には、「Windows 回復環境 (Windows RE)」が設定されています。Windows RE を使用して、修復を行ってみてください。

Windows RE は、本機にトラブルが起きると、自動的に起動します。



「トラブルシューティング」の各項目を実行すると、トラブルが解決する場合があります。

●この PC を初期状態に戻す

Windows を再インストールして、本機を初期状態に戻します。

 p.158 「再インストール (PC を初期状態に戻す)」

●EPSON UTILITY

• システム診断ツール

システム診断ツールを起動し、システム診断を行います。

 p.156 「システム診断ツールを使う」

• HDD 消去ツール

HDD 消去ツールを起動し、HDD のデータを消去します。

 p.166 「HDD/SSD のデータを消去する」

●詳細オプション

• システムの復元

PC に記録された復元ポイントを使って Windows を復元します。

※ 128GB 以下のドライブではこの機能は使用できません。

 p.154 「システムの復元」

• イメージでシステムを回復

特定のシステムイメージを使って Windows を回復します。

• スタートアップ修復

Windows の読み込みを妨げている問題を修正します。

• コマンドプロンプト

高度なトラブルシューティングのためにコマンドプロンプトを使います。

• UEFI ファームウェアの設定

PC の UEFI ファームウェアの設定を変えます。

• スタートアップ設定

Windows のスタートアップ動作を変更します。

システム診断ツールを使う

システム診断ツールを使うと、ハードウェアに不具合が発生しているかどうかを診断することができます。

システム診断ツールの種類

システム診断ツールには、次の 2 種類があります。

●PC お役立ちナビから起動するシステム診断ツール

PC お役立ちナビからシステム診断を行うことができます。Windows を起動できる場合に使用します。

●Windows 回復環境（Windows RE）から起動するシステム診断ツール

Windows RE（p.155）からシステム診断機能を行うことができます。

システム診断を実行する

Windows を起動できる場合とできない場合で、システム診断の実行方法は異なります。

Windows を起動できる場合

PC お役立ちナビからシステム診断を行います。

実行方法は、次のとおりです。

- 1** 「PC お役立ちナビ」－【トラブル解決】－【システム診断ツールの起動】をクリックします。
- 2** 「ユーザーアカウント制御」画面が表示された場合は、[はい] をクリックします。
システム診断ツールが起動し、自動的に診断が開始します。
- 3** 診断が終了したら、診断結果を確認します。
「テストステータス」で「PASS」と表示された場合、ハードウェアは正常に動作しています。
「FAIL」と表示された場合は、該当項目に不具合がある可能性があります。
 『別冊』『サポート・サービスのご案内』をご覧ください。テクニカルセンターまでご連絡ください。

Windows RE が起動した場合

Windows RE からシステム診断ツールを起動します。

Windows RE からシステム診断を行う手順は、次のとおりです。

- 1** 「Windows RE」(p.155) が起動したら、起動した画面から「詳細オプション」を表示します。
- 2** 「オプションの選択」画面が表示されたら、「トラブルシューティング」をクリックします。
- 3** 「トラブルシューティング」画面が表示されたら、「EPSON UTILITY」をクリックします。
コンピューターが再起動します。
- 4** 「OEMTool」画面が表示されたら、「システム診断ツール」をクリックします。
システム診断ツールが起動し、自動的に診断が開始します。
- 5** 診断が終了したら、診断結果を確認します。
「テストステータス」で「PASS」と表示された場合、ハードウェアは正常に動作しています。
「FAIL」と表示された場合は、該当項目に不具合がある可能性があります。
 『別冊』『サポート・サービスのご案内』をご覧ください。テクニカルセンターまでご連絡ください。

再インストール（PC を初期状態に戻す）

本機を初期状態に戻す方法を説明します。

再インストールとは

再インストールとは、Windows やドライバー / アプリを入れなおすことを言います。本機にトラブルが発生したときに、再インストールを行うと、トラブルが解決する場合があります。

再インストール方法には、次の 2 つがあります。目的や状況に応じた方法を選択してください。

個人用ファイルを保持して再インストール  p.159	● 本機を初期状態に戻します。 ● 個人用ファイル（写真、音楽、ビデオなど）は保持されます。
すべてを削除して再インストール  p.160	● 本機を初期状態に戻します。 ● 個人用ファイル（写真、音楽、ビデオなど）は削除されます。 ● 「個人用ファイルを保持して再インストール」で問題が改善しない場合に行います。

再インストールを実行できない、実行しても問題が改善されない場合は、回復ドライブを使用して Windows の再インストールを行うことができます。

※事前に外付け USB 機器に回復ドライブを作成していた場合のみ実行できます。

回復ドライブから Windows の再インストールを行う方法については、次の場所をご覧ください。

<http://faq.epsondirect.co.jp/faq/edc/app/servlet/qadoc?29541>



HDD/SSD の「リカバリー領域」（p.49）は削除しないでください。「リカバリー領域」には PC を初期状態に戻すためのデータが設定されています。

個人用ファイルを保持して再インストール

Windows が正常に起動できないときや動作が不安定になった場合には、個人用ファイルを保持して再インストールします。

個人用ファイルを保持して再インストールする方法は、次のとおりです。状況に応じて次のどちらかの方法で行ってください。

※ 再インストールは、AC アダプターを接続して行ってください。

Windows が起動できる場合

Windows が起動できる場合は、次の手順で再インストールを行ってください。

- 1** 「スタート」－「設定」－「更新とセキュリティ」－「回復」をクリックし、「この PC を初期状態に戻す」の「開始する」をクリックします。
- 2** 「オプションを選んでください」と表示されたら、「個人用ファイルを保持する」をクリックします。
- 3** 「お使いのアプリは削除されます」と表示されたら、「次へ」をクリックします。
- 4** 「この PC を初期状態に戻す準備ができました」と表示されたら、「初期状態に戻す」をクリックします。

本機が再起動し、処理が開始されます。処理には約 1 時間かかります。処理中はキーボードやタッチパッドを操作しないでください。

処理が終了すると、デスクトップが表示されます。必要に応じて、再設定やアプリのインストールを行ってください。

Windows が起動できない場合

Windows が起動できない場合は、HDD/SSD 内の Windows 回復環境（Windows RE）が自動的に起動します。Windows RE で再インストールを行ってください。

 p.155 「Windows 回復環境（Windows RE）を使う」

すべてを削除して再インストール

次のような場合は、すべてを削除して Windows を再インストールします。

- 「個人用ファイルを保持して再インストール」を行っても問題が改善しない場合
- インストールしたアプリや保存したデータをすべて削除して、初期状態に戻したい場合

すべてを削除して再インストールする方法は、次のとおりです。状況に応じて次のどちらかの方法で行ってください。

※ C ドライブの設定やデータは、再インストールを行うと消えてしまいます。

可能な場合は、再インストールの前に、設定を書き写したり、バックアップを行ってください。

※ 再インストールは、AC アダプターを接続して行ってください。

Windows が起動できる場合

Windows が起動できる場合は、次の手順で再インストールを行ってください。

- 1** 「スタート」－「設定」－「更新とセキュリティ」－「回復」をクリックし、「この PC を初期状態に戻す」の「開始する」をクリックします。
- 2** 「オプションを選んでください」と表示されたら、「すべて削除する」をクリックします。
- 3** 「PC に複数のドライブがあります」と表示された場合は、「Windows がインストールされているドライブのみ」を選択します。
- 4** 「ドライブのクリーニングも実行しますか？」と表示されたら、「ファイルの削除のみ行う」をクリックします。
- 5** 「この PC を初期状態に戻す準備ができました」と表示されたら、「初期状態に戻す」をクリックします。
本機が再起動し、処理が開始されます。処理には約 1 時間かかります。処理中はキーボードやタッチパッドを操作しないでください。
- 6** 「こんにちは」と表示されたら、内容を確認して「次へ」をクリックします。
- 7** ライセンス条項が表示されたら、画面に表示された内容を確認し、「承諾する」をクリックします。
- 8** 無線 LAN 機能搭載時、「接続する」と表示されたら、接続するネットワークを選択して「次へ」をクリックします。
接続を行わない場合は、「この手順をスキップする」をクリックしてください。
- 9** 「すぐに使い始めることができます」と表示されたら、「簡単設定を使う」をクリックします。

10

以降は画面表示に従って、アカウントの設定を行ってください。

再インストールが終了すると、デスクトップが表示されます。

必要に応じて、再設定やアプリのインストールを行ってください。

Windows が起動できない場合

Windows が起動できない場合は、HDD/SSD 内の Windows 回復環境 (Windows RE) が自動的に起動します。Windows RE で再インストールを行ってください。

 p.155 「Windows 回復環境 (Windows RE) を使う」



付録

本機をご使用になる際に役に立つ情報や、本機の仕様などについて説明します。

お手入れ	164
コンピューターを廃棄するときは	165
機能仕様一覧	167

お手入れ

本機は精密な機械です。取り扱いに注意して、定期的にお手入れを行ってください。



お手入れは、本機の電源を切った状態で行ってください。

本機のお手入れ

本機のお手入れ方法について説明します。

外装

コンピューター本体の外装の汚れは、中性洗剤を染み込ませた柔らかい布で、軽く拭き取ってください。



- 本機をたたいたり、硬いものでこすったりしないでください。
変形やキズ、破損の原因となります。
- ベンジン、シンナーなどの溶剤を使わないでください。
変色や変形の可能性があります。

LCD 画面

LCD 画面は乾いた布やティッシュペーパーなどで拭いてください。水や洗剤などは使わないでください。

コンピューターを廃棄するときは

本機を廃棄する際の注意事項や、HDD/SSD のデータ消去方法について説明します。
パソコン回収サービスについては、下記ホームページをご覧ください。

<http://shop.epson.jp/guide/recycle/>

コンピューターの廃棄・譲渡時のHDD/SSD上のデータ消去に関するご注意

コンピューターは、オフィスや家庭などで、いろいろな用途に使われるようになってきています。これらのコンピューターの中のHDD/SSD という記憶装置に、お客様の重要なデータが記録されています。

したがって、そのコンピューターを譲渡あるいは廃棄するときには、これらの重要なデータを消去するということが必要です。

ところが、このHDD/SSD 内に書き込まれたデータを消去するというのは、それほど簡単ではありません。

「データを消去する」という場合、一般に

- ① データを「ごみ箱」に捨てる
- ② 「削除」操作を行う
- ③ 「ごみ箱を空にする」コマンドを使って消す
- ④ アプリで初期化（フォーマット）する
- ⑤ 再インストールを行い、工場出荷状態に戻す

などの作業を行うと思います。

まず、「ごみ箱」にデータを捨てても、OS のもとでファイルを復元することができてしまいます。更に ② ～ ⑤ の操作をしても、HDD/SSD 内に記録されたデータのファイル管理情報が変更されるだけで、実際はデータが見えなくなっているだけの場合があります。

つまり、一見消去されたように見えますが、Windows などの OS のもとで、それらのデータを呼び出す処理ができなくなっただけで、本来のデータは残っているという状態にあるのです。

したがって、特殊なデータ回復のためのアプリを利用すれば、これらのデータを読みとることが可能な場合があります。このため、悪意のある人により、このコンピューターのHDD/SSD 内の重要なデータが読みとられ、予期しない用途に利用される恐れがあります。

コンピューターユーザーが、廃棄・譲渡等を行う際に、HDD/SSD 上の重要なデータが流出するというトラブルを回避するためには、HDD/SSD に記録された全データを、ユーザーの責任において消去することが非常に重要です。消去するためには、専用アプリあるいはサービス（有償）を利用するか、HDD/SSD 上のデータを物理的・磁氣的に破壊して、読めなくすることを推奨します。

なお、HDD/SSD 上のソフトウェア（OS、アプリなど）を削除することなくコンピューターを譲渡すると、ソフトウェアライセンス使用許諾契約に抵触する場合があるため、十分な確認を行う必要があります。

HDD/SSDのデータを消去する

本機を廃棄する前に HDD/SSD のデータを消去してください。

HDD/SSD のデータ消去は、「HDD 消去ツール」を使って行います。HDD 消去ツールを使用すると、HDD/SSD 内のデータをすべて消去することができます。

消去を開始すると、HDD/SSD のデータは元には戻りません。必要に応じてデータをバックアップしてください。



データ消去の結果について、当社および開発元の Ultra-X 社は責任を負いません。
HDD/SSD のデータ消去・廃棄は、お客様の責任において行ってください。

- 1** 「スタート」－「電源」をクリックし、**[Shift]**を押しながら「再起動」をクリックします。
- 2** 「オプションの選択」画面が表示されたら、「トラブルシューティング」をクリックします。
- 3** 「トラブルシューティング」画面が表示されたら、「EPSON UTILITY」をクリックします。
コンピューターが再起動します。
- 4** 「OEMTool」画面が表示されたら、「HDD 消去ツール」をクリックします。
- 5** 「HDD_ERASE」画面が表示されたら、データを消去したい HDD/SSD を選択し、**[ゼロ消去]** をクリックします。
- 6** 「実行してよろしいですか」と表示されたら、**[OK]** をクリックします。
消去が開始され、進行状況が表示されます。
- 7** 消去が終了したら、本機の電源を切ります。
 - 1** 「HDD_ERASE」画面の右上の **[×]** をクリックします。
 - 2** 「OEMTool」画面が表示されたら、画面右上の **[×]** をクリックします。
 - 3** 「オプションの選択」画面が表示されたら、「PC の電源を切る」をクリックします。

これでデータの消去は終了です。

機能仕様一覧

型番		NJ4000E
CPU	プロセッサ	購入時の選択による
	ソケット	MB 実装
チップセット		CPU 内蔵
システムファームウェア		AMI UEFI
メイン メモリー ^{*1}	規格	PC4-2133 (DDR4-2133 SDRAM)
	搭載可能容量 (最大)	16GB
	スロット	SODIMM スロット (260 ピン) × 2 デュアルチャネル対応
ビデオコントローラー		CPU による
ビデオメモリー (メインメモリーと共用)		最大 1109 ~ 8279MB (メインメモリーの容量による)
液晶タイプ、表示解像度 (最大)		15.6 型フル HD 液晶 1920 × 1080 ^{*2} 、または HD 液晶 1366 × 768 ^{*2}
外部ディスプレイ表示解像度		p.75 参照
HDD または SSD		シリアル ATA600MB/s 対応 2.5 型 HDD または SSD (種類、容量は購入時の選択による)
光ディスクドライブ (オプション)		シリアル ATA 対応 スリム光ディスクドライブ (種類は購入時の選択による)
メモリーカードスロット ^{*3}		1:SD メモリーカード (SDHC/SDXC 対応)、マルチメディアカード (Plus 対応)
サウンド機能		インテル ハイ・デフィニション・オーディオ対応コントローラー Realtek 製 ALC269Q、ステレオスピーカー (出力 2.0W × 2)、モノラルマイク
ネットワーク機能		1000Base-T/100Base-TX/10Base-T 対応 REALTEK 製 RTL8111G-CG
無線 LAN / Bluetooth (オプション)		Intel Dual Band Wireless-AC 8260
キーボード		日本語対応 107 キー (テンキー付き)
ポインティングデバイス		タッチパッド
カメラ		92 万画素
インタ フェース	USB	4:USB3.0 × 2 (左側面)、USB2.0 × 2 (右側面)
	LAN	1:RJ-45
	サウンド	マイク入力× 1/ヘッドホン出力× 1
	ディスプレイ	2:VGA ミニ D-SUB 15 ピン× 1、HDMI TypeA × 1
セキュリティチップ (TPM)		TPM 1.2 対応 SLB9660TT1.2 コントローラー
電源	AC アダプター ^{*4} (ADP-45VD AB)	入力: AC100V ~ 240V ± 10% (50/60Hz)、1.2A 出力: DC19V、2.37A、45W 質量: 約 230g (電源コード含む)
	バッテリー (BT4107-B)	容量: 2600mAh リチウムイオン 14.52V 駆動時間 ^{*5} : 約 5.5 時間
本体寸法 (幅×奥行き×高さ)		384 × 270 × 28mm
本体質量 (バッテリー含む)		約 2.3kg
消費電力 (AC 側)		最大定格出力時 (理論値): 52.9W
動作環境		動作温度: 10 ~ 35℃、動作湿度: 20 ~ 80% (ただし、結露しないこと)

^{*1} 新規メモリー追加や最大搭載可能容量変更の可能性あり (当社ホームページ参照)。

^{*2} ビデオコントローラーのディザリング機能により約 1,677 万色を実現。True Color 32 ビット。

^{*3} SD メモリーカードの著作権保護機能には非対応。

^{*4} 標準添付の電源コードは、AC100V 用 (日本仕様)。本製品は国内専用のため、海外での使用は保証対象外。

^{*5} 動作時間は JEITA 測定方法 Ver.2.0 に基づく測定値 (システム構成や使用環境により異なる)。最小構成時。

本書に記載している仕様は製品発売時の情報です。最新情報は次の場所でご覧ください。

<http://faq.epsondirect.co.jp/faq/edc/app/servlet/qadoc?28653>

無線機能(オプション)

本機の無線機能について記載します。

Bluetooth

Bluetooth* の仕様は次のとおりです。

準拠規格	Bluetooth 標準規格 Ver.4.1+BR/EDR/LE
通信速度	3Mbps

* 本製品には、電波法の規定により、工事設計認証を取得した無線設備を内蔵しています。

認証製品名：8260NGW

認証番号：003-150093

無線 LAN

無線 LAN*¹ の仕様は次のとおりです。

準拠規格	IEEE802.11ac/a/n 無線 LAN 標準プロトコル、ARIB STD-T71 IEEE802.11b/g/n 無線 LAN 標準プロトコル、ARIB STD-T66
データ転送速度 (規格値) * ²	IEEE802.11a：54Mbps、IEEE802.11b/g：11Mbps、 IEEE802.11n：300Mbps(2x) IEEE802.11ac：867Mbps(2x)
変調方式	DS-SS 方式、OFDM 方式
伝送距離 (理論値) * ³	IEEE802.11a (54Mbps)：12m、IEEE802.11b (11Mbps)：40m、 IEEE802.11g (11Mbps)：25m
セキュリティ * ⁴	IEEE802.11a/b/g：128/64bit WEP、WPA、WPA2、IEEE802.1x 認証に対応 IEEE802.11ac/n：WPA、WPA2 (AES のみ)、IEEE802.1x 認証に対応
使用無線 チャンネル	IEEE802.11ac/a/n：36/40/44/48ch (W52)、52/56/60/64ch (W53)、100/104/ 108/112/116/120/124/128/132/136/140ch (W56) IEEE802.11b/g/n：1～13ch

*¹ 本機には、電波法の規定により、工事設計認証を取得した無線設備を内蔵しています。

認証製品名：8260NGW

認証番号：003-150093

*² 無線 LAN 規格の理論上の最大値であり、実際のデータ転送速度を示すものではありません。

*³ 屋内におけるアクセスポイントとの通信距離です。実際の距離は、電波環境、障害物、設置環境などの周囲条件や、アプリケーション、Windows などの使用条件によって短くなります。

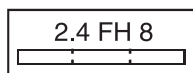
*⁴ IEEE802.1x について、Windows Server 2012 との IEEE802.1x Radius Server (EAP-TLS 対応認証サーバー) + WPA (TKIP) の組み合わせによる認証において動作を確認しています。すべての環境下での動作を保証するものではありません。

電波に関するご注意

無線機能選択時、本機には認証を取得した無線設備が内蔵されており、5GHz または 2.4GHz の周波数帯を使用します。

- 本機の無線設備は、電波法に基づく小電力データ通信システムの無線局として技術基準適合証明を受けているため、本機を分解／改造しないでください。なお、日本国内でのみ使用できます。
- 5GHz (W52、W53) の周波数帯は、電波法の規定により屋外では使用できません。
- 2.4GHz の周波数帯では、電子レンジ等の産業・科学・医療機器のほか、工場の製造ライン等で使用される免許を要する移動体無線局、免許を要しない特定小電力無線局、アマチュア無線局等（以下「他の無線局」と称す）が運用されています。
 - (1) 本機の無線設備をご使用になる前に、近くで「他の無線局」が使用されていないことを確認してください
 - (2) 万一、本機の無線設備と「他の無線局」との間に電波干渉が発生した場合には、速やかに本機の使用場所または使用無線チャンネルを変えるか、運用（電波の発射）を停止してください。
 - (3) 電波干渉の事例が発生した場合など何かお困りのことがおきたときには、『サポート・サービスのご案内』をご覧ください、テクニカルセンターまでお問い合わせください。

<Bluetooth>



変調方式として GFSK 方式を採用しており、与干渉距離は 80m です。
使用無線チャンネルは変更できません。

<無線LAN>



変調方式として DS-SS および OFDM 方式を採用しており、与干渉距離は 40m です。

使用限定について

本製品は、OA 機器として使用されることを目的に開発・製造されたものです。

本製品を航空機・列車・船舶・自動車などの運行に直接関わる装置・防災防犯装置・各種安全装置など機能・精度などにおいて高い信頼性・安全性が必要とされる用途に使用される場合は、これらのシステム全体の信頼性および安全性維持のためにフェールセーフ設計や冗長設計の措置を講じるなど、システム全体の安全設計にご配慮頂いた上で本製品をご使用ください。

本製品は、航空宇宙機器、幹線通信機器、原子力制御機器、生命維持に関わる医療機器、24 時間稼働システムなど極めて高い信頼性・安全性が必要とされる用途への使用は意図しておりませんので、これらの用途にはご使用にならないでください。

本製品を日本国外へ持ち出す場合のご注意

本製品は日本国内でご使用いただくことを前提に製造・販売しております。したがって、本製品の修理・保守サービスおよび不具合などの対応は、日本国外ではお受けできませんのでご了承ください。また、日本国外ではその国の法律または規制により、本製品を使用できないこともあります。このような国では、本製品を運用した結果罰せられることがあります。当社といたしましては一切責任を負いかねますのでご了承ください。

電波障害について

この装置は、クラス B 情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。取扱説明書に従って正しい取り扱いをしてください。

VCCI-B

瞬時電圧低下について

本装置は、社団法人 日本電子工業振興協会の定めたパーソナルコンピュータの瞬時電圧低下対策ガイドラインを満足しております。しかし、ガイドラインの基準を上回る瞬時電圧低下に対しては、不都合が生じることがあります。

有寿命部品について

当社のコンピュータには、有寿命部品（液晶ディスプレイ、ハードディスク、冷却用ファンなど）が含まれています。有寿命部品の交換時期の目安は、使用頻度や条件により異なりますが、本製品を通常使用した場合、1 日約 8 時間、1 ヶ月で 25 日間のご使用で約 5 年です。

上記目安はあくまで目安であって、故障しないことや無料修理をお約束するものではありません。

なお、長時間連続使用など、ご使用状態によっては早期にあるいは製品の保証期間内であっても、部品交換（有料）が必要となります。

* LCD ユニットの最大輝度で常時使用した場合の寿命は、10000 時間です。

JIS C 61000-3-2 適合品

本製品は、高調波電流規格 JIS C 61000-3-2 に適合しております。

電源の入力波形は、正弦波のみをサポートしています。

レーザー製品安全基準

＜光ディスクドライブ搭載の場合＞

本機に搭載されている光ディスクドライブは、レーザー製品の安全基準（JIS C 6802、IEC60825-1）に準拠したクラス 1 レーザー製品です。

＜レーザーマウス添付の場合＞

本機に添付されているレーザーマウスは、レーザー製品の安全基準（JIS C 6802、IEC60825-1）に準拠したクラス 1 レーザー製品です。

著作権保護法について

あなたがビデオなどで録画・録音したものは、個人として楽しむなどのほかは、著作権法上、権利者に無断で使用することはできません。

テレビ・ラジオ・インターネット放送や市販の CD・DVD・ビデオなどで取得できる映像や音声は、著作物として著作権法により保護されています。個人で楽しむ場合に限り、これらに含まれる映像や音声を録画または録音することができますが、他人の著作物を収録した複製物を譲渡したり、他人の著作物をインターネットのホームページなどに掲載（改編して掲載する場合も含む）するなど、私的範囲を超えて配布・配信する場合は、事前に著作権者（放送事業者や実演家などの隣接権者を含む）の許諾を得る必要があります。著作権者に無断でこれらの行為を行うと著作権法に違反します。

また、実演や興行、展示物などのうちには、個人として楽しむなどの目的であっても、撮影を制限している場合がありますのでご注意ください。

パソコン回収について



当社では、不要になったパソコンの回収・再資源化を行っています。

PC リサイクルマーク付きの当社製パソコンおよびディスプレイは、ご家庭から廃棄する場合、無償で回収・再資源化いたします。

パソコン回収の詳細は下記ホームページをご覧ください。

<http://shop.epson.jp/guide/recycle/>

ご注意

1. 本書の内容の一部、または全部を無断で転載することは固くお断りいたします。
2. 本書の内容および製品の仕様について、将来予告なしに変更することがあります。
3. 本書の内容は万全を期して作成いたしましたが、万一誤り・お気付きの点がございましたら、ご連絡くださいますようお願いいたします。
4. 運用した結果の影響につきましては、3 項にかかわらず責任を負いかねますのでご了承ください。

商標について

- Intel、インテル、Intel ロゴ、Intel SpeedStep は、アメリカ合衆国およびその他の国における Intel Corporation またはその子会社の商標または登録商標です。
- Microsoft、Microsoft Edge、Windows、Windows ロゴ、Internet Explorer、Outlook、OneDrive は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における商標または登録商標です。
- そのほかの会社名、製品名は各社の商標または登録商標です。

エプソンダイレクト ユーザーサポートページ

www.epsondirect.co.jp/support/